



14.24
185

大正十四年三月

長野縣蠶業試驗場臨時報告

第八號

始



緒言

本報告ハ當場臨時報告第五號、全第六號、全第七號ニ記載セル支歐一代雜種、日歐一代雜種、夏秋蠶日支交雜種、日々二化二化一代雜種並ニ其ノ基礎原種ニ關スル試驗成績ノ概要ヲ摘録シタルモノナリ。
本書ノ編纂ハ技師水井壽一郎、全長瀬光發、技手酒井文三郎、全大池彰之ヲ擔任セリ。

大正十四年三月

長野縣蠶業試驗場



目次

一、支歐一代雜種試驗

(一)	緒言	一
(二)	試驗ノ方法	二
(三)	依託試驗ノ方法ト調査事項	四
(四)	飼育成績	八
(五)	繭質調査成績	五
(六)	繰絲試驗成績	九
(七)	生絲檢査成績	三
	附錄 本支場共通試驗成績	二九

二、日歐一代雜種試驗

(一)	緒言	四
(二)	試驗ノ方法	四
(三)	依託試驗ノ方法ト調査事項	四七

(四)	飼育成績	四七
(五)	繭質調査成績	五八
(六)	繰絲試験成績	六二
(七)	生絲検査成績	六八
	附録 本支場共通試験成績	七五

三、夏秋蠶日支交雜種試験

(一)	緒言	九五
(二)	試験ノ方法	九五
(三)	依託試験ノ方法ト調査事項	一〇〇
(四)	飼育成績	一〇〇
(五)	繭質調査成績	一一五
(六)	繰絲試験成績	一二四
(七)	生絲検査成績	一三三
	附録 本支場共通試験成績	一四三

四、日々二化一化一代雜種試験

	一七五
--	-------	-------	-----

(一)	緒言	一七五
(二)	試験ノ方法	一七八
(三)	依託試験ノ方法ト調査事項	一八二
(四)	飼育成績	一八二
(五)	繭質調査成績	一九三
(六)	繰絲試験成績	二〇〇
(七)	生絲検査成績	二〇七
	附録 本支場共通試験成績	二一五

五、原蠶種試験

(一)	一化性原蠶種ニ關スル試験	二二九
(二)	二化性原蠶種ニ關スル試験	二六二
(イ)	春期高温催青	二六二
(ロ)	二化性一化期	二六八
(ハ)	二化性二化期	二八一

以上

支歐一代雜種試驗

14.25-185

支歐一代雜種ニ關スル試驗

一 緒 言

本縣指定春蠶種中支歐一代雜種ハ國蠶支七號×同歐七號ノ一品種ナリトス。然ルニ指定蠶品種中ニハ國蠶日一號×同支四號、正白×國蠶支四號、國蠶日一〇五號×同歐九號等アリ、是故ニ支歐一代雜種製造ノ場合ニ於テ國蠶支七號ニ代フルニ國蠶支四號ヲ以テシ又國蠶歐七號ニ代フルニ國蠶歐九號ヲ以テスルトキハ國蠶支七號ト國蠶歐七號トヲ飼育スルノ煩ヲ避ケ得ベク從ツテ蠶種製造上ニ於ケル利便鮮少ナラザルナリ。

即チ本試驗ハ前記各種ノ支歐一代雜種ニ付其利害得失ヲ知ラムガ爲メニ施行シタルモノナリ、以下試驗ノ方法ト其成績トヲ記述スベシ。

二 試驗ノ方法

本試驗ハ蠶業試驗場ニ於ケル試驗ト當業者ニ依託シテ飼育スル依託試驗トノ二種ニ大別シテ之ヲ施行シ、前者ハ蠶品種ノ性質ニ付詳細ナル調査ヲ行ヒ後者ハ専ラ其ノ養蠶成績ト生産繭ノ品質トニ就キテ調査セリ。

蠶業試驗場ニ於ケル試驗ハ本場並ニ上田、松本、飯田ノ三支場ニ於テ之ヲ施行シ、依託試驗ハ本縣蠶品種審査會委員タル蠶種製造者九名ト他ニ蠶種製造者九名トヲ選擇シテ之ニ依託セリ、而シテ供試蠶種ハ大正十二年春期本

場ニ於テ同一要件ノ下ニ採種シタルモノニシテ其ノ原種ハ左記系統ニ屬シ上田、松本、兩支場ニ於テ採種シタルモノナリ。

一、國蠶支四號 大正九年埼玉縣蠶業試驗場ヨリ分與ヲ受ケ爾來松本支場ニ於テ複製シタルモノナリ。

一、國蠶支七號 大正九年國立蠶業試驗場松本支場ヨリ配付ヲ受ケ爾來上田支場ニ於テ複製シタルモノナリ

一、國蠶歐七號 同 前

一、國蠶歐九號 同 前

供試蠶種ハ支母体ヲ甲組トシ歐母体ヲ乙組トシ蠶業試驗場ニ於テハ本場並ニ各支場共甲乙兩組ヲ又當業者ニハ甲組乙組ヲ各九名ニ別チ本場並ニ支場ハ各品種共ニ蠶量三分宛ヲ又當業者ハ各品種共ニ五蛾乃至六蛾分宛ヲ掃立飼育セシメタリ、今甲乙兩組ノ品種名ヲ記セバ次ノ如シ。

- | | |
|------------|------------|
| 國蠶支四號×同歐七號 | 國蠶歐七號×同支四號 |
| 國蠶支四號×同歐九號 | 國蠶歐九號×同支四號 |
| 國蠶支七號×同歐七號 | 國蠶歐七號×同支七號 |
| 國蠶支七號×同歐九號 | 國蠶歐九號×同支七號 |

本試驗ノ施行ニ當リ各支場並ニ當業者ニ依託試驗ヲ行ハムトスル所以ハ同一要件ノ下ニ飼育採種シタル前記ノ品種ハ氣候並ニ飼育技術ノ異ナル場合ニ於テ如何ナル成績ヲ舉グルヤヲ知ルト共ニ多數ノ實驗ヲ綜合シテ品種ノ具

有スル特性ヲ知ラムトスルニ在リ。

是故ニ依託試驗ニ在リテハ掃立蠶數、結繭蠶數、繭中斃蠶數、收繭量等ヲ正確ニ知リ且ツ一粒繰試驗用繭ト繰絲試驗用繭ノ採取ヲ的確ナラシメムガ爲メニ蠶業取締所職員ト郡蠶業技術員トニ調査委員ヲ囑託シ前記ノ調査ト試驗材料ノ採取トニ當ラシメタリ。

今依託者ト其調査委員トヲ記セバ次ノ如シ。

郡 村	氏 名	官 衙	氏 名
南佐久郡櫻井村	白田 萬之助	蠶業取締所岩村田支所	原田 源太郎
北佐久郡小諸町	純 水 館	同	伊 藤 章
小縣郡別所村	倉 澤 運平	同	上田支所 棚 澤 精一
小縣郡鹽尻村	馬 場 歳次	同	同
上 田 市	上田 蠶種株式會社	同	同
上伊那郡宮田村	中 原 珍吉	同	伊那支所 轟 梅吉
下伊那郡下條村	福 嶋 喜男	同	飯田支所 小池 龜太郎
東筑摩郡本郷村	二 木 洵	同	松本支所 唐 澤 正平

西筑摩郡讀書村	鈴木 簡一	同	同	北原 綱男
南安曇郡南穂高村	篠崎 四郎	同	豊科支所	安達 久作
北安曇郡七貴村	丸山 與喜藏	同	同	志田 傳次郎
更級郡川中島村	川中島蠶種合資會社	同	長野支所	中野 久之助
埴科郡杭瀬下村	米澤 秀作	同	同	矢島 清一
上高井郡綿内村	宮澤 貞助	同	須坂支所	齊藤 政之助
下高井郡平岡村	田尻 與三郎	同	同	面川 寅之助
上水内郡長沼村	山崎 五郎治	同	長野支所	木下 谷藏
上水内郡柳原村	中野 藤四郎	同	同	井上 一義
下水内郡秋津村	石澤 與右衛門	同	須坂支所	高野 國雄

三 依託試験ノ方法ト調査事項

(1) 依託試験ノ方法

依託者ニハ左記心得書ヲ配付シ之ニ依ラシメタリ。

一、蠶種ノ催青法ハ任意ナルコト、但シ其ノ概要ヲ調査表ニ記入シ置クコト。

二、蠶兒ノ掃立頭數ハ一品種ニ付二千頭以上トス、但シ各品種共ニ其ノ掃立頭數ヲ可成同一ナラシムルコト。

三、蠶兒掃立ノ豫定日ヲ調査委員ヘ通知スルコト。

四、蠶兒發生ヲ始メタル時ハ掃立ノ前日迄ハ之ヲ掃キ棄テ其ノ出殻ニ「ベン」ヲ以テ黒點ヲ附シ置クコト。

五、蠶兒掃立後未發生卵ハ直ニ焙殺シ其ノ掃キ殻ヲ蠶業試験場ニ送付スルコト、蠶業試験場ハ右出殻ニ付掃立頭數ヲ調査シ之ヲ依託者ニ通知ス。

六、蠶兒ノ掃立ハ調査委員立會ノ上行フコト。

七、蠶種ノ催青ニ注意シ各品種ヲ可成同一日ニ掃立ツルコト、但シ孵化不齊ニシテ二夜包ヲ爲ス場合ニハ必ず六十五度乃至七十度ニテ保護シ、其旨ヲ調査表ニ記入スルコト。

八、一品種毎ニ區劃ヲ正確ニナシ飼育ヨリ收購ニ至ル期間ニ於テ混合セザル様注意スルコト、若シ誤リテ混合セル場合ニハ之ヲ調査委員ヘ報告スルコト。

九、飼育用桑並ニ飼育法ハ任意ナルコト、但シ一箔ノ蠶兒頭數ハ各品種共可成同一ニスルコト。

一〇、遅眠蠶及病蠶ハ一品種毎ニ區別シ置き食桑スルコト能ハザルニ至リタル後之ヲ廢棄スルコト、但シ病蠶ハ之ヲ類別シテ其ノ頭數ヲ調査表ニ記入スルコト。

一一、蠶兒掃立並ニ上簇月日時ハ必ず調査表ニ記入スルコト、但シ上簇ハ終了日時ヲ以テス。

一二、一箔ノ上簇頭數ハ各品種共ニ可成同一頭數トスルコト。

- 一三、上簇ノ際ハ本場ヨリ送附セル上簇網ヲ以テ蠶箔ヲ覆ヒ熟蠶ノ散逸ト混合トヲ避クルコト。
- 一四、上簇後直ニ上簇月日ヲ調査委員ヘ報告スルコト。
- 一五、上簇後三日目乃至四日目ニ斃蠶及ビ不結繭蠶ヲ拾ヒ取り之ヲ蠶蛆病、軟化病、硬化病、微粒子病、膿病、及ビ其ノ他ノ六種ニ概別シ其ノ頭數ヲ調査表ニ記入スルコト。
- 一六、春蠶ニ在リテハ上簇中ノ溫度ヲ七十度乃至七十五度トシ、上簇後七日目ニ收繭シ、夏秋蠶ニ在リテハ七十五度乃至八十度ヲ目的トシ上簇後六日目ニ收繭シ、繭綿ヲ除去シ上繭、同功繭、屑繭ノ三種ニ區別シ置クコト
- 一七、收繭調査ハ春蠶ニアリテハ上簇後八日目ニ夏秋蠶ニ在リテハ上簇後七日目ニ調査委員ト共同シテ行フコト但シ收繭調査ノ方法ハ別ニ之ヲ定ム。
- 一八、交附セル蠶種ヨリ生産シタル上繭ハ蠶業試驗場ニ於テ之ヲ買收ス。
- 一九、買收數量ノ決定ハ收繭調査ノ際秤量シタルモノニ依リ又其ノ價格ハ時價ヲ參酌シテ蠶業試驗場長之ヲ定ム
- 二〇、上繭ノ荷造並ニ發送方法ハ調査委員ト協議スルコト。
- 二一、上繭ノ荷造、運賃ハ蠶業試驗場之ヲ負擔ス。
- 二二、依託手當ハ一品種ニ付金五圓ヲ交附ス。
- 二三、病蠶多出其ノ他事故ノ爲メ中途飼育ヲ廢止セントスル場合ニハ調査委員ヲ經由シテ蠶業試驗場ノ承認ヲ經ルコト。

- 二四、前項ノ承認ヲ經ズシテ飼育ヲ廢止シタル場合ニハ依託手當ヲ交附セザルコトアルベシ。
- 二五、飼育者ハ病蠶多出又ハ事故ニ依リ收繭無キ場合ト雖モ其ノ損害ヲ請求セザルコト。
- 二六、收繭調査ノ際切開シタル屑繭及ビ同功繭ハ其ノ損害ヲ請求セザルコト。

(ロ) 調査事項並ニ其ノ方法

調査委員ニ依頼セル事項ハ概略次ノ如シ。

- 一、收繭調査 春蠶ニアリテハ上簇後八日目夏秋蠶ハ上簇後七日目ニ各品種ニ付左記事項ヲ調査ス。
- (イ)、上繭、屑繭、同功繭ノ重量並ニ顆數
- 但シ繭層厚キ汚染繭ハ之ヲ上繭ニ加フルコト。
- (ロ)、上繭一升ノ重量並ニ顆數
- (ハ)、上繭二十顆ノ總量並ニ繭層量
- 但シ右ノ調査ハ二回之ヲ行ヒ對拾顆ノ平均量ヲ記入スルコト。
- 二、結繭蠶數調査 結繭蠶數ハ上繭及ビ屑繭一顆ヲ一頭トシ又同功繭ハ一顆ヲ二頭トス。
- 三、繭中斃蠶數調査 上繭及ビ屑繭ハ各百顆、同功繭ハ五十顆ヲ取り切開シテ斃蠶數ヲ調査ス(硬化病蠶及ビ蠶蛆病蠶ハ之ヲ斃蠶數ニ算入セズ別ニ其ノ頭數ヲ記載ス)
- 但シ上繭、屑繭及ビ同功繭ニ於テ所定顆數ニ滿タザル場合ニハ其全部ヲ調査スルコト。

- 四、一粒繰用繭ノ採取 上繭中ヨリ一品種毎ニ二十五顆ヲ取り一粒繰用繭袋ニ入ル、コト。
- 五、標本繭ノ採取 上繭中ヨリ一品種毎ニ六十丸ヲ取り標本用繭袋ニ入ル、コト。
- 六、調査材料採取ノ方法 前記三、四、五、ノ材料ハ必ズ摺ミ取りトス。
- 七、繰絲用繭ノ採取 上繭中ヨリ一品種毎ニ四百丸ヲ取り直ニ繰絲用繭袋ニ入ル、コト。
但シ一品種ノ上繭數量四百丸ニ充タザルモノアルトキハ各品種共ニ二百丸トスルコト。
- 八、殘繭ノ處理 上繭ノ殘繭ハ品種別ニ袋ニ入ル、コト。
- 九、繭輸送方法 上繭ハ荷造ニ注意シ調査後二日以内ニ北信地方ハ長野縣蠶業試驗場へ南信地方ハ松本工業試驗場へ下伊那郡ハ長野縣蠶業試驗場飯田支場へ發送シ同時ニ電報又ハ電話ヲ以テ通知スルコト。

四 飼 育 成 績

本試驗ニ於ケル一品種ノ飼育口數ハ蠶業試驗場試驗八口、依託試驗十八口、計二十六口ニシテ是等ハ飼育其ノ他ニ錯誤ナク全部豫定ノ調査ヲ施行シ得タリ。
今其ノ成績ノ概要ヲ記述スレバ次ノ如シ。

(イ) 掃 立 時 期

蠶兒ノ掃立最早キモノハ五月八日ニシテ其ノ最モ晩カリシモノハ五月二十七日ナリ、今國蠶支四號×同歐七號

ニ付其ノ掃立時期ヲ表示スレバ次ノ如シ。

月 日	掃立口數	月 日	掃立口數
五月 八 日	二口	五月 十五 日	三口
五月 九 日	二	五月 十六 日	二
五月 十 日	一	五月 十八 日	二
五月 十一 日	二	五月 十九 日	三
五月 十二 日	二	五月 二十 日	一
五月 十三 日	二	五月 二十五 日	一
五月 十四 日	二	五月 二十七 日	一

(ロ) 飼 育 日 數

蠶兒飼育中ニ於ケル溫湿度ノ調査不完全ナルヲ以テ其ノ飼育日數ハ正確ナリト稱シ難キモ本成績ニ依レバ國蠶支七號×同歐九號ノ三十二日一時間ハ最モ長ク、之ニ比シ國蠶支七號×同歐七號ハ二時間、國蠶支四號×同歐九號ハ十二時間、國蠶支四號×同歐七號ハ十四時間短縮セリ、而シテ之ヲ交雜原種ノ方面ヨリ觀察スルトキハ國蠶支七號×同支四號ニ比シ國蠶歐九號×同歐七號ニ比シ蠶兒ノ經過長キヲ要シタリ。

(ハ) 蟲 質 ノ 強 弱

蠶品種ノ實用的價值ヲ探究スル上ニ於テ最重要ナル事項ハ蟲質ノ強健度ヲ知ルニ在リ是故ニ本試験ニ於テハ同一品種ヲ廿有餘ヶ所ニ於テ飼育シ其ノ減蠶歩合ト繭中斃蠶歩合トヲ調査シ以テ蟲質ノ強健度ヲ知ルノ資ニ供シタリ。

蓋シ廿有餘ヶ所ニ別チテ飼育スル目的ハ氣候、風土、蠶室、飼育法等ノ異ナル場合ニハ減蠶歩合及ビ繭中斃蠶歩合ニ差異ヲ生ズルガ故ニ品種ノ特性ヲ知り易キト多數ノ實驗ヲ累積スルヲ以テ試験ノ誤差ヲ少ナカラシムルト又縣下各地ニ於ケル適良品種ヲ知ラムトスルニ在リ。

本試験ノ成績ニ依レバ減蠶歩合ノ最モ少キハ國蠶支四號×同歐九號ノ(一六、〇〇%)ニシテ國蠶支七號×同歐九號(一六、八)國蠶支四號×同歐七號(一八、四)ハ之ニ次ギ國蠶支七號×同歐七號(二〇、八%)ハ最モ多シ。

繭中斃蠶歩合ニ在リテハ國蠶支四號×同歐九號ノ三、二〇%最モ少ナク國蠶支四號×同歐七號(四、〇一)國蠶支七號×同歐九號(五、〇五)國蠶支七號×同歐七號(五、六五)ハ順次之ニ次ギタリ。

以上ノ成績ヲ綜合シテ考察スルニ蟲質ノ最モ強健ナルハ國蠶支四號×同歐九號ニシテ國蠶支七號×同歐九號、國蠶支四號×同歐七號ノ二種ハ兩者間ニ差異ナク中間ニ位シ、國蠶支七號×同歐七號ハ蟲質最モ虛弱ナルガ如シ。

而シテ蟲質ノ強健度ヲ交雜原種ノ方面ヨリ觀察スルニ國蠶支四號×同支七號ニ比シ又國蠶歐九號×同歐七號ニ比シ共ニ蟲質強健ナル傾向アリトス。

以上ノ詳細ヲ表示スレバ次ノ如シ。

第一表

品 種 名	飼 育 日 數	減 蠶 歩 合	繭 中 斃 蠶 歩 合	對 掃 立 蠶 數 健 蛹 歩 合
(甲)支四×歐七	三三、〇〇 ^{日時}	一八、六%	三、六〇%	七六、五%
(乙)歐七×支四	三〇、三三	一八、三	四、五三	七六、〇
平 均	三二、一一	一八、四	四、〇一	七六、三
(甲)支四×歐九	三三、〇一	一五、一	二、三九	八二、九
(乙)歐九×支四	三三、〇一	一七、二	四、二二	七九、三
平 均	三二、三三	一六、〇	三、二〇	八一、三
(甲)支七×歐七	三三、一六	一八、二	五、五六	七七、二
(乙)歐七×支七	三三、〇七	二三、五	五、七五	七二、一
平 均	三二、三三	二〇、八	五、六五	七四、七
(甲)支七×歐九	三三、一〇	一六、九	四、八一	七九、一
(乙)歐九×支七	三三、〇六	一六、七	五、三三	七六、八
平 均	三三、〇八	一六、八	五、〇五	七九、〇

(乙) 歐七×支七 平均	四三六	九〇、一	五、八	四、一
(甲) 支七×歐九 平均	四四五	九一、五	三、九	三、六
(乙) 歐九×支七 平均	四八四	九四、五	二、〇	三、五
平均	四八〇	九一、八	四、二	四、〇
		九三、三	三、〇	三、七

第四表 同功繭歩合明細表

品 種 名	平均歩合	2.0% 以下	4.0% 以下	6.0% 以下	8.0% 以下	10.0% 以下	16.0% 以上	18.0% 以下	計
支四×歐七	六、五%	一口	七口	五口	八口	一口		一口	二六口
支四×歐九	五、三%	一口	八口	九口	六口	六口		一口	二六口
支七×歐七	三、六%	一口	二口	六口	三口				二六口
支七×歐九	三、七%	一口	一口	七口	三口				二六口

五 繭質調査成績

繭質調査ハ各品種共ニ飼育口數ノ全部即チ廿六口ニ就テ之ヲ施行セリ、而シテ繭重量並ニ繭層量調査ハ收繭調査ト同時ニ行ヒタルモノニシテ、蠶業試験場本支場ニ在リテハ一品種ニ付雌雄各百顆、依託試験ニ在リテハ二十顆宛二回之ヲ調査セリ、又一粒繰試験用繭ハ收繭調査ニ當リ蠶業試験場本支場ハ一品種毎ニ雌雄各百顆、依託試験ハ二十五顆ヲ摺ミ取リニシ之ヲ本場、工業試験場及ビ飯田支場ニ送附シ乾繭シタルモノヲ本場ニ於テ蠶業試験場生産繭ハ一品種ニ付雌雄各八十顆、依託試験生産繭ハ一品種ニ付二十顆ヲ取リテ一粒繰試験ヲ行ヒタリ。

(イ) 繭 形

繭形ノ最大ナルハ國蠶支四號×同歐九號ニシテ國蠶支四號×同歐七號、國蠶支七號×同歐九號、國蠶支七號×同歐七號ハ僅少ノ差ヲ以テ順次之ニ次ギタリ、而シテ交雜原種ノ方面ヨリ觀察スレバ國蠶支四號ハ國蠶支七號ニ比シ、又國蠶歐九號ハ國蠶歐七號ニ比シ繭形稍々大ナリ。

(ロ) 繭 重

繭十顆ノ平均重量最モ重キハ國蠶支七號×同歐九號ノ五、八五ヌニシテ國蠶支七號×同歐七號(五、六八)國蠶支四號×同歐九號(五、六三)ハ之ニ次ギ國蠶支四號×同歐七號ノ五、四三ヌハ最モ輕シ、而シテ交雜原種ノ方面ヨリ觀察スレバ國蠶支七號ハ同支四號ニ比シ又國蠶歐九號ハ同歐七號ニ比シ重キ傾向アリ。

(ハ) 繭 層 歩 合

繭層歩合ハ國蠶支七號×同歐九號ニ於テ稍々多キ傾向アレ共他ノ三品種ハ大差ナシ。

(ニ) 絲 量

繭一類ノ絲量最モ多キハ國蠶支七號×同歐九號ノ〇、三〇瓦ニシテ國蠶支七號×同歐七號ノ〇、二九瓦ハ之ニ次
ギ他ノ二品種ハ共ニ〇、二八瓦ニシテ最モ少ナシ。

(ホ) 絲 長

國蠶支四號ヲ交雜シタルモノト同支七號ヲ交雜シタルモノトニ於テハ絲長ニ差異ナキガ如シ、然レドモ國蠶歐七
號ヲ交雜シタルモノハ同歐九號ヲ交雜シタルモノニ比シ絲長稍々長シ。

(ハ) 織 度

國蠶支七號×同歐九號ノ三、二八デニールハ最モ太ク國蠶支四號×同歐七號ノ二、九五デニールハ最モ細シ、而
シテ交雜原種ノ方面ヨリ觀察スレバ國蠶支四號ハ同支七號ニ比シ又國蠶歐七號ハ同歐九號ニ比シ織度細キ傾向ア
リ。

以上ノ詳細ヲ表示スレバ次ノ如シ。

第五表

品 種 名	對 生 繭		對 生 繭		繭 層 量		繭 層 歩 合		繭 量	絲 長	平 均
	重 量	升 數	重 量	升 數	繭 層 量	繭 層 歩 合	繭 層 歩 合	繭 層 歩 合			
(甲)支四×歐七	八二、八	一六〇	五、二四	〇、八一	一五、四二	〇、二七	七三七	二、九四	デニール	二、九四	

(乙)歐七×支四	八五、七	一五五	五、六二	〇、八四	一四、九三	〇、二八	七六〇	二、九七			
平 均	八三、八	一五七	五、四三	〇、八二	一五、一六	〇、二八	七四八	二、九五			
(甲)支四×歐九	八一、八	一五二	五、四八	〇、八五	一五、五九	〇、二八	七六	三、二			
(乙)歐九×支四	八五、八	一五〇	五、七六	〇、八八	一五、二六	〇、二九	七七	三、二			
平 均	八三、八	一五〇	五、六三	〇、八七	一五、三七	〇、二八	七七	三、一六			
(甲)支七×歐七	九一、三	一六七	五、六四	〇、八八	一五、五五	〇、二九	七四五	三、〇九			
(乙)歐七×支七	九五、〇	一六八	五、七二	〇、八六	一五、一一	〇、三〇	七五四	三、一四			
平 均	九三、二	一六八	五、六八	〇、八七	一五、三三	〇、二九	七四九	三、二			
(甲)支七×歐九	八八、二	一五六	五、九一	〇、九三	一五、七八	〇、三〇	七三七	三、二七			
(乙)歐九×支七	九三、三	一六四	五、八〇	〇、九二	一五、七五	〇、三〇	七三〇	三、二八			
平 均	九〇、八	一六〇	五、八五	〇、九二	一五、七六	〇、三〇	七三九	三、二八			

備考 一粒繭ハ蠶業試驗場ハ雌雄各八十顆依託試驗ハ雌雄混合二十顆ヲ供用セリ以下同之

第六表 繭 重 明 細 表

四) 國蠶支四號×同歐九號(一二、八三) 國蠶支七號×同歐七號(一二、七六)ハ順次之ニ次ギタリ、然レドモ其ノ差ハ極メテ僅少ナリ。

(ハ) 對一時間ノ繰絲量

對一時間ノ繰絲量多キハ國蠶支七號×同歐九號ノ一八、一四々ニシテ國蠶支四號×同歐九號(一七、八三) 國蠶支七號×同歐七號(一七、二九) 國蠶支四號×同歐七號(一七、〇七)ハ順次之ニ次キタリ然レドモ其ノ差ハ極メテ僅少ナリ。

(ニ) 對一時間ノ繰絲絲長

對一時間ノ繰絲量ハ生絲織度ノ細太ニ關スルコト多ク織度太ケレバ繰絲量多ク否ラザレバ少ナシ、故ニ繭解舒ノ良否ヲ考察スルニハ更ニ對一時間ノ繰絲絲長ヲ知ルコト肝要ナリ、之レ一時間ノ繰絲絲長多キモノハ解舒良好ナル一證查ナレバナリ、而シテ對一時間ノ繰絲絲長ハ一時間ノ繰絲量ヲ生絲織度ニテ除シテ之ヲ求メタリ、今其ノ成績ニ依レバ對一時間ノ繰絲絲長最モ長キハ國蠶支四號×同歐七號ノ三萬六千四百四十回(一回ノ長サハ一、一二五米トス)ニシテ國蠶支七號×同歐九號、國蠶支四號×同歐九號、國蠶支七號×同歐七號ハ順次少ナシ、然レドモ其ノ差ハ極メテ僅少ナリ。

(ホ) 層物量

層物量ハ供試品種中國蠶支四號×同歐七號ニ於テ稍々少ナキ傾向アルモ他ノ三品種ハ大差ナシ。

以上繰絲試驗ノ成績ニ依レバ供試品種ノ四品種ハ生絲量、對一時間ノ繰絲量其ノ他ニ於ケル差異極メテ僅少ニシテ優劣ノ差ヲ附シ難キガ如シ。
以上ノ詳細ヲ表示スレバ次ノ如シ。

第八表

品 種 名	生繭百分	對一時間 繰絲量	對一時間 繰絲絲長	對生絲 緒絲量	繭 綫量	揚繭 層量	物 計量
(甲)支四×歐七	三、九二	一七、〇〇		〇、八八	〇、四三	〇、三三	一、五三
(乙)歐七×支四	二、七六	一七、一四		〇、八一	〇、四〇	〇、一一	一、三三
平 均	三、八四	一七、〇七	三六、四〇	〇、八四	〇、四二	〇、一七	一、四三
(甲)支四×歐九	二、九二	一七、五七		一、〇一	〇、四五	〇、一四	一、六一
(乙)歐九×支四	二、七三	一八、一三		〇、八九	〇、四六	〇、〇七	一、四二
平 均	二、八三	一七、八三	三五、七五	〇、九六	〇、四五	〇、一一	一、五二
(甲)支七×歐七	三、七七	一六、六八		一、〇〇	〇、四五	〇、一三	一、六八
(乙)歐七×支七	三、七五	一七、八八		〇、九九	〇、四五	〇、一〇	一、五四
平 均	三、七六	一七、二九	三五、四四	〇、九九	〇、四五	〇、一七	一、六一

(甲)支七×歐九	三、九	一八、三	〇、九	〇、四	〇、一	一、五
(乙)歐九×支七	三、八	一八、五	一、〇	〇、五	〇、一	一、五
平均	三、九	一八、四	三、〇	一、〇	〇、四	一、五

備考
一、繰湯温度ハ華氏一七五度乃至一八〇度ニシテ小棒ノ回轉數ハ一分間三二〇回小棒ノ周圍ハ二尺ナリ。

第九表 生繭百匁生絲量明細表

品 種 名	平均絲量	15,00 以下	16,00 同	17,00 同	18,00 同	19,00 同	20,00 同	21,00 同	22,00 同	計
支四×歐七	三、八	口	口	一、口	五、口	一〇、口	六、口	二、口	一、口	二五、口
支四×歐九	三、八	口	一、口	一、口	五、口	九、口	七、口	二、口	一、口	二五、口
支七×歐七	三、七	口	一、口	二、口	五、口	八、口	七、口	一、口	一、口	二五、口
支七×歐九	三、九	口	口	一、口	六、口	九、口	二、口	一、口	一、口	二五、口

第十表 對一時間繰絲量明細表

品 種 名	平均對一時間繰絲量	15,00 以下	16,00 同	17,00 同	18,00 同	19,00 同	20,00 同	21,00 同	22,00 同	計
支四×歐七	一七、〇七	一口	一口	七、口	二、口	四、口	口	口	口	二五、口
支四×歐九	一七、八三	口	二、口	四、口	八、口	五、口	四、口	二、口	口	二五、口
支七×歐七	一七、二九	口	二、口	七、口	九、口	三、口	一、口	一、口	一、口	二五、口
支七×歐九	一八、一四	口	一、口	四、口	七、口	七、口	三、口	一、口	二、口	二五、口

七 生絲檢查成績

生絲檢查ハ長野縣工業試驗場ニ於テ之ヲ行ヒタリ、其ノ方法次ノ如シ。

- (イ)、織度検査 一品種ニ付キデニール絲二百回宛四本即チ繰絲者別ニ二本宛ヲ取りテ之ヲ検査ス。
- (ロ)、強伸力検査 強伸力検査用絲ハ一品種ニ付キ織度検査ニ供用セルデニール絲四本中ヨリ繰絲者別ニ目的織度ニ近キモノ二本ヲ取り一本毎ニ五回検査ス。
- (ハ)、類節検査 一品種ニ付回轉式自動檢類器ニ二百五十米宛四回即チ生絲一本分ヨリ二回宛採取シテ検査ス。
- (ニ)、肉眼的検査 ハ色澤及觸感ヲ主トシ一區毎ニ品種間ノ比較ヲナシ尙ホ總合的鑑定ヲナシ以テ品種ノ優劣ト特徴トヲ検査ス。

以上ノ方法ニ依リ検査シタル成績次ノ如シ。

(イ) 織度

生絲織度ノ最モ太キハ國蠶支七號×同歐九號ノ一五、一〇デニールニシテ國蠶支四號×同歐九號(一四、九六)國蠶支七號×同歐七號(一四、六三)ハ之ニ次ギ國蠶支四號×同歐七號ノ一四、一七デニールハ最モ細シ、而シテ交雜原種ノ方面ヨリ觀察スルニ國蠶歐九號ヲ交雜セシメタルモノハ國蠶歐七號ヲ交雜シタルモノニ比シ織度太ク又國蠶支七號ヲ交雜シタルモノハ國蠶支四號ヲ交雜シタルモノニ比シ織度稍々太キ傾向アリ。

(ロ) 額節

額節ハ四品種間ニ差異ナキガ如シ。

(ハ) 強力

強力ハ四品種間ニ差異ナキガ如シ。

(ニ) 伸度

伸度割合ノ最モ多キハ國蠶支四號×同歐九號ノ二、二一割ニシテ國蠶支四號×同歐七號(二、二〇)國蠶支七號×同歐七號(二、一九)之ニ次ギ國蠶支七號×同歐九號ノ二、一七割ハ最モ少ナシ。

(ホ) 肉眼検査

生産者全体ノ生絲ヲ各品種別ニ集メ、之ヲ大局的ニ審査セルニ各品種共其ノ成績伯仲シテ大差ナキモ色相ニ於テ

ハ國蠶支七號×同歐九號最モ濃ク白縞少ナク品位可良ニシテ國蠶支四號×同歐七號ハ最モ淡ク白縞多ク品位最モ劣レリ、而シテ是等各品種ノ綜合的成績ハ國蠶支七號×同歐九號、國蠶支七號×同歐七號、國蠶支四號×同歐九號、國蠶支四號×同歐七號ノ順位ナリ。今各品種ニ就キ綜合セル性状ヲ示セバ次ノ如シ。

品 種 名	色 相	縞	光 澤	觸 感
支 四 × 歐 七	淡褐色	白縞多シ	光澤中	絲腰アリ絲味多シ
支 四 × 歐 九	淡褐色	白縞多シ	光澤中	絲腰アリ絲味多シ
支 七 × 歐 七	濃褐色	白縞少シ	光澤上	絲腰強シ絲味ニ富ム
支 七 × 歐 九	濃褐色	白縞少シ	光澤上	絲腰強シ絲味ニ富ム

以上ノ詳細ヲ表示スレバ次ノ如シ。

第十一表

品 種 名	織 度 (平均)	額 節		強 力 (對一 デニール)	伸 度
		大	小 (對五百米)		
(甲) 支四 × 歐七	デニール 一四、三	〇、九個	六四、六個	三、二瓦	二、三割
(乙) 歐七 × 支四	一四、〇	〇、七	三七、七	三、二瓦	二、二割

品名	平均個數	20個以下	30同	40同	50同	60同	70同	80同	90同	100同	110同	120同	130同	140同	計
支四×歐七	五、七	一	二	六	五	一	五	二	二	一	一	一	一	一	二、五
支四×歐九	五、三	一	一	五	九	二	二	一	一	一	一	一	一	一	二、五
支七×歐七	五、六	一	二	七	六	四	二	三	二	二	一	一	一	一	二、五
支七×歐九	五、〇	一	二	八	四	二	二	一	三	一	一	一	一	一	二、五

第十三表 生絲小類明細表

品名	平均個數	20個以下	30同	40同	50同	60同	70同	80同	90同	100同	110同	120同	130同	140同	計
支四×歐九	九	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	二、五
支七×歐七	九	一	二	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	二、五
支七×歐九	九	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	二、五

品名	平均度	12,50以下	13,00同	13,50同	14,00同	14,50同	15,00同	15,50同	16,00同	16,50同	17,00同	計
支四×歐七	四、一七	一	四	四	四	二	一	五	三	一	一	二、五

第十二表 生絲織度明細表

品名	平均度	12,50以下	13,00同	13,50同	14,00同	14,50同	15,00同	15,50同	16,00同	16,50同	17,00同	計
平	一、一〇	〇、五	〇、五	〇、五	〇、五	〇、五	〇、五	〇、五	〇、五	〇、五	〇、五	二、一七
(甲)支四×歐九	一、四、一七	〇、八	一、〇	一、〇	一、〇	一、〇	一、〇	一、〇	一、〇	一、〇	一、〇	二、一〇
(乙)歐九×支四	一、四、六九	〇、六	〇、六	〇、六	〇、六	〇、六	〇、六	〇、六	〇、六	〇、六	〇、六	二、一〇
平	一、四、九六	〇、八	〇、八	〇、八	〇、八	〇、八	〇、八	〇、八	〇、八	〇、八	〇、八	二、一〇
(甲)支七×歐七	一、四、三三	〇、六	〇、六	〇、六	〇、六	〇、六	〇、六	〇、六	〇、六	〇、六	〇、六	二、一〇
(乙)歐七×支七	一、四、九五	〇、七	〇、七	〇、七	〇、七	〇、七	〇、七	〇、七	〇、七	〇、七	〇、七	二、一〇
平	一、四、六三	〇、七	〇、七	〇、七	〇、七	〇、七	〇、七	〇、七	〇、七	〇、七	〇、七	二、一〇
(甲)支七×歐九	一、四、八三	〇、四	〇、四	〇、四	〇、四	〇、四	〇、四	〇、四	〇、四	〇、四	〇、四	二、一〇
(乙)歐九×支七	一、五、四〇	〇、六	〇、六	〇、六	〇、六	〇、六	〇、六	〇、六	〇、六	〇、六	〇、六	二、一〇
平	一、五、一〇	〇、五	〇、五	〇、五	〇、五	〇、五	〇、五	〇、五	〇、五	〇、五	〇、五	二、一〇

附

錄

支歐二代交雜種本支場共通試驗成績

大正十三年春期試驗

一 催青及孵化調查

品種名	催青日數	催青		總卵數	平均	孵化步合
		平均溫度	平均濕度			
支四 × 歐七	二五、二三	七〇、八	七〇、七	五五、五	五、七	九八、四
歐七 × 支四	二五、〇六	七〇、七	七〇、九	五五、六	五、八	九八、三
平均	二五、〇九	七〇、七	七〇、八	五四、〇	五、三	九八、五九
支四 × 歐九	二五、一七	七〇、七	七〇、六	五八、七	五、九	九八、六四
歐九 × 支四	二五、一七	七〇、七	七〇、六	四七、五	五、七	九八、六四
平均	二五、一七	七〇、七	七〇、六	五三、一	五、四	九八、六三
支七 × 歐七	二五、一七	七〇、七	七〇、六	五〇、三	五、四	九七、六一
歐七 × 支七	二五、一三	七〇、八	七〇、七	五八、一	五、三	九八、六二
平均	二五、一五	七〇、八	七〇、六	五四、二	五、三	九八、一八
支七 × 歐九	二五、一七	七〇、七	七〇、六	五九、八	五、九	九八、〇〇
歐九 × 支七	二五、一三	七〇、八	七〇、七	四六、二	四、五	九八、〇〇
平均	二五、一五	七〇、八	七〇、七	五三、〇	五、四	九八、九四

備考 一、孵化調查、各場共一品種ニ就キ五蛾宛トス以下本支場共通試驗ノモノ全之

二 蠶兒飼育經過

品種名	一 齡		二 齡		三 齡		四 齡		五 齡		全齡
	食桑中絶食中	合計	食桑中絶食中	合計	食桑中絶食中	合計	食桑中絶食中	合計	食桑中絶食中	合計	
支四 × 歐七	四、一四	一、〇七	四、一七	一、二二	三、三三	一、二二	四、〇六	一、二九	六、〇一	七、二二	二九、二四
歐七 × 支四	四、一一	一、〇六	四、一九	一、一一	三、一九	一、一四	四、〇五	一、一〇	六、〇一	七、〇七	二九、〇七
平均	四、一三	一、〇七	四、一八	一、一八	三、二二	一、一八	四、〇五	一、二〇	六、〇一	七、一〇	二九、〇七
支四 × 歐九	四、一六	一、〇四	四、二二	一、一四	三、二三	一、一四	四、〇一	一、一六	五、一七	七、〇五	二九、〇四
歐九 × 支四	四、一二	一、〇六	四、二二	一、一四	三、一九	一、一四	四、〇二	一、一〇	五、一三	七、〇九	二九、〇七
平均	四、一四	一、〇五	四、二二	一、一四	三、二一	一、一四	四、〇二	一、一三	五、一三	七、〇七	二九、〇六
支七 × 歐七	四、一六	一、〇四	四、二二	一、一四	四、〇三	一、一四	四、〇七	一、一六	五、二三	七、二〇	三〇、〇一
歐七 × 支七	四、一一	一、〇六	四、一七	一、一三	三、一七	一、一三	四、一一	一、一〇	五、〇六	七、一五	二九、一四
平均	四、一四	一、〇五	四、二〇	一、一五	三、二二	一、一四	四、〇九	一、一三	五、一四	七、一八	二九、〇八
支七 × 歐九	四、一七	一、〇五	四、二〇	一、一四	三、二〇	一、一四	四、〇九	一、一八	六、〇三	七、二七	二九、二一
歐九 × 支七	四、一二	一、〇六	四、一七	一、一三	三、一七	一、一三	四、〇九	一、一八	六、〇三	七、一七	二九、二一
平均	四、一四	一、〇五	四、一八	一、一四	三、一八	一、一四	四、〇九	一、一八	六、〇三	七、二二	二九、二一
支七 × 歐九	四、一七	一、〇五	四、二〇	一、一四	三、二〇	一、一四	四、〇九	一、一八	六、〇五	七、一九	二九、〇九
歐九 × 支七	四、一二	一、〇六	四、一七	一、一三	三、一九	一、一三	四、〇九	一、一三	六、〇七	七、一三	二九、一九
平均	四、一四	一、〇五	四、一八	一、一四	三、一九	一、一四	四、〇九	一、一三	六、〇七	七、一六	二九、一九

三 蠶兒飼育中濕度

品種名	一齡		二齡		三齡		四齡		五齡		全齡	
	溫度	濕度	溫度	濕度	溫度	濕度	溫度	濕度	溫度	濕度	溫度	濕度
支四 × 歐七	七三、二	五九、九	七三、四	五九、七	七三、八	六〇、七	七三、八	六〇、九	七三、三	六九、〇	七三、六	六二、三
歐七 × 支四	七三、三	五九、八	七三、五	五八、三	七三、八	六一、〇	七三、八	六一、〇	七三、四	六八、〇	七三、五	六一、八
平 均	七三、一	五九、八	七三、三	五九、〇	七三、五	六一、〇	七三、五	六一、〇	七三、三	六八、〇	七三、四	六一、三
支四 × 歐九	七三、二	五九、九	七三、三	五九、〇	七三、四	六一、〇	七三、五	六一、〇	七三、三	六八、〇	七三、四	六一、三
歐九 × 支四	七三、四	五九、六	七三、三	五八、七	七三、六	六一、〇	七三、六	六一、〇	七三、二	六八、〇	七三、三	六一、九
平 均	七三、三	五九、七	七三、三	五九、〇	七三、六	六一、〇	七三、六	六一、〇	七三、三	六八、〇	七三、三	六一、一
支七 × 歐七	七三、四	五九、六	七三、五	五九、〇	七三、五	六一、一	七三、五	六一、一	七三、二	六八、〇	七三、四	六一、三
歐七 × 支七	七三、四	五九、七	七三、六	五八、二	七三、九	六一、〇	七三、七	六一、〇	七三、三	六八、五	七三、五	六一、三
平 均	七三、四	五九、七	七三、六	五九、〇	七三、七	六一、〇	七三、五	六一、〇	七三、三	六八、六	七三、五	六一、三
支七 × 歐九	七三、四	五九、七	七三、四	五九、〇	七三、六	六一、〇	七三、六	六一、〇	七三、七	六九、二	七三、六	六一、二
歐九 × 支七	七三、四	五九、七	七三、三	五八、三	七三、六	六一、三	七三、九	六一、三	七三、三	六九、一	七三、五	六一、二
平 均	七三、四	五九、七	七三、三	五八、三	七三、六	六一、三	七三、六	六一、三	七三、三	六九、一	七三、五	六一、二

四 給桑量調査(對蠶量三分)

品種名	給桑量					對蠶量	給桑回数					
	一齡	二齡	三齡	四齡	五齡		一齡	二齡	三齡	四齡	五齡	
支四 × 歐七	一二五	二二九	六九三	二、一六四	一五、九三七	六三、七六〇	三四	二二	二四	二四	三七	一四一
歐七 × 支四	一〇五	二二二	六三五	一、八二三	一三、七〇七	五九、九八〇	三三	二二	二四	二二	三七	一三八
平 均	一一〇	二二五	六六四	一、九九四	一四、八三二	五六、八七〇	三三	二二	二四	二二	三七	一三九
支四 × 歐九	一一八	二二〇	七三七	二、二五七	一六、一九五	六五、二一〇	三四	二三	二四	二三	三七	一三九
歐九 × 支四	一〇七	二二七	六五五	一、九〇九	一三、八一七	五五、六七〇	三三	二二	二四	二三	三七	一三九
平 均	一一二	二二四	六六六	二、〇八三	一五、〇〇六	六〇、四〇三	三四	二三	二四	二三	三七	一三九
支七 × 歐七	一一四	二二七	七二七	二、二二五	一六、四九八	六五、九一〇	三三	二三	二五	二四	三九	一四四
歐七 × 支七	一〇五	二二二	六二八	一、九四〇	一三、八九〇	五五、九五〇	三三	二二	二四	二五	三八	一四二
平 均	一一〇	二二五	六七二	二、〇七七	一五、一四四	六〇、九二三	三三	二二	二四	二三	三九	一四二
支七 × 歐九	一一七	二二八	七三七	二、三六六	一六、二〇一	六五、四六〇	三四	二三	二五	二四	三九	一四五
歐九 × 支七	一一〇	二二〇	六四四	二、〇七九	一四、一三三	五七、二九〇	三三	二三	二四	二五	三七	一四一
平 均	一一三	二二四	六八五	二、二三三	一五、一六六	六一、三七〇	三四	二三	二四	二五	三七	一四三

五 蠶兒體量調査 (對百頭)

品種名	蠶體量	四眠蠶體量	五齡		平均
			♀	♂	
支 歐	0,010,96	二,九	二五,九	一一,七	二八,八
支 歐	0,015,51	二五,二	一四五,九	二二,九	一四三,三
平 七	0,012,84	二五,五	一三五,九	一一,七,三	二六,六
平 九	0,011,27	二五,八	一三三,八	一一,六,五	二五,二
支 歐	0,014,28	二五,六	一四六,七	一一,八	一三六,二
支 歐	0,012,54	二四,二	一四〇,三	一一,一	一三〇,七
支 歐	0,011,47	二三,〇	一三三,〇	一一,七	一二八,六
支 歐	0,015,44	二五,六	一五四,〇	一一,二	一三一,〇
支 歐	0,013,94	二三,八	一四三,〇	一一,九	一二七,八
支 歐	0,011,39	二五,一	一三六,八	一一,八	一二七,九
支 歐	0,014,16	二五,三	一四九,六	一一,三	一二八,九
支 歐	0,012,63	二四,二	一四三,二	一一,五	一二三,四

備考

一 蠶體量ハ蠶兒掃立ノ際一品種毎ニ蠶量五厘宛ニ返稱量シ各七五%ノ酒精中ニ入レ置キ後頭數ヲ調査シテ算出セリ以下本支場共通試験ノモノ全之
 一 四眠蠶體量ハ第四蟻停食後次回ノ給桑時ニ於テ雌雄混五十頭ニ就キ調査シ百頭ニ換算セリ以下本場共通試験ノモノ全之
 一 五齡盛蠶體量ハ雌雄別ニ五十頭宛ヲ調査シ百頭ニ換算セリ以下本支場共通試験ノモノ全之

六 蠶兒頭數調査

品種名	掃立蠶數	結繭蠶數	歩		繭中歩	總蠶數
			歩	合		
支 歐	二七三,八	二四一,〇	三三,八	二二,〇	二六	一〇,九
支 歐	一九三,四	一七三,九	一九,五	一〇,一	二五	一〇,一
平 七	二二二,六	二〇七,五	二六,一	一一,二	二五	一〇,二
平 九	二二八,五	二二八,〇	三〇,五	一一,四	三〇	一〇,六
支 歐	二二〇,一	一八五,九	二四,二	一一,五	三七	二〇,〇
支 歐	二二九,三	二二二,九	二七,四	一一,四	三四	一五,九
支 歐	二六二,六	二二二,三	四〇,三	一五,四	八三	三,七,四
支 歐	一九六,九	二七,四	一九,五	九,九	五五	三,一,一
支 歐	二二九,三	一九九,三	三〇,〇	一三,一	六九	三,四,六
支 歐	二六三,五	二二五,八	四七,七	一八,一	六八	三,一,六
支 歐	二二一,八	一八五,〇	二六,八	一二,六	五九	三,一,六
支 歐	二二七,六	二〇〇,四	三三,二	一五,七	六三	三,一,六

備考
 一 掃立蠶數ハ各場共通試験ノモノ全之
 二 結繭蠶數ハ各場共通試験ノモノ全之
 一 繭中歩數ハ普通繭及屑繭ハ各百頭同功繭ハ五十頭ヲ切算シテ總蠶數ヲ調査シ此レニヨリテ總蠶數ノ割合ナリ
 二 繭中歩數ハ普通繭及屑繭ハ各百頭同功繭ハ五十頭ヲ切算シテ總蠶數ヲ調査シ此レニヨリテ總蠶數ノ割合ナリ
 三 繭中歩數ハ普通繭及屑繭ハ各百頭同功繭ハ五十頭ヲ切算シテ總蠶數ヲ調査シ此レニヨリテ總蠶數ノ割合ナリ
 四 繭中歩數ハ普通繭及屑繭ハ各百頭同功繭ハ五十頭ヲ切算シテ總蠶數ヲ調査シ此レニヨリテ總蠶數ノ割合ナリ
 五 繭中歩數ハ普通繭及屑繭ハ各百頭同功繭ハ五十頭ヲ切算シテ總蠶數ヲ調査シ此レニヨリテ總蠶數ノ割合ナリ

七 不良蠶調查

品 種 名	遲 眠 蠶 數				飼 育 中 病 蠶 數					不 結 繭 蠶 數	疾 中 病 蠶 數	
	一齡	二齡	三齡	四齡	一齡	二齡	三齡	四齡	五齡			
支四 × 歐七	一〇	一四	二九	七六	一	〇	一	二	一四	一九		
歐七 × 支四	一〇	一四	二〇	三三	四	〇	一	一	一〇	一七		
平 均	二〇	二三	二五	五〇	二	一	一	一	三	一七		
支四 × 歐九	二二	二二	二二	七二	〇	一	一	〇	二	三		
歐九 × 支四	三三	二二	二七	三三	一	一	一	一	〇	〇		
平 均	三三	二二	二四	五三	二	一	一	一	〇	〇		
支七 × 歐七	一五	二一	四二	八二	三	二	三	四	九	一五		
歐七 × 支七	七	七	三	三	二	二	二	〇	二	一五		
平 均	一一	九	三三	六六	二	二	二	二	二	一五		
支七 × 歐九	二〇	七	二八	七三	三	二	三	二	八	二〇		
歐九 × 支七	一三	一〇	三	二	〇	一	一	一	九	二〇		
平 均	一六	四〇	二五	三六	四	二	六	三	九	一六		

八 收購繭調查

品 種 名	普通繭		屑繭		全功繭		合 計		對 掃 立 蠶 千 頭 收 繭 量	步	
	重 量	顆 數	重 量	顆 數	重 量	顆 數	重 量	顆 數		普 通 繭	屑 繭 全 功 繭
支四 × 歐七	一、一七、九	二二七	一、三、五	二七	八四、五	八三	一、一七、〇、九	二二七	四六四	一、〇、六	六、六、五
歐七 × 支四	九六、八、〇	一五七三	一、〇、七	二二	四八、七	五七	一、〇、七、四	一六四一	五三一	一、〇、四	四、七、四
平 均	一、〇七、〇、四	一八四	一、一、一	二五	六六、六	六五	一、一、四、九、一	一九八四	四九二	一、〇、五	五、八、〇
支四 × 歐九	一、二四、九	二二二三	九、七	二〇	六九、四	六四	一、三、二、〇	二二一六	四九二	〇、七、三	五、二、五
歐九 × 支四	一、〇七、〇	一九九三	七、七	一三	五三、八	四六	一、一、三、二、五	一八一三	四九二	〇、七、三	四、七、五
平 均	一、一五、七、〇	一九九三	八、七	一六	六、六	五五	一、二、七、三	二〇六四	五三九	〇、六、八	四、七、五
支七 × 歐七	一、一九六、二	二二一	三、一	三二	三二、四	三二	一、二、五、〇、七	二二八二	四七八	一、七、六	二、五、九
歐七 × 支七	九八九、八	一六七七	一八、九	三二	三二、〇	三二	一、〇、四、二、七	一七四〇	五二九	〇、七、一	五、〇、二
平 均	一、〇九、〇	一八九六	二〇、五	三二	三三、二	三二	一、一、四、五、七	一九六一	五〇〇	一、七、九	三、二、六
支七 × 歐九	一、一七三、八	二〇五九	一七、〇	二八	三六、六	三二	一、二、七、四	二二二二	四六六	一、三、九	二、九、八
歐九 × 支七	一、〇六三、五	一七三六	一九、〇	二八	四七、四	四三	一、二、九、九	一八〇九	五三三	一、六、八	四、一、九
平 均	一、一八、六	一八九七	一七、九	二九	四二、〇	三八	一、一、七、八、五	一九六四	四九六	一、五、三	三、五、六

備考 一對掃立蠶千頭收繭量ノ平均ハ掃立總頭數及總收繭量ヨリ算出セリ以下本支場共通試驗ノモノ全之
一對總收繭量歩合ノ平均ハ普通繭、屑繭全功繭ノ各總收繭量ヨリ算出セリ以下本支場共通試驗ノモノ全之

九 繭 質 調 査

品 種 名	糸 量	糸 長	織 度	生 繭		繭 層 量	織 層 歩 合
				重 量	顆 數		
支四 × 歐七	〇、二八	七七一	二、八八	八、一七	一五七	〇、八〇	一五、六七
歐七 × 支四	〇、三〇	八〇一	三、〇三	八、四八	一四一	〇、九三	一五、五二
平 均	〇、二九	七八六	二、九六	八、三、七	一四九	〇、八八	一五、五九
支四 × 歐九	〇、二九	七三六	三、一九	八、三、九	一四七	〇、九一	一六、一四
平 均	〇、三〇	七四六	三、二六	八、二、九	一三七	〇、九四	一五、五一
歐九 × 支四	〇、三〇	七四二	三、三三	八、三、四	一四二	〇、九二	一五、八一
平 均	〇、二九	七六八	三、〇六	九、〇、七	一六五	〇、八九	一六、〇二
支七 × 歐七	〇、三〇	七七一	三、二八	九、四、九	一五一	〇、九六	一六、三一
平 均	〇、三〇	七六一	三、二七	九、二、八	一六三	〇、九一	一六、一七
支七 × 歐九	〇、三二	七六二	三、二九	九、四、四	一五三	〇、九四	一六、五五
平 均	〇、三三	七四八	三、四〇	九、〇、八	一五三	〇、九一	一六、一三
歐九 × 支七	〇、三三	七五五	三、三四	九、〇、一	一五二	〇、九八	一六、六八

備考
 一 糸量、糸長、織度ハ各場共ニ就キ雌雄各八十粒宛調査セリ
 一 生繭十顆重量繭層量歩合ハ雌雄各百顆ヲ調査シ算出セリ
 一 繭層量歩合ノ平均ハ總繭層量及繭層量ヨリ算出セリ
 一 以上ノ調査並ニ算出方法ハ以下本支場共通試験ハ全一ナリ

十 繰 糸 成 績

品 種 名	乾 繭 量	粒 數	生 糸 量	殘 繭 量	對 一 時 間	對 生 糸 十 夕 層 物 量			
						緒 糸 量	蛹 體 量	揚 繭 量	合 計
支四 × 歐七	三六、六	一九三	一三、三二	〇、三六	一六、七七	〇、八八	〇、四二	〇、三二	一四、二
歐七 × 支四	三六、六	一九九	一三、〇〇	〇、一七	一七、六〇	〇、八三	〇、三八	〇、三二	一四、三
平 均	三六、六	一九一	一三、一六	〇、二七	一七、一七	〇、八五	〇、四〇	〇、三二	一四、三
支四 × 歐九	三六、九	一八三	一二、四八	〇、二六	一七、八〇	〇、九三	〇、四七	〇、三二	一四、五
歐九 × 支四	三六、八	一八三	一二、四五	〇、二六	一七、八九	〇、九七	〇、四四	〇、三二	一四、五
平 均	三六、八	一八三	一二、四五	〇、二六	一七、八九	〇、九七	〇、四四	〇、三二	一四、五
支七 × 歐七	三七、一	一八二	一二、二六	〇、三〇	一七、九三	〇、九二	〇、四二	〇、三三	一四、九
歐七 × 支七	三七、一	一八二	一二、二六	〇、三〇	一七、九三	〇、九二	〇、四二	〇、三三	一四、九
平 均	三七、一	一八二	一二、二六	〇、三〇	一七、九三	〇、九二	〇、四二	〇、三三	一四、九
支七 × 歐九	三七、四	一七六	一二、二七	〇、二八	一七、四八	〇、八八	〇、四三	〇、三三	一四、九
歐九 × 支七	三七、三	一七六	一二、二七	〇、二八	一七、四八	〇、八八	〇、四三	〇、三三	一四、九
平 均	三七、三	一七六	一二、二七	〇、二八	一七、四八	〇、八八	〇、四三	〇、三三	一四、九

備考
 一 煮繭溫度ハ華氏二〇五度乃至二〇六度繰湯溫度ハ全一七五度乃至一八〇度ニシテ小梓ノ回轉數ハ一分
 一 問ニ三百十回小梓ノ周圍ハ二尺トス
 一 對生繭十夕層物量ノ乾繭量粒數生糸量及殘繭ハ各其ノ總數ニテ除シ之ヲ換算シタルモノナリ
 一 對生糸十夕層物量ノ平均ノ乾繭量粒數ハ前項ニ準シテ算出シタルモノナリ
 一 右ノ三項ハ本書記載ノ本支場共通試験ハ全一ナリ

日歐一代雜種試驗

十一生糸検査成績

品 種 名	織		平 均	大 類		合 計	供 用 糸		多 強	少 弱	平 均	力		多 伸	少 伸	平 均
	太	細		大	小		大	小				大	小			
支四 × 歐七	一四、七五	一二、五六	一三、五〇	〇、三	七八、一	七八、四	一三、七二	五九	三九	四五	三、二四	二、四八	一、八三	二、二〇		
歐七 × 支四	一六、二五	一一、四四	一四、二四	〇、六	四七、〇	四七、六	一四、八八	六〇	四〇	四八	三、二四	二、五五	一、八六	二、二五		
平 均	一五、五〇	一二、〇〇	一三、八七	〇、四	六二、六	六三、〇	一四、三〇	五七	三九	四六	三、二四	二、五二	一、八四	二、二三		
支四 × 歐九	一六、六九	一三、八一	一五、二二	〇、六	八〇、三	八〇、九	一四、三八	五〇	三八	四五	三、一一	二、五三	一、八三	二、一八		
歐九 × 支四	一六、六九	一四、六九	一五、六二	〇、八	四八、四	四九、二	一五、〇〇	五五	四二	四七	三、一五	二、五五	一、八六	二、二六		
平 均	一六、六九	一四、五	一五、四二	〇、七	六四、三	六五、〇	一四、六九	五二	三九	四六	三、一三	二、五四	一、八四	二、二三		
支七 × 歐七	一五、七五	一三、四四	一四、三八	〇、九	七七、一	七八、〇	一四、一九	五五	三九	四七	三、三〇	二、五五	一、八六	二、二〇		
歐七 × 支七	一七、五〇	一三、一九	一五、四九	〇、二	六〇、三	六〇、五	一四、八一	六一	四二	五〇	三、三八	二、四七	二、〇二	二、二六		
平 均	一六、六三	一三、三一	一四、九三	〇、六	六八、七	六九、三	一四、五〇	五八	四〇	四八	三、三四	二、五一	一、九四	二、二三		
支七 × 歐九	一七、三二	一三、六九	一五、四四	〇、一	六六、三	六六、四	一四、九四	六〇	三九	四九	三、三〇	二、五三	一、七八	二、一八		
歐九 × 支七	一七、九四	一四、〇六	一五、六九	〇、四	五五、一	五五、五	一四、九四	五九	四三	五一	三、三八	二、五六	一、八八	二、一九		
平 均	一七、六三	一三、八八	一五、五七	〇、二	五八、二	五八、四	一四、九四	五九	四二	五〇	三、三四	二、五四	一、八三	二、一八		

日歐一代雜種試驗

品 種 名	太 織		細 度		大 小		節 節		多 少		平 均	
	太	織	平	均	大	小	合	計	多	少	平	均
支四 × 歐七	一四、七五	一四、七五	一三、五八	一三、五八	〇、三	七、八	七、八	七、八	四、七	四、七	四、五	三、四
歐七 × 支四	一六、二五	一六、二五	一四、二四	一四、二四	〇、六	四、七	四、七	四、七	六、〇	六、〇	四、八	三、二
平 均	一五、五〇	一五、五〇	一三、〇〇	一三、〇〇	〇、四	六、二	六、二	六、二	五、三	五、三	四、六	三、二
支四 × 歐九	一六、六九	一六、六九	一三、八	一三、八	〇、六	八、〇	八、〇	八、〇	四、九	四、九	四、五	三、一
歐九 × 支四	一六、六九	一六、六九	一四、六九	一四、六九	〇、八	四、八	四、八	四、八	四、九	四、九	四、七	三、一
平 均	一六、六九	一六、六九	一四、二五	一四、二五	〇、七	六、四	六、四	六、四	五、〇	五、〇	四、六	三、一
支七 × 歐七	一五、七五	一五、七五	一三、四四	一三、四四	〇、九	七、七	七、七	七、七	四、九	四、九	四、七	二、三
歐七 × 支七	一七、五〇	一七、五〇	一三、一九	一三、一九	〇、二	六、〇	六、〇	六、〇	五、五	五、五	四、七	二、三
平 均	一六、六三	一六、六三	一三、三二	一三、三二	〇、六	六、八	六、八	六、八	五、八	五、八	四、七	二、三
支七 × 歐九	一七、三二	一七、三二	一三、六九	一三、六九	〇、一	六、一	六、一	六、一	四、四	四、四	四、九	三、〇
歐九 × 支七	一七、九四	一七、九四	一四、〇六	一四、〇六	〇、四	五、五	五、五	五、五	四、四	四、四	五、一	三、六
平 均	一七、六三	一七、六三	一三、八八	一三、八八	〇、二	五、八	五、八	五、八	四、四	四、四	五、〇	三、三

十一生糸検査成績

日歐一代雜種ニ關スル試驗

一 緒言

本縣指定蠶品種中日歐一代雜種ハ國蠶日一〇五號×同歐九號ノ一品種ナリトス、然ルニ指定蠶品種中ニハ國蠶支七號×同歐七號、國蠶日一〇七號(國蠶支九號)、正白×國蠶支四號等アリ、是故ニ日歐二化一化一代雜種製造ノ場合ニ於テ國蠶日一〇五號ニ代フルニ國蠶日一〇七號又ハ正白ヲ、又國蠶歐九號ニ代フルニ國蠶歐七號ヲ以テスルトキハ特ニ國蠶日一〇五號ト國蠶歐九號トヲ飼育スルノ煩ヲ避ケ得ベク從テ蠶種製造上ニ於ケル利便鮮少ナラザルナリ。

本試驗ハ即チ前記各種ノ日歐二化一化一代雜種ニ就キ其ノ利害得失ヲ調査探究セムトスルニ在リ。以下試驗ノ方法ト其ノ成績トヲ記述スベシ。

二 試驗ノ方法

本試驗ハ大正十二年ノ夏期ニ於テ一回、大正十三年ニハ春、夏ノ兩期ニ於テ各一回之ヲ施行セリ、而シテ試驗方法ハ支歐一代雜種ニ關スル試驗ト同一方法ニヨリ蠶業試驗場試驗ト依託試驗トノ二種ニ別チ蠶業試驗場試驗ハ本場並ニ上田、松本、飯田ノ三支場ニ於テ之ヲ施行シ、依託試驗ハ本縣蠶品種審査會委員タル蠶種製造者及養蠶者

ト郡市長並ニ蠶業取締所支所長ノ推薦ニ係ル養蠶者ト蠶種製造者トニ試験ヲ依託セリ。

本試験ニ供用セル蠶種ハ大正十二年春期本場ニ於テ同一要件ノ下ニ飼育採種シタルモノニシテ十二年度試験ニハ日母体ノ生種ヲ使用シ十三年度試験ニハ春夏共ニ其ノ反對種タル黒種即チ歐母体ヲ使用セリ、今其ノ原種ノ系統ヲ記セバ次ノ如シ。

一、國蠶日一〇五號 大正八年國立蠶業試験場松本支場ヨリ配付ヲ受ケ爾來上田支場ニ於テ複製シタルモノナリ
一、國蠶日一〇七號 大正十年國立蠶業試験場松本支場ヨリ配付ヲ受ケ縣立松本支場ニ於テ之ヲ複製シタルモノナリ。

一、正白 大正五年縣立松本支場ニ於テ育成シ爾來同場ニテ複製シタルモノナリ。
一、國蠶歐七號 大正九年國立蠶業試験場松本支場ヨリ配付ヲ受ケ爾來上田支場ニ於テ複製シタルモノナリ。
一、國蠶歐九號 同前。

大正十二年ノ夏期試験ハ本場、上田支場、松本支場以外ニ蠶種製造者、養蠶者各五名ニ依託シ大正十三年ノ春期試験ハ本場、上田、松本、飯田各支場以外ニ養蠶者十九名ニ依託シ同年夏期試験ハ本場、上田支場、松本支場以外ニ蠶種製造者十名ニ依託セリ、而シテ蠶業試験場ニ於テハ各品種共ニ蟻量三分宛ヲ又當業者ニハ一品種五蛾乃至六蛾分ヲ掃立飼育セシメタリ、今其ノ品種名ヲ掲グレバ次ノ如シ。

大正十二年夏期

- 國蠶日一〇五號♀×同 歐七號♂
- 國蠶日一〇五號♀×同 歐九號♂
- 正 白 ♀×國蠶歐七號♂
- 正 白 ♀×國蠶歐九號♂
- 國蠶日一〇七號♀×同 歐七號♂
- 國蠶日一〇七號♀×同 歐九號♂
- 國蠶歐七號♀×同日一〇五號♂
- 國蠶歐九號♀×同日一〇五號♂
- 國蠶歐七號♀×正 白 ♀
- 國蠶歐九號♀×正 白 ♀

大正十三年春期及夏期

備考 大正十三年度ニハ前年度ノ試験成績ニ鑑ミ國蠶日一〇七號×同歐七號及國蠶日一〇七號×同歐九號ノ二品種ヲ除キタリ。

前記依託試験ノ調査ハ支歐一代雜種試験ト同一ノ方法ニ依リタリ、今依託者ト其ノ調査委員トヲ記セバ左ノ如シ。

大正十二年夏期

依託者 調查員

郡市村氏名官衙氏名

南佐久郡前山村
北佐久郡小諸町
小縣郡長瀬村
諏訪郡下諏訪町
上伊那郡伊那町
下伊那郡下川路村
東筑摩郡上川手村
松本市
南安曇郡高家村
北安曇郡池田町

本間 熊雄
佐久蠶種會社
白井 常治
久保田 八百吉
上伊那蠶種同業組合
長谷部 鑑
長崎 長門
丸山 謹一郎
竹内 脩一郎

南佐久郡役所
蠶業取締所岩村田支所
同 上田支所
諏訪郡役所
蠶業取締所伊那支所
下伊那郡役所
東筑摩郡役所
蠶業取締所松本支所
南安曇郡役所
蠶業取締所豊科支所

四四
影山 邦作
絹村 貢
糊澤 精一
茂呂 藏一郎
轟 梅吉
酒井 末吉
須田 哲之郎
唐澤 正平
黒澤 俊一
原田 源太郎

大正十三年春期

依

郡市村

氏

名

官

衙

氏

名

上田市新田
小縣郡丸子町
同 郡依田村
諏訪郡下諏訪町
上伊那郡南箕輪村
下伊那郡山吹村
同 郡龍江村
東筑摩郡壽村
西筑摩郡山口村
南安曇郡豊科町
北安曇郡會染村
更級郡御厨村
埴科郡五加村
上高井郡川田村
下高井郡平野村

永井 清三郎
齋藤 清次郎
田村 高市
久保田 八百吉
堀 善左衛門
城子 和多治
木下 彦雄
瀨黒 幸市
宮下 菊次郎
岡村 未作
師岡 政春
林 盛三郎
中村 茂十郎
北島 政雄
山田 莊左衛門

上田市役所
小縣郡役所
同
諏訪郡役所
上伊那郡役所
下伊那郡役所
同
東筑摩郡役所
西筑摩郡役所
南安曇郡役所
北安曇郡役所
更級郡役所
埴科郡役所
上高井郡役所
下高井郡役所

田子 雄一
倉澤 美徳
橋詰 英夫
有賀 政清
安川 嘉三
酒井 末吉
永田 平
須田 哲之郎
大槻 貞雄
黒澤 俊一
加地 鐘次郎
雜賀 喜久三
風間 平一郎
萩原 駒人
青木 賢一郎

上水内郡朝陽村	丸山久太郎	上水内郡役所	鈴木三之介
下水内郡太田村	水野三右衛門	下水内郡役所	北澤武

大正十三年夏期

依託

者

官 衛 査

委 員

郡市 村

氏 名

官 衛 査

氏 名

南佐久郡青沼村	三石庫之助	蠶業取締所岩村田支所	原田源太郎
小縣郡長瀬村	白井八郎右衛門	同 上田支所	棚澤精一
諏訪郡永明村	小川徳衛	同 諏訪支所	林定雄
上伊那郡宮田村	中原珍吉	同 伊那支所	轟梅吉
下伊那郡市田村	木村重一	同 飯田支所	小池龜太郎
東筑摩郡本郷村	二木 洵	同 松本支所	唐澤正平
南安曇郡温村	千國九十五	同 豊科支所	安達久作
埴科郡五加村	宮入真一	同 長野支所	矢島清一
上高井郡井上村	齋藤政治郎	同 須坂支所	齋藤政之助
上水内郡安茂里村	岡村勝治郎	同 長野支所	木下谷藏

三 依託試験ノ方法ト調査事項

依託試験ニ於ケル注意事項ト調査委員ニ囑託セル調査事項トハ支歐一代雜種ニ關スル試験ト同一ナリ。

四 飼育成績

本試験ニ於ケル一品種ノ飼育口數ハ大正十二年ノ夏期ハ蠶業試験場試験三口、依託試験十口ニシテ大正十三年ノ春期ハ蠶業試験場試験四口、依託試験十九口、同年夏期ハ蠶業試験場試験三口、依託試験十口ナリ、然ルニ依託試験ニ於テ調査不備ノモノ、結繭蠶數ノ掃立蠶數ヨリモ多キモノ、其他錯誤ト認ムベキモノ等アリシヲ以テ之ヲ除キ本成績ニハ大正十二年度ニ於テ十一口、大正十三年度春期ニ於テ十八口、同年夏期ニ於テ十三口、總計四十二口ノ調査成績ヲ記載シタリ。

(イ) 掃立時期

大正十二年度試験ノ蠶種ハ同年六月二十八日及ビ二十九日本場ニ於テ採種シタルモノニシテ産卵後四日目ニ之ヲ試験者ニ配付セリ、而シテ其ノ掃立時期ハ試験者ノ任意トセリ、然レドモ之ヲ遅延セシムル場合ニハ試験品種ノ全部ヲ同一ノ溫度ニ同一日數冷藏セシメ且ツ蠶種ハ催青卵冷藏法ニ依ラシメタリ、故ニ其ノ掃立ハ七月九日ヨリ七月十七日ノ九日間ニ亘リタリ、今國蠶日一〇七號×同歐七號ニ付其ノ掃立ノ概要ヲ示セバ次ノ如シ。

月 日	掃立口數	月 日	掃立口數	月 日	掃立口數
七月九日	一口	七月十一日	二口	七月十七日	一口
七月十日	五	七月十二日	二		

大正十三年度春期試験ノ蠶種ハ大正十二年六月下旬採種後本場蠶室内ニ於テ保護シ置キ大正十三年三月二十五日
上田冷蔵庫ニ冷蔵(温度三十四度)シ試験者ノ希望ニ應ジテ出庫シ之ヲ郵送セリ、故ニ其ノ掃立ハ五月八日ヨリ六
月二日ニ至ル二十六日間ニ亘リタリ、今國蠶歐七號×同日一〇五號ニ付掃立ノ概要ヲ示セバ次ノ如シ

月 日	掃立口數	月 日	掃立口數	月 日	掃立口數
五月八日	二口	五月十四日	一口	五月廿一日	三口
五月九日	一	五月十六日	二	五月廿二日	一
五月十日	一	五月十七日	一	六月二日	一
五月十一日	一	五月十九日	一		
五月十三日	二	五月廿日	一		

大正十三年夏期試験ノ蠶種ハ春期試験ノ蠶種ト同一ノモノニシテ三月二十五日ヨリ上田冷蔵庫(華氏三十四度)ニ
冷蔵シ置キ試験者ノ希望ニ應ジテ出庫シ之ヲ郵送セリ、故ニ其ノ掃立ハ七月十日ヨリ七月廿一日ニ至ル十二日間
ニ亘リタリ。

今國蠶歐七號×同日一〇五號ニ付其ノ掃立概況ヲ示セバ次ノ如シ。

月 日	掃立口數	月 日	掃立口數	月 日	掃立口數
七月十日	一口	七月十二日	一口	七月十七日	一口
七月十一日	八	七月十五日	一	七月廿一日	一

(ロ) 飼育日數

蠶兒飼育中ニ於ケル温湿度ノ調査不完全ナルヲ以テ其ノ飼育日數ハ正確ナリト稱シ難キモ本成績ニ依レバ國蠶歐
九號ノ交雜種ハ同歐七號ノ交雜種ニ比較シテ七例中五例ハ長ク二例ハ短カシ、然レドモ其ノ差ハ僅カニ一時間乃
至四時間ナリ、又國蠶日一〇五號ノ交雜種ハ正白ノ交雜種ニ比較シテ六例中二例ハ長ク三例ハ短ク一例ハ同一ナ
リ而シテ國蠶日一〇七號ノ交雜種ハ同日一〇五號ノ交雜種ニ比較シテ稍々短カキ傾向アリトス。

(ハ) 蟲質ノ強弱

減蠶歩合、國蠶歐九號ノ交雜種ハ同歐七號ノ交雜種ニ比シ常ニ減蠶歩合少ナキ成績ヲ示セリ、即チ七例全部少ナ
シ、又國蠶日一〇五號ノ交雜種ハ正白ノ交雜種ニ比シ減蠶歩合稍々多キガ如シ、即チ六例中四例ハ多ク二例ハ少
ナシ、而シテ國蠶日一〇七號ノ交雜種ハ國蠶日一〇五號ノ交雜種ト略同一程度ニ在ルガ如シ。

繭中斃蠶歩合、國蠶歐九號ノ交雜種ハ同歐七號ノ交雜種ニ比シ繭中斃蠶歩合少ナシ、即チ七例中六例ハ少ナク一
例ハ多シ、又國蠶日一〇五號ノ交雜種ハ正白ノ交雜種ニ比シ六例中四例ハ少ナク二例ハ多シ、而シテ國蠶日一〇

七號ノ交雜種ハ同日一〇五號ノ交雜種ニ比シ稍々多キ傾向アリ。
 由是觀之國蠶歐九號ノ交雜種ハ同歐七號ノ交雜種ニ比シ蟲質強健ニシテ又國蠶日一〇五號ノ交雜種ハ正白ノ交雜種ト蟲質ノ強健度伯仲ノ間ニ在リト云ヒ得ベシ、而シテ國蠶日一〇七號ノ交雜種ハ國蠶日一〇五號ノ交雜種ニ比シ蟲質稍々虛弱ナル傾向アリトス。
 以上ノ詳細ヲ表示スレバ次ノ如シ。

第一表

品 種 名	飼 育 日 數	減 蠶 步 合	繭 中 斃 蠶 步 合	對 掃 立 蠶 數 健 蛹 步 合
日一〇五×歐七	二四、三	二八、〇%	四、一九	六九、〇
日一〇五×歐九	二四、三	二二、四	六、二五	七一、九
正 白×歐七	二四、〇九	二二、四	五、四二	七四、三
正 白×歐九	二四、〇七	二〇、五	五、二七	七五、三
日一〇七×歐七	二四、〇九	二七、〇	七、〇三	六七、八
日一〇七×歐九	二四、〇六	二三、七	五、九七	七一、八
歐七×日一〇五	三三、二二	九、三	二、三二	八八、六

第二表 減蠶歩合明細表

三 年 春		三 十 年 夏	
品 種 名	平均歩合	品 種 名	平均歩合
歐九×日一〇五	三三、三	歐九×正 白	二六、五
歐七×正 白	三三、一〇	歐九×日一〇五	二九、三
歐九×正 白	三三、三	歐七×正 白	二七、一
歐七×日一〇五	三三、一〇	歐九×日一〇五	三〇、〇
歐九×正 白	三三、三	歐七×正 白	九、八
歐七×正 白	三三、一〇	歐九×正 白	一〇、一
歐九×正 白	三三、三	歐七×正 白	二、三二
歐七×日一〇五	三三、三	歐九×正 白	一〇、六七
歐九×正 白	三三、三	歐七×正 白	八、四三
歐七×正 白	三三、三	歐九×正 白	八、六八
歐九×正 白	三三、三	歐七×正 白	八、六八
歐七×正 白	三三、三	歐九×正 白	六〇、七
歐九×正 白	三三、三	歐七×正 白	六六、七
歐七×正 白	三三、三	歐九×正 白	六三、七
歐九×正 白	三三、三	歐七×正 白	八八、一
歐七×正 白	三三、三	歐九×正 白	八七、〇
歐九×正 白	三三、三	歐七×正 白	八九、七
歐七×正 白	三三、三	歐九×正 白	六七、一

品 種 名	平均歩合	品 種 名	平均歩合
日一〇五×歐七	二八、〇%	日一〇五×歐九	二三、三
日一〇五×歐九	二三、三	正 白×歐七	二二、四
正 白×歐七	二二、四	正 白×歐九	二〇、五
正 白×歐九	二〇、五		
5,0%以下	二口		
10,0同	二口		
15,0同	一口		
20,0同	一口		
25,0同	一口		
30,0同	一口		
35,0同	一口		
40,0同	一口		
45,0同	一口		
50,0同	一口		
55,0同	二口		
60,0同	一口		
65,0同	一口		
70,0同	一口		
75,0同	一口		
80,0同	一口		
85,0同	一口		
90,0同	一口		
95,0同	一口		
計	二口		

五 繭質調査成績

繭質調査ハ各品種共飼育口數四十二口ニ付之ヲ行ヒタリ、而シテ調査ノ方法並ニ材料採取方法等ハ支歐一代雜種
試験ト同一ノ方法ニ依リタリ、今調査ノ概要ヲ記セバ次ノ如シ。

(イ) 繭形

國蠶歐九號ノ交雜種ハ同歐七號ノ交雜種ニ比シ繭形稍々大ニシテ又國蠶日一〇五號ノ交雜種ト正白ノ交雜種トハ
殆ンド同大ナリ。

(ロ) 繭重

國蠶歐九號ノ交雜種ハ同歐七號ノ交雜種ニ比シ繭重稍々輕シ、即チ七例中四例ハ輕ク三例ハ重シ、又國蠶日一〇
五號ノ交雜種ハ正白ノ交雜種ニ比シ繭重多シ、即チ六例中四例ハ重ク二例ハ輕シ然レドモ其ノ差ハ僅微ナリ。

(ハ) 繭層歩合

國蠶歐九號ノ交雜種ハ同歐七號ノ交雜種ニ比シ繭層歩合多シ即チ七例中六例ハ多ク一例ハ少ナシ、又國蠶日一〇
五號ノ交雜種ハ正白ノ交雜種ニ比シ繭層歩合少ナシ、即チ六例中五例ハ少ナク一例ハ多シ然レドモ其ノ差ハ僅少
ナリ。

(ニ) 絲量

國蠶歐九號ノ交雜種ハ同歐七號ノ交雜種ニ比シ絲量稍々少ナキ傾向アリ、即チ七例中五例ハ同一ニシテ二例ハ少
ナシ、又國蠶日一〇五號ノ交雜種ハ正白ノ交雜種ニ比シ絲量少ナシ、即チ六例中四例ハ少ナク二例ハ同一ナリ、
而シテ國蠶日一〇七號ノ交雜種ハ前記兩者ノ中間ニ在リ。

(ホ) 絲長

國蠶歐九號ノ交雜種ハ同歐七號ノ交雜種ニ比シ絲長短カシ、即チ七例中六例ハ短カク一例ハ長シ、然レドモ其ノ
差ハ僅少ナリ、又國蠶日一〇五號ノ交雜種ハ正白ノ交雜種ニ比シ絲長長シ即チ六例中五例ハ長ク二例ハ短カシ、
而シテ國蠶日一〇七號ノ交雜種ハ絲長最モ短カシ。

(ヘ) 織度

國蠶歐九號ノ交雜種ハ同歐七號ノ交雜種ニ比シ織度太シ即チ七例中五例ハ太ク二例ハ細シ、又國蠶日一〇五號ノ
交雜種ハ正白ノ交雜種ニ比シ織度細シ即チ六例中五例ハ細ク一例ハ太シ、而シテ國蠶日一〇七號ノ交雜種ハ織度
最モ太シ。

(ト) 概評

以上ノ成績ヲ綜合シテ概評スレバ左ノ如シ

國蠶日一〇五號×同歐七號、繭形最モ小ニシテ繭重多ク繭層歩合ハ少ナシ絲量ハ普通ニシテ絲長長ク織度細シ。
國蠶日一〇五號×同歐九號、繭形最モ大ニシテ繭重重シ、然レドモ繭層歩合ハ第三位ニ在リ絲量最モ少ナク絲長

織度ハ各種ノ中間ニ在リ。

正白×國蠶歐七號、國蠶日一〇五號×同歐七號ニ比シ繭形稍々大ニシテ繭重、繭層歩合、絲長、織度ハ各品種ノ中間ニ在リ絲量最モ多シ。

正白×國蠶歐九號、繭形中位ニシテ繭重ハ第二位ニアレドモ繭層歩合ト絲量トハ第一位ニ在リ絲長最モ短ク織度最モ太シ。

以上ノ詳細ヲ表示スレバ次ノ如シ

第五表

品名	對上繭一升		對生繭		繭層歩合		絲長		平均織度
	重量	顆數	重量	繭層量	繭層歩合	絲量	顆數		
日一〇五×歐七	九、一	一七三	四、七	〇、六九	一四、六七	〇、三	六、七	二、六三	
日一〇五×歐九	九、一	一六五	四、七	〇、六八	一四、七五	〇、三	六、七	二、五七	
正白×歐七	九、二	一七〇	四、七	〇、七〇	一四、七	〇、三	六、七〇	二、七二	
正白×歐九	九、二	一七〇	四、七	〇、七〇	一四、七	〇、三	六、七〇	二、七二	
日一〇七×歐七	九、一	一六五	四、七	〇、六七	一四、二	〇、三	六、三九	二、七三	
日一〇七×歐九	九、一	一七三	四、七	〇、七〇	一四、五	〇、三	六、三八	二、八四	

第六表 繭重明細表

品名	平均重量	夏年三十				春年三十				計
		歐九×正白	歐七×正白	歐九×日一〇五	歐七×日一〇五	歐九×正白	歐七×正白	歐九×日一〇五	歐七×日一〇五	
日一〇五×歐七	四、七二	一八四	一九〇	一七七	一九三	一六七	一七〇	一六五	一七三	二、〇六
日一〇五×歐九	四、六〇	一八四	一九〇	一七七	一九三	一六七	一七〇	一六五	一七三	三、一〇
正白×歐七	四、七二	一八四	一九〇	一七七	一九三	一六七	一七〇	一六五	一七三	二、九七
正白×歐九	四、七二	一八四	一九〇	一七七	一九三	一六七	一七〇	一六五	一七三	三、一七

夏年三十				春年三十				夏年二十					
歐九×正白	歐七×正白	歐九×日一〇五	歐七×日一〇五	歐九×正白	歐七×正白	歐九×日一〇五	歐七×日一〇五	日一〇七×歐九	日一〇七×歐七	正白×歐九	正白×歐七	日一〇五×歐九	日一〇五×歐七
二、七五	二、七〇	二、六四	二、六二	三、一七	二、九七	三、一〇	三、〇六	二、八四	二、七三	二、六五	二、七二	二、五七	二、六三
			一										口
													口
一	一		一							二		一	口
二	一	三	二					一		一		二	三口
一		一	二						二	二	三	一	二口
一	三	三	一						二	一	三	三	四口
	五	三	四		三		一	三	四	三	二	三	口
六	一	一	二	一	二	一	一	四	二		二		一口
一	二	一		一	七	四	五	一	一	二	一		一口
				六	三	六	四	二					口
一				四	二	三	二						口
				二		一	一						口
				三		二	二						口
					一								口
													口
													口
三	三	三	三	八	八	八	八	二	二	二	二	二	二口

品 種 名	夏年三十				春年三十				夏年		
	歐九×正白	歐七×正白	歐九×日一〇五	歐七×日一〇五	歐九×正白	歐七×正白	歐九×日一〇五	歐七×日一〇五	日一〇七×歐九	日一〇七×歐七	正白×歐九
平均											
2,2以下	五、〇二	五、〇八	五、〇五	五、〇〇	五、六二	五、六六	五、七六	五、七九	四、九七	四、七六	四、七五
2,3同											
2,4同											
2,5同	一		一	一							一
2,6同											
2,7同	一	一	二	二					二	三	一
2,8同											
2,9同	四	四	二	二		一			六	六	五
3,0同											
3,1同	六	八	七	六	六	四	七	三	三	二	四
3,2同											
3,3同	一		二	七	一〇	六	二				
3,4同											
3,5同		一		四	三	五	三				
3,6同											
3,7同											
3,8同											
3,9同											
計	三	三	三	三	八	八	八	八	二	二	二

第七表 繭織度明細表

六 繰絲試驗成績

本試驗ハ長野縣工業試驗場ニ於テ之ヲ施行セリ、而シテ一品種ノ試験口數ハ生繭四百匆ノモノ三十五口生繭二百匆ノモノ四口總計三十九口ナリ。

試験ノ方法ハ本書記載ノ支歐一代雜種ニ關スル試験ト同一ノ方法ニ依リ之ヲ施行セリ、今其ノ成績ノ概要ヲ記述スレバ次ノ如シ。

(イ) 養繭時間

大正十二年夏期飼育ノモノハ二百六度乃至二百七度ニ於テ三分間乃至九分間ヲ要シ、大正十三年春期飼育ノモノハ二百五度ニ於テ二分間乃至八分間ヲ要シ、同年夏期飼育ノモノハ二百五度ニ於テ三分間乃至四分間ヲ要シタリ而シテ養繭時間ハ前述ノ如ク年ニ依リ多少差異アリ、又飼育者ノ異ナルニ依リテ大差アリシモ品種間ノ差ハ極メテ僅少ニシテ強テ之ヲ求ムレバ正白ノ交雜種ニ於テ稍々長キヲ要シタリ。

(ロ) 生絲量

國蠶歐九號ノ交雜種ハ同歐七號ノ交雜種ニ比シ生繭百匆ニ對スル生絲量稍々少ナキ傾向アリ、即チ七例中前者ノ多キ場合ハ二例ニシテ他ノ五例ハ少ナシ、又國蠶日一〇五號ノ交雜種ハ正白ノ交雜種ニ比シ生絲量少ナシ、即チ六例全部前者ハ少ナキ成績ヲ示シタリ、而シテ國蠶日一〇七號ノ交雜種ハ同日一〇五號ノ交雜種ト略々同一ノ成

績ヲ示シタリ。

(ハ) 對一時間ノ繰絲量

國蠶歐九號ノ交雜種ハ同歐七號ノ交雜種ニ比シ對一時間ノ繰絲量稍々少ナキガ如シ即チ七例中前者ノ多キ場合ハ三例ニシテ少ナキ場合ハ四例ナリ、又國蠶日一〇五號ノ交雜種ハ正白ノ交雜種ニ比較シテ對一時間ノ繰絲量少ナシ即チ六例中少ナキ場合ハ五例ニシテ多キ場合ハ僅カニ一例ナリ、而シテ國蠶日一〇七號ノ交雜種ハ他ノ二化性種ノ交雜種ニ比シ對一時間ノ繰絲量最モ多キ成績ヲ示シタリ。

(ニ) 對一時間ノ繰絲長

支歐一代雜種試験ト同一方法ニ依リ對一時間ノ繰絲長ヲ算出シテ比較スルニ國蠶歐九號ノ交雜種ハ同歐七號ノ交雜種ヨリモ對一時間ノ繰絲長稍々多キ傾向ヲ示シタリ、即チ七例中前者ノ多キ場合ハ四例ニシテ少ナキ場合ハ三例ナリ、又國蠶日一〇五號ノ交雜種ハ正白ノ交雜種ヨリモ對一時間ノ繰絲長多シ即チ六例中前者ノ多キ場合ハ四例ニシテ少ナキ場合ハ僅カニ二例ナリ、而シテ國蠶日一〇七號ノ交雜種ハ同日一〇五號ノ交雜種ト殆ンド同一ノ成績ヲ示シタリ。

(ホ) 屑物量

國蠶歐九號ノ交雜種ハ同歐七號ノ交雜種ヨリモ屑物量多シ即チ七例中前者ノ多キ場合ハ六例ニシテ少ナキ場合ハ僅カニ一例ナリ又國蠶日一〇五號ノ交雜種ハ正白ノ交雜種ニ比シ屑物量多シ即チ六例全部多シ、而シテ國蠶日一

○七號ノ交雜種ハ他ノ二化性種ノ交雜種ニ比シ屑物量少ナキ傾向アリトス。
 之ヲ要スルニ正白ノ交雜種ハ國蠶日一〇五號ノ交雜種ニ比シ又國蠶歐七號ノ交雜種ハ同歐九號ノ交雜種ニ比較シ
 テ繰絲試験ノ成績優良ナルガ如シ。
 以上ノ詳細ヲ表示スレバ次ノ如シ。

第八表

品 種 名	生繭百匁		對一時間		對一時間		對生絲		十匁屑物	
	生絲量	繰絲量	繰絲量	繰絲長	緒絲量	蛹繭量	揚繭量	計		
日一〇五×歐七	二、六七	一八、〇八	三七、七六	一、〇一	〇、五四	〇、一八	一、七四			
日一〇五×歐九	二、七五	一七、五二	三六、一四九	一、〇五	〇、五二	〇、二一	一、七六			
正 白×歐七	二、三三	一八、六一	三七、四九六	〇、九二	〇、五八	〇、二〇	一、七〇			
正 白×歐九	二、九〇	一七、六五	三五、四四二	一、〇一	〇、五四	〇、一九	一、七四			
日一〇七×歐七	二、六八	一八、二〇	三六、二〇七	〇、八六	〇、六九	〇、二四	一、六九			
日一〇七×歐九	二、六二	一八、九六	三七、四九五	〇、九三	〇、五七	〇、二三	一、七三			
歐七×日一〇五	三、三四	一六、六〇	三四、九三三	一、一四	〇、四六	〇、一七	一、七七			
歐九×日一〇五	三、三四	一六、六〇	三四、九三三	一、一四	〇、四六	〇、一七	一、七七			
歐九×日一〇五	三、二四	一六、五二	三四、三三六	一、一九	〇、四八	〇、一七	一、八四			

品 種 名	生繭百匁		對一時間		對一時間		對生絲		十匁屑物	
	生絲量	繰絲量	繰絲量	繰絲長	緒絲量	蛹繭量	揚繭量	計		
歐 七×正白	二、三九	一六、七五	三四、四八九	〇、九八	〇、四四	〇、一三	一、五五			
歐 九×正白	二、六〇	一七、〇五	三五、五五一	一、一〇	〇、四五	〇、一一	一、六六			
歐七×日一〇五	二、三三	一七、三〇	三四、九四九	一、〇九	〇、四六	〇、一〇	一、六五			
歐九×日一〇五	二、二九	一七、一七	三五、八三二	一、一四	〇、五〇	〇、一二	一、六六			
歐七×正 白	二、四七	一七、二五	三四、三四〇	〇、九八	〇、五二	〇、一三	一、六三			
歐九×正 白	二、三五	一九、〇三	三六、五九六	一、〇〇	〇、四八	〇、一〇	一、五八			

備考

一、繰湯温度ハ華氏百七十五度乃至百八十度ニシテ小枠ノ回轉數ハ一分間三百十回(小枠ノ周圍ハ二尺)ナリ。
 二、繰絲試験ニ供用セル繭量ハ大正十二年夏期試験ハ生繭四百匁ノモノ七口、二百匁ノモノ四口ニシテ大正十三年度試験ハ全部生繭四百匁ナリ

第九表 生繭百匁生絲量明細表

品 種 名	平 均 量		口	計
	生絲量	繰絲量		
日一〇五×歐七	二、六七	一八、〇八	一口	二口
日一〇五×歐九	二、七五	一七、五二	一口	二口
正 白×歐七	二、三三	一八、六一	一口	二口
正 白×歐九	二、九〇	一七、六五	一口	二口

七 生絲検査成績

生絲検査ハ前記繰絲試験ノ生産品ニ就キ長野縣工業試験場ニ於テ之ヲ施行セリ、而シテ其ノ方法ハ本書記載ノ支歐一代雜種ニ關スル試験ト同一方法ニ依リタリ、今其ノ成績ノ概要ヲ記述スレバ次ノ如シ。

(イ) 織 度

國蠶歐九號ノ交雜種ト同歐七號ノ交雜種トハ其ノ生絲織度殆ンド同一ナル成績ヲ示シタリ即チ七例中前者ノ太キ場合ハ三例ニシテ細キ場合ハ四例ナリ然レドモ其ノ差ハ極メテ僅少ナリ、又國蠶日一〇五號ノ交雜種ハ正白ノ交雜種ニ比シ織度細シ即チ六例中前者ノ細キ場合ハ五例ニシテ太キ場合ハ僅カニ一例ナリ、而シテ國蠶日一〇七號ノ交雜種ハ他ノ二化性種ノ交雜種ヨリモ太キ成績ヲ示シタリ。

(ロ) 類 節

國蠶歐九號ノ交雜種ハ同歐七號ノ交雜種ニ比シ類節多シ即チ七例全部多キ成績ヲ示シタリ、又國蠶日一〇五號ノ交雜種ハ正白ノ交雜種ヨリモ類節多キ傾向アリ即チ六例中前者ノ多キ場合ハ四例ニシテ少ナキ場合ハ二例ナリ、而シテ國蠶日一〇七號ノ交雜種ハ他ノ二化性種ノ交雜種ヨリモ多キ成績ヲ示シタリ。

(ハ) 強 力

國蠶歐九號ノ交雜種ハ同歐七號ノ交雜種ヨリモ強力少ナシ、即チ七例中前者ノ少ナキ場合ハ五例ニシテ他ノ二例

ハ同一ナリ然レドモ其ノ差ハ僅少ナリトス、又國蠶日一〇五號ノ交雜種ハ正白ノ交雜種ニ比シ強力少ナキ成績ヲ示シタリ即チ六例中前者ノ少ナキ場合ハ五例ニシテ多キ場合ハ僅カニ一例ナリ、而シテ國蠶日一〇七號ノ交雜種ハ他ノ二化性種ノ交雜種ヨリモ少ナシ。

(ニ) 伸 度

國蠶歐九號ノ交雜種ハ同歐七號ノ交雜種ニ比シ伸度少ナシ、即チ七例中前者ノ少ナキ場合ハ四例ニシテ一例ハ多ク二例ハ同一ナリ、又國蠶日一〇五號ノ交雜種ト正白ノ交雜種トハ伸度ニ差異ナキガ如シ、即チ六例中前者ノ少ナキ場合二例ニシテ三例ハ多ク一例ハ同一ナリ。

(ホ) 肉 眼 檢 査

生産者全体ノ生糸ヲ各品種別ニ集メ之ヲ審査セルニ各品種共ニ大差ナキモ其ノ綜合的成績ハ正白×國蠶歐九號、正白×國蠶歐七號、國蠶日一〇五號×同歐九號、國蠶日一〇五號×同歐七號ノ順位ニアリ、然レドモ之ヲ黃繭ノ支歐一代雜種ニ比スレバ成績何レモ劣レリ、今各品種ニ就キ検査成績ノ概要ヲ示セバ次ノ如シ。

品 種 名	色 相	縞	光 澤	觸 感
日一〇五×歐七	淡褐色	白縞多シ	光澤中	絲腰アリ 絲味多シ
日一〇五×歐九	淡褐色	白縞多シ	光澤上	絲腰アリ 絲味多シ
正 白×歐 七	淡褐色	白縞多シ	光澤中	絲腰強シ 絲味ニ富ム

正白×歐九 淡褐色 白縞少シ 光澤上 絲腰強シ 絲味ニ富ム

七〇

以上ノ詳細ヲ表示スレバ次ノ如シ。
第十一表

品 種 名	織 度 (平均)	類 節 (對五百メートル)		強 力 (對一デニール)	伸 度
		大	小		
日一〇五×歐七	一四、五六	〇、四	九、五	四、三	二、〇四
日一〇五×歐九	一四、五四	〇、五	九、六	四、三	二、〇〇
正 白×歐七	一四、八九	〇、四	七、三	四、一	二、〇三
正 白×歐九	一四、九四	〇、七	八、五	四、四	二、〇〇
日一〇七×歐七	一五、〇八	〇、六	九、一	四、〇〇	二、一〇
日一〇七×歐九	一五、一七	〇、七	一〇、六	三、九七	二、〇六
歐七×日一〇五	一四、二六	〇、六	四、九	三、三五	二、一一
歐七×日一〇七	一四、二六	〇、七	五、七	三、三二	二、一一
歐九×日一〇五	一四、四八	〇、四	五、七	三、三二	二、一一
歐七×正 白	一四、五七	一、〇	四、一	三、三九	二、一五
歐九×正 白	一四、三九	〇、三	六、二	三、三九	二、一四

夏 年 三 十			
歐七×日一〇五	一四、八五	〇、五	六、三
歐九×日一〇五	一四、三六	〇、四	八、三
歐七×正 白	一五、〇七	〇、五	五、七
歐九×正 白	一五、〇六	〇、二	八、九

第十二表 生絲織度明細表

品 種 名	平 均 織 度	口					計
		12,5以下	13,0同	13,5同	14,0同	14,5同	
日一〇五×歐七	一四、五六		一		二		二
日一〇五×歐九	一四、五四				二		二
正 白×歐七	一四、八九				二		二
正 白×歐九	一四、九四			一	二		二
日一〇七×歐七	一五、〇八				二		二
日一〇七×歐九	一五、一七			一	二		二

七一

附
錄

日歐一代交雜種本支場共通試驗成績

大正十二年夏期日歐交雜種試驗

一 催青及孵化調查

品 種 名	總 卵 數		平 均 孵 化 卵 數		孵 化 步 合
	總 數	平均	總 數	平均	
日一〇五×歐七	五三九	五三九	五三九	五三九	九八·五二
日一〇五×歐九	五三九	五三九	五三九	五三九	九七·五七
正 白×歐七	五四五	五四五	五四五	五四五	九八·九四
正 白×歐九	五四八	五四八	五四八	五四八	九八·一八
日一〇七×歐七	五五二	五五二	五五二	五五二	九八·〇五
日一〇七×歐九	五四一	五四一	五四一	五四一	九八·五二

二 蠶兒飼育經過表

品 種 名	壹 齡		貳 齡		參 齡		肆 齡		全 齡	
	食桑中絕食中	合計	食桑中絕食中	合計	食桑中絕食中	合計	食桑中絕食中	合計	食桑中絕食中	合計
日一〇五×歐七	三、二〇	四、一五	二、二八	三、一六	三、〇三	三、〇三	一、〇一	四、〇四	五、〇六	二四、〇二
日一〇五×歐九	三、一九	四、二二	二、二四	三、二二	三、〇四	三、〇四	一、〇一	四、〇五	五、〇六	二四、〇二
正 白×歐七	三、一七	四、一八	二、三三	三、二二	三、〇一	三、〇一	一、〇四	四、〇五	五、〇六	二四、〇二
正 白×歐九	三、一八	四、二一	二、三四	三、二三	三、〇七	三、〇七	一、〇五	四、〇六	五、〇七	二四、〇三
日一〇七×歐七	三、一六	四、一七	二、三三	三、二二	三、〇二	三、〇二	一、〇一	四、〇三	五、〇六	二四、〇二
日一〇七×歐九	三、一七	四、一八	二、三四	三、二三	三、〇七	三、〇七	一、〇五	四、〇六	五、〇七	二四、〇三

三 蠶兒飼育中溫濕度

品 種 名	一 齡		二 齡		三 齡		四 齡		全 齡	
	溫度	濕度	溫度	濕度	溫度	濕度	溫度	濕度	溫度	濕度
日一〇五×歐七	七五、五	七五、六	七七、一	七七、八	七八、五	七八、六	七七、七	七八、三	七七、七	七八、一
日一〇五×歐九	七五、五	七五、六	七七、一	七七、八	七八、五	七八、六	七七、七	七八、三	七七、七	七八、一
正 白×歐七	七五、五	七五、六	七七、〇	七七、五	七八、五	七八、五	七七、六	七八、三	七七、七	七八、〇
正 白×歐九	七五、五	七五、六	七七、〇	七七、五	七八、五	七八、五	七七、六	七八、三	七七、七	七八、〇
日一〇七×歐七	七五、五	七五、六	七七、〇	七七、五	七八、五	七八、五	七七、六	七八、三	七七、七	七八、〇
日一〇七×歐九	七五、五	七五、六	七七、〇	七七、五	七八、五	七八、五	七七、六	七八、三	七七、七	七八、〇

四 給桑量調查 (對蠶量三分)

品 種 名	給 桑 量					回 數					
	一齡	二齡	三齡	四齡	全齡	一齡	二齡	三齡	四齡	五齡	全齡
日一〇五×歐七	五五	二二三	四三三	一、六五一	八、五四二	三〇	二〇	二四	二六	三六	一三八
日一〇五×歐九	五五	二二三	四三三	一、六五一	八、五四二	三〇	二〇	二四	二六	三六	一三八
正 白×歐七	五四	二二三	四〇七	一、五七四	八、四三二	三〇	二〇	二四	二六	三七	一三三
正 白×歐九	五四	二二三	四〇七	一、五七四	八、四三二	三〇	二〇	二四	二六	三七	一三三
日一〇七×歐七	五五	二二三	四〇四	一、五七八	八、五三二	三〇	二〇	二四	二六	三七	一三三
日一〇七×歐九	五五	二二三	四〇四	一、五七八	八、五三二	三〇	二〇	二四	二六	三七	一三三

五蠶兒體量調査 (對百頭)

品種名	蠶蠶體量	四眠蠶體量	五齡盛蠶體量
日一〇五×歐七	0.01030	23.6	101.7
日一〇五×歐九	0.01038	25.2	104.6
正白×歐七	0.01096	23.9	107.9
正白×歐九	0.01099	25.4	104.6
日一〇七×歐七	0.01088	23.7	105.8
日一〇七×歐九	0.01092	24.3	105.8

備考

一、蠶蠶體量ハ大正十三年春期支歐一代交雜種試驗ノ場合ト同一ノ方法ニヨリ算出セリ
 一、四眠蠶體量ハ第四齡停食後次回ノ給桑時ニ於テ雌雄混合二十頭ヲ秤量シ百頭體量ニ換算セリ
 一、五齡盛蠶體量ハ本場ニ於テハ雌雄混合二十頭上田並松本支場ニ於テハ雌雄各二十頭宛ヲ秤量シ百頭體量ニ換算セリ

六蠶兒頭數調査

品種名	掃立蠶數	結繭蠶數	減數		歩合		繭中歩	繭合
			數	歩	合	歩		
日一〇五×歐七	1942	1326	616	31.7%	54	40.5%	40.5%	
日一〇五×歐九	1926	1459	467	24.2%	54	6.9%	6.9%	
正白×歐七	1855	1436	419	22.5%	54	3.7%	3.7%	
正白×歐九	1800	1402	398	22.1%	54	3.8%	3.8%	
日一〇七×歐七	1839	1422	417	22.7%	54	4.7%	4.7%	
日一〇七×歐九	1831	1597	234	12.8%	54	7.3%	7.3%	

備考 一、掃立蠶量ハ二分ニシテ調査並算出方法ハ大正十三年春期支歐一代交雜種試驗ノ場合ト同一ナリ

七收繭調査

品種名	普通繭		屑繭		同功繭		合計		對掃立蠶千頭收繭量	普通繭歩	屑繭歩	同功繭合
	重量	顆數	重量	顆數	重量	顆數	重量	顆數				
日一〇五×歐七	5.7	1121	1.9	42	6.4	73	6.0	1194	86.1%	3.1%	10.7%	
日一〇五×歐九	5.8	1295	2.2	54	5.7	74	6.6	1369	88.3%	3.1%	8.6%	
正白×歐七	6.0	1263	1.3	35	4.7	51	6.6	1329	90.6%	2.3%	5.9%	
正白×歐九	6.0	1295	1.5	37	4.7	51	6.6	1346	90.6%	2.3%	7.1%	
日一〇七×歐七	5.7	1240	2.4	52	6.3	64	6.6	1306	87.0%	3.6%	9.4%	
日一〇七×歐九	6.7	1390	3.3	70	6.5	69	7.6	1460	87.4%	4.1%	8.5%	

八繭質調査

品 種 名	系 量	系 長	織 度	生繭一升		重 量	繭 層 量	繭 層 步 合
				重 量	類 數			
日一〇五×歐七	〇、三三	七二〇	二、五六	九〇	二〇〇	四、五九	〇、七〇	一五、二六
日一〇五×歐九	〇、三三	六九一	二、五二	八八	一九九	四、五九	〇、六六	一四、三七
正 白×歐七	〇、三三	七六	二、五八	八七	一九〇	四、五七	〇、七二	一五、七六
正 白×歐九	〇、三三	六八九	二、六三	八四	一七六	四、九二	〇、七五	一五、一九
日一〇七×歐七	〇、三三	六六四	二、七四	八八	一八六	四、七九	〇、七一	一四、八二
日一〇七×歐九	〇、三三	六四三	二、七八	八六	一八〇	四、八七	〇、七四	一五、二二

九繭系成績

品 種 名	乾繭量	對 生 粒 數	生系量	殘繭量	對一時間	緒糸量	對生系十	揚繭量	合 計
日一〇五×歐七	三四、八	二八七	一一、九二	〇、五二	二〇、四三	一、〇八	〇、四四	〇、一七	一、六九
日一〇五×歐九	三五、三	二二七	一一、五六	〇、五四	一七、九七	一、一九	〇、四九	〇、一四	一、八二
正 白×歐七	三六、〇	二二九	一一、三四	〇、四八	一九、三三	一、〇四	〇、五二	〇、〇九	一、六五
正 白×歐九	三五、五	二二四	一一、三三	〇、五四	一八、八七	〇、九二	〇、五八	〇、〇九	一、五九
日一〇七×歐七	三五、五	二二六	一一、六六	〇、五二	一八、五〇	〇、九八	〇、五〇	〇、一七	一、六五
日一〇七×歐九	三五、三	二二二	一一、五五	〇、五二	二〇、二〇	一、〇一	〇、四七	〇、一七	一、六五

一〇生糸検査成績

品 種 名	織 度		類節(對五百)	多 少	平均	力	多 少	平均
	太	細						
日一〇五×歐七	一四、六七	一三、七五	〇、三	一〇八、二	一〇八、五	六〇	五三	五、五
日一〇五×歐九	一五、二五	一四、〇〇	〇、五	一一五、五	一一六、〇	六二	四八	五、五
正 白×歐七	一四、七三	一三、七五	〇、三	九一、七	九一、〇	六一	四七	四、四
正 白×歐九	一五、四二	一四、五〇	〇、三	一〇四、二	一〇四、五	五九	五〇	五、五
日一〇七×歐七	一五、五八	一四、七五	〇、三	一〇三、七	一〇四、〇	六〇	五〇	五、五
日一〇七×歐九	一五、三三	一四、五八	〇、五	一七〇、〇	一七〇、五	五九	五一	五、六

大正十三年春期日歐一代交雜種試驗

一 催青及孵化調查

品 種 名	催青日數	催 青		總 卵 數	平 均 孵 化 卵 數	孵 化 步 合
		平均溫度	平均濕度			
歐七×日一〇五	一四、二	七、三	七、二	五、三	五、三	九七、五
歐九×日一〇五	一四、〇六	七、二	七、二	五、二	五、二	九八、四
歐七×正 白	一四、二	七、二	七、二	五、三	五、三	九七、三
歐九×正 白	一四、〇六	七、二	七、二	五、三	五、三	九八、〇

二 蠶兒飼育經過表

品 種 名	食桑中絕食中		食桑中絕食中		食桑中絕食中		食桑中絕食中		食桑中絕食中		食桑中絕食中	
	齡	齡	齡	齡	齡	齡	齡	齡	齡	齡	齡	
歐七×日一〇五	四、二	一、〇六	四、二	一、〇六	四、二	一、〇六	四、二	一、〇六	四、二	一、〇六	四、二	
歐九×日一〇五	四、二	一、〇六	四、二	一、〇六	四、二	一、〇六	四、二	一、〇六	四、二	一、〇六	四、二	
歐七×正 白	四、二	一、〇六	四、二	一、〇六	四、二	一、〇六	四、二	一、〇六	四、二	一、〇六	四、二	
歐九×正 白	四、二	一、〇六	四、二	一、〇六	四、二	一、〇六	四、二	一、〇六	四、二	一、〇六	四、二	

三 蠶兒飼育中溫濕度

品 種 名	一 齡		二 齡		三 齡		四 齡		五 齡		全 齡	
	溫度	濕度	溫度	濕度	溫度	濕度	溫度	濕度	溫度	濕度	溫度	濕度
歐七×日一〇五	七、三	五、八	七、三	五、八	七、三	五、八	七、三	五、八	七、三	五、八	七、三	五、八
歐九×日一〇五	七、三	五、八	七、三	五、八	七、三	五、八	七、三	五、八	七、三	五、八	七、三	五、八
歐七×正 白	七、三	五、八	七、三	五、八	七、三	五、八	七、三	五、八	七、三	五、八	七、三	五、八
歐九×正 白	七、三	五、八	七、三	五、八	七、三	五、八	七、三	五、八	七、三	五、八	七、三	五、八

四 給桑量調查 (對蟻量三分)

品 種 名	給 桑 量					對 蟻 量	給 桑 回 數				
	一 齡	二 齡	三 齡	四 齡	五 齡		一 齡	二 齡	三 齡	四 齡	五 齡
歐七×日一〇五	一〇五	二二二	六八五	二、三〇〇	一、六〇〇	五、七	三三	二二	二五	二六	三七
歐九×日一〇五	一〇五	二二二	六八五	二、三〇〇	一、六〇〇	五、七	三三	二二	二五	二六	三七
歐七×正 白	一〇四	二二二	七〇一	二、三三三	一、六〇〇	五、八	三三	二二	二五	二六	三七
歐九×正 白	一〇五	二二二	六八九	二、三三五	一、六〇〇	五、八	三三	二二	二五	二六	三七

五 蠶兒 體量 調查 (對百頭)

品 種 名	蟻蠶 體量	四眠 蠶 體量	五 齡		體 量
			盛	均	
歐七×日一〇五	0,015二七	二四八	一三九,一	一三三,六	二六,四
歐九×日一〇五	0,014五二	二六,一	一三五,二	一二七,四	二七,五
歐七×正 白	0,015四六	二五,六	一三六,一	一二八,五	二七,三
歐九×正 白	0,014七三	二五,八	一三八,五	一二七,五	二八,〇

六 蠶 兒 頭 數 調查

品 種 名	掃立 蠶 數	結繭 蠶 數	減 數		繭 中 斃 蠶
			步 合	步 合	
歐七×日一〇五	一九七	一七九	二四八	一三,五	一,二四
歐九×日一〇五	二〇六八	一八九九	一六九	八,二	〇,七〇
歐七×正 白	一九四二	一七六三	一七八	九,二	一,六九
歐九×正 白	二〇三七	一七九九	二三八	一一,七	二,三五

備考 一、掃立蠶量ハ三分ニシテ調査並算出方法ハ大正十三年春期支歌一代交雜種試驗ノ場合ト同一ナリ

七 不 良 蠶 調 查

品 種 名	遲 眠 蠶 計				飼 育 中 病 蠶 計				簇 中 斃 蠶 計		
	一齡	二齡	三齡	四齡	一齡	二齡	三齡	四齡	五齡	斃 蠶	不 斃 蠶
歐七×日一〇五	六頭	六頭	二三頭	二八頭	一頭	〇頭	〇頭	〇頭	一頭	一頭	一頭
歐九×日一〇五	九頭	一一頭	三五頭	二四頭	一頭	〇頭	〇頭	〇頭	二頭	五頭	八頭
歐七×正 白	九頭	九頭	三四頭	二二頭	一頭	二頭	二頭	二頭	五頭	二頭	八頭
歐九×正 白	八頭	一五頭	三九頭	五九頭	一頭	〇頭	〇頭	〇頭	二頭	四頭	三頭

八 收 繭 調 查

品 種 名	普 通 繭		屑 繭		同 功 繭		合 計		對 掃 立 蠶 千 頭 收 繭 量	普 通 繭 步	屑 繭 同 功 繭 合 計
	重 量	顆 數	重 量	顆 數	重 量	顆 數	重 量	顆 數			
歐七×日一〇五	九二〇,三	一五四六	八,六	一六	九四,〇	八四	一,〇二,九	一六四六	五二	八九,八七	〇,八五
歐九×日一〇五	九六八,五	一六六五	九,三	一九	一三六,六	一〇八	一,二四,四	一七九二	五三九	八六,九一	〇,八三
歐七×正 白	九二六,五	一六五七	七,一	一四	四九,六	四六	九七三,二	一七二七	五〇一	九四,一八	〇,七三
歐九×正 白	九九四,九	一六九八	八,七	一七	四六,〇	四二	一,〇四九,六	一七五七	五二五	九四,七九	〇,八三

大正十三年夏期日歐一代交雜種試驗

一 催青及孵化調查

品 種 名	總 卵 數		孵 化 均 數		孵 化 步 合
	總 數	粒	均 數	粒	
國蠶歐七號×全日一〇五號	六六	六六	五九	五九	九五・九四
國蠶歐七號×正 白	五八	五八	五七	五七	九七・四五
國蠶歐九號×全日一〇五號	五二	五二	四九	四九	九七・四九
國蠶歐九號×正 白	五二	五二	四九	四九	九七・四六

二 蠶兒飼育經過表

品 種 名	一 齡		二 齡		三 齡		四 齡		五 齡		全 齡
	食桑中絕食中	合計	食桑中絕食中	合計	食桑中絕食中	合計	食桑中絕食中	合計	食桑中絕食中	合計	
歐七×日一〇五	二、三	三、二	二、〇	三、〇	三、〇	三、一	一、〇	三、二	四、二	五、〇	二、二
歐七×正 白	二、三	三、二	二、〇	三、〇	三、〇	三、一	一、〇	三、二	四、二	五、〇	二、二
歐九×日一〇五	二、三	三、二	二、〇	三、〇	三、〇	三、一	一、〇	三、二	四、二	五、〇	二、二
歐九×正 白	二、三	三、二	二、〇	三、〇	三、〇	三、一	一、〇	三、二	四、二	五、〇	二、二

三、蠶兒飼育中濕濕度

品 種 名	一 齡		二 齡		三 齡		四 齡		五 齡		全 齡
	溫度	濕度	溫度	濕度	溫度	濕度	溫度	濕度	溫度	濕度	
國蠶歐七×全日一〇五	八〇、八	七六、一	七九、三	七七、二	七九、七	七七、五	七九、五	七七、三	八〇、四	八〇、〇	七六、七
國蠶歐七×正 白	八〇、八	七六、一	七九、二	七七、三	七九、七	七七、六	七九、六	七七、三	八〇、三	八〇、一	七六、八
國蠶歐九×全日一〇五	八〇、八	七六、一	七九、二	七七、三	七九、八	七七、六	七九、五	七七、五	八〇、三	八〇、一	七六、九
國蠶歐九×正 白	八〇、八	七六、一	七九、二	七七、三	七九、八	七七、七	七九、六	七七、五	八〇、三	八〇、一	七六、九

四 給桑量調查 (對蟻量三分)

品 種 名	給 桑 量					對蟻量一 給桑量	給 桑 回 數				
	一齡	二齡	三齡	四齡	五齡		一齡	二齡	三齡	四齡	五齡
國蠶歐七×全日一〇五	九五	一九八	六四七	二、一五七	二、〇六六	四四、三四〇	二〇	二二	二六	三六	一三五
國蠶歐七×正 白	九六	二二八	六四三	二、二一五	二、〇八二	四三、六七〇	二二	二三	二六	三六	一三六
國蠶歐九×全日一〇五	九五	二二三	六七六	二、二八二	二、〇四五	四六、二五〇	二二	二三	二六	三六	一三七
國蠶歐九×正 白	九五	二二三	六七五	二、二八二	二、〇七三	四八、〇八〇	二二	二三	二六	三六	一三九

五、蠶兒體量調查

品 種 名	蟻蠶體量	四眠蠶體量	五 齡		盛 蠶 體 量	平 均
			♀	♂		
國蠶歐七號×全日一〇五號	〇、〇一五六一	二五、七	一二三、三	一二六、三	一二四、三	一二四、三
國蠶歐七號×正 白	〇、〇一五五四	二七、四	一二五、七	一二一、一	一二八、四	一二八、四
國蠶歐九號×全日一〇五號	〇、〇一四三三	二七、六	一二四、五	一〇七、五	一二六、〇	一二六、〇
國蠶歐九號×正 白	〇、〇一四一九	二七、三	一二八、一	一〇九、九	一二九、〇	一二九、〇

六、蠶兒頭數調查

品 種 名	掃立蠶數	結繭蠶數	減 步		繭 中 斃 蠶	合 計
			數	步		
國蠶歐七號×全日一〇五號	一九三二	一六三六	二八六	一四、八七	一〇二	六、二六
國蠶歐七號×正 白	一九三一	一六三三	二九八	一五、四四	一四六	八、九二
國蠶歐九號×全日一〇五號	二〇九五	一八一四	二八一	一三、四四	一八	四、七二
國蠶歐九號×正 白	二二二四	一八一七	二九七	一四、〇三	二八	七、〇六

七、不良蠶調查

品 種 名	遲 眠 蠶				飼 育 中 病 蠶				斃 蠶 中 斃 蠶		
	一齡	二齡	三齡	四齡	一齡	二齡	三齡	四齡	五齡	合計	斃蠶不結繭蠶合計
國蠶歐七號×全日一〇五號	七	九	四	七	〇	〇	〇	〇	二	二	一
國蠶歐七號×正 白	一	七	九	五	〇	〇	〇	〇	一	一	一
國蠶歐九號×全日一〇五號	四	一四	八	六	〇	〇	〇	〇	一	一	一
國蠶歐九號×正 白	二	二	二	一〇	〇	〇	〇	〇	二	二	一
合計	一四	三〇	二〇	二七	〇	〇	〇	〇	六	六	四

八、收繭調查

品 種 名	普 通 繭		屑 繭		同 功 繭		合 計		對掃立蠶千頭收繭量	普 通 繭 屑 繭 同 功 繭 合 計
	重量	顆數	重量	顆數	重量	顆數	重量	顆數		
國蠶歐七號×全日一〇五號	七五、七	一四〇二	三三、五	五六	九三、二	九〇	九二、四	一五四七	四七四	八六、二二
國蠶歐七號×正 白	七五、〇	一四九六	三五、二	六三	三八、二	三七	八六、八	一五九六	四五〇	九一、五四
國蠶歐九號×全日一〇五號	八九六、〇	一六〇八	二〇、九	三七	八八、〇	八四	一〇〇四九	一七二九	四八〇	八九、一六
國蠶歐九號×正 白	九五、〇	一六五九	五四、二	九四	三三、三	三三	一〇〇一五	一七八五	四七四	九一、二七
合計	一六〇、七	三三〇一	一〇九、八	一五五	二〇一、二	二〇〇	二〇一〇四	三九一六	一八八八	二〇一、三三

九繭質調査

品 種 名	糸 量	系 長	織 度	生繭一升		生繭十類	
				重 量	類 數	重 量	繭層量
國蠶歐七號×全日一〇五號	〇、二七	七八五	二、七三	九三、八	一七二	五、四二	〇、八四
國蠶歐七號×正 白	〇、二七	八〇二	二、六八	九五、七	一八〇	五、三六	〇、八四
國蠶歐九號×全日一〇五號	〇、二六	七七五	二、七二	八六、三	一六四	五、三五	〇、八二
國蠶歐九號×正 白	〇、二七	七五七	二、八八	八二、六	一六四	五、四一	〇、八七

十線系成績

品 種 名	乾繭量	粒 數	生糸量	殘繭量	對一時間	緒絲量	對生糸十	揚繭量	合 計
國蠶歐七號×全日一〇五號	三四、〇	一八四	二二、二九	〇、三〇	一六、九五	一、一二	〇、五二	〇、〇七	一、七一
國蠶歐七號×正 白	三四、八	一八九	二二、六五	〇、三〇	一八、四七	〇、九九	〇、五六	〇、一三	一、六八
國蠶歐九號×全日一〇五號	三四、一	一八三	二二、〇九	〇、二五	一六、七七	一、二八	〇、四九	〇、二二	一、八九
國蠶歐九號×正 白	三四、六	一八〇	二二、六一	〇、三二	一九、五三	〇、九八	〇、四七	〇、〇四	一、四九

備考 一、煮繭溫度、華氏二〇五度線湯溫度、全一八〇度煮繭時間、三分乃至四分ニシテ小枠ノ回轉數、一

分間三一〇回小枠ノ周圍ハ二尺トス

十一生絲検査成績

品 種 名	織 度		大 類	小 類	計	供用絲		多 少	少 平均	力 對一	多 少	平 均
	太	細				度	度					
國蠶歐七×全日一〇五	一五、六七	一四、〇〇	〇、八	六一、〇	六一、八	一四、一三	五七	四二	四七	三、三三	四七	二、一五
國蠶歐七×正 白	一七、三三	一四、一七	〇、三	四九、七	五〇、〇	一五、〇〇	六〇	四三	五二	三、四四	四八	二、二七
國蠶歐九×全日一〇五	一五、三三	一三、一七	〇、二	七三、三	七三、五	一四、一三	五四	四二	四八	三、三三	四八	二、三二
國蠶歐九×正 白	一七、四二	一四、九二	〇、二	九五、三	九五、五	一六、四四	六三	四三	五五	三、三三	五二	二、二四

夏秋蠶日支交雜種試驗

夏秋蠶日支交雜種試驗

一 緒 言

本場ハ大正十二年度ニ於テ本縣指定夏秋蠶品種タル國蠶日一〇七號×全支四號、青熟×國蠶支四號、正白、國蠶支四號、國蠶日一〇七號×(×支^九支^{一〇}一號)、正白×新白ノ五品種ニ就テ試驗スルト共ニ國蠶日一〇七號×(×支^四支^{一〇}一號)、正白×國蠶支一〇一號ノ二品種ニ就キ試驗ヲ行ヒ其ノ成績ヲ大正十三年二月開催ノ本縣蠶品種審査會ニ提出セリ然ルニ全會ハ審査ノ上國蠶日一〇七號×全支四號、青熟×國蠶支四號ノ二品種ヲ指定蠶品種中ヨリ削除スルコトヲ議決スルト共ニ正白×(×國蠶支^九支^{一〇}一號)、正白×國蠶支一〇一號ノ兩種ニ關スル比較試驗ヲ希望セラレタリ。本場ハ右審査會ノ希望ニ基キ大正十三年度ニ於テ前記二品種ノ試驗ヲ行フト共ニ國蠶日一〇七號×全支四號種ノ比較試驗ヲ反覆施行セリ。

蓋シ國蠶日一〇七號ニ關スル試驗ヲ反覆セル理由ハ大正十二年度試驗ニ於テ全種ノ交雜種ハ正白種ノ交雜種ニ比シ減蠶歩合並ニ同功繭歩合多ク且ツ生絲ニ類節ノ多カリシハ全種ノ特性ナルカ或ハ全年ノ如ク氣象狀態不良ニシテ違蠶者ノ多キ場合ニハ特ニ著シキモノナルカ否ヤヲ調査探究シ以テ夏秋蠶指定蠶品種タル國蠶日一〇七號×(×支^九支^{一〇}一號)種ノ特性調査ヲ正確ナラシメムトスルニ在リ、以下試驗ノ方法ト其ノ成績トヲ記述スベシ。

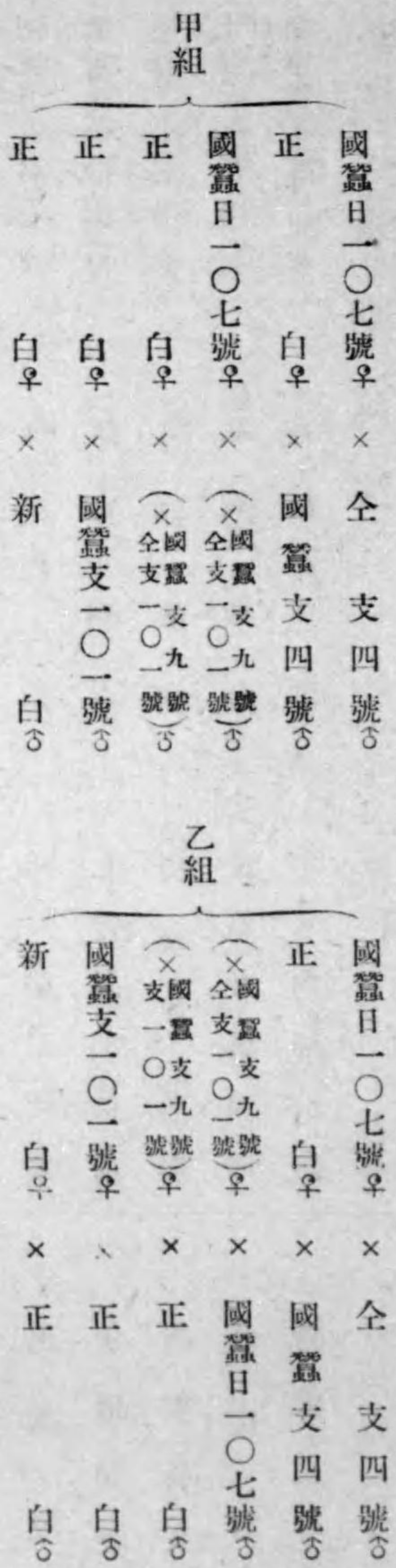
二 試驗ノ方法

本試験ハ大正十三年ノ夏期及秋期ニ於テ二回之ヲ施行セリ、而シテ試験方法ハ支歐一代雜種試験ト全一方法ニ依リ蠶業試験場試験ト依託試験トノ二種ニ大別シ、蠶業試験場試験ハ本場並ニ上田、松本、飯田ノ三支場ニ於テ之ヲ施行シ、依託試験ハ本縣蠶品種審査委員タル蠶種製造者及ビ養蠶者ト蠶業取締所支所長並ニ郡市長ノ推薦ニ係ル蠶種製造者ト養蠶者トニ依託セリ。

本試験ニ供用セル蠶種ハ大正十三年本場ニ於テ全一要件ノ下ニ飼育採種シタル生種ニシテ日支二化雜種ハ日母体ノ生種ヲ使用シ日支三元雜種並ニ日支二化二化雜種ハ日母体及、支母体ノ生種ヲ使用セリ、今其ノ原種ノ系統ヲ記セバ次ノ如シ。

- 一、國蠶日一〇七號、大正十一年國立蠶業試験場松本支場ヨリ配付ヲ受ケ縣立松本支場ニ於テ複製シタルモノナリ。
 - 一、正白。縣立松本支場ノ育成セルモノニシテ全場ニテ複製シタルモノナリ。
 - 一、國蠶支九號×全支一〇一號。國蠶支九號ハ大正九年全支一〇一號ハ全十二年國立蠶業試験場松本支場ヨリ配付ヲ受ケ上田支場ニ於テ複製シタル原種ニシテ大正十二年上田支場ニ於テ製造シタルモノナリ。
 - 一、國蠶支一〇一號。大正十二年國立蠶業試験場松本支場ヨリ配付ヲ受ケ縣立松本支場ニ複製シタルモノナリ。
 - 一、新白。小縣郡別所村倉澤運平氏育成ノモノニシテ大正十一年以來本場ニ於テ複製シタルモノナリ。
- 夏期試験ハ本場並ニ上田、松本、ノ兩支場以外ニ養蠶者十名ニ依託シ秋期試験ハ本場並ニ上田、松本、飯田、ノ

各支場以外ニ蠶種製造者並ニ養蠶者各八名ニ依託セリ、而シテ蠶業試験場ニ於テハ各品種共ニ蠶量三分宛ヲ支當業者ニハ一品種ニ付五蛾分乃至六蛾分ヲ掃立飼育セシメタリ。今供試ノ蠶品種名ヲ記セバ次ノ如シ。



蠶業試験場ニ於テハ甲組及ビ乙組ノ蠶兒ヲ飼育シ當業者ニハ依託者數ヲ二分シテ甲組及ビ乙組ノ蠶兒ヲ飼育セシメタリ。而シテ依託試験ノ調査ハ支歐一代雜種試験ト同一ノ方法ニ依リタリ。今依託者ト調査委員トヲ記セバ次ノ如シ

夏期試験
依託者

調査委員

郡 村

氏 名

官 衙

氏 名

九八

北佐久郡南大井村	拍木 延一	北佐久郡役所	山川 仙次
小縣郡依田村	田村 喜一郎	小縣郡役所	倉澤 美徳
諏訪郡米澤村	樋口 權之助	諏訪郡役所	有賀 政清
上伊那郡南箕輪村	堀 善左衛門	上伊那郡役所	安川 嘉三
東筑摩郡上川手村	宮 下 道直	東筑摩郡役所	須田 哲之郎
南安曇郡高家村	丸山 謹一郎	南安曇郡役所	黒澤 俊一
北安曇郡松川村	砂原 利市	北安曇郡役所	加地 鏞次郎
更級郡信田村	日詰 義堯	更級郡役所	雜賀 喜久三
上高井郡川田村	北島 政雄	上高井郡役所	荻原 駒人
上水内郡安茂里村	宮島 謙一郎	上水内郡役所	鈴木 三之介

秋 期 試 験

依 託 者

調 査 委 員

郡 村

氏 名

官 衙

氏 名

南佐久郡櫻井村	白田 万之助	蠶業取締所岩村田支所	原田 源太郎
---------	--------	------------	--------

小縣郡別所村	倉澤 運平	全	上田支所	棚澤 精一
諏訪郡玉川村	丸茂 源次郎	全	上諏訪支所	林 定雄
上伊那郡宮田村	中原 珍吉	全	伊那支所	森 梅吉
東筑摩郡本郷村	二 木 洵	全	松本支所	唐澤 正平
南安曇郡南穂高村	篠崎 四郎	全	豊科支所	安達 久作
埴科郡杭瀬下村	米澤 秀作	全	長野支所	矢島 清一
上高井郡綿内村	宮澤 貞助	全	須坂支所	齊藤 政之助
小縣郡丸子町	齊藤 清次郎	小縣郡役所	倉澤 美徳	
諏訪郡下諏訪町	久保田 八百吉	諏訪郡役所	有賀 政清	
下伊那郡山吹村	城子 和多治	下伊那郡役所	酒井 末吉	
東筑摩郡壽村	瀬黒 幸市	東筑摩郡役所	須田 哲之郎	
西筑摩郡山口村	宮下 菊次郎	西筑摩郡役所	大槻 貞雄	
下高井郡平野村	山田 莊左衛門	下高井郡役所	青木 賢一郎	
上水内郡朝陽村	丸山 久大郎	上水内郡役所	鈴木 三之介	
下水内郡太田村	水野 三右左門	下水内郡役所	北澤 武	

九九

三 依託試験ノ方法ト調査事項

依託試験者ニ對スル注意事項ト調査委員ニ依囑セル調査事項ハ春蠶支歐一代雜種試験ト同一ナリ。

四 飼育成績

本試験ニ於ケル一品種ノ飼育口數ハ夏期ニ在リテハ蠶業試験場試験四口、依託試験十口ニシテ秋期ニ在リテハ蠶業試験場試験八口、依託試験十六口、總計三十八口ナリ、然ルニ依託試験ニ於テ調査不備ノモノ、結繭蠶頭數ノ掃立蠶頭數ヨリ多キモノ等アリシヲ以テ之ヲ除キ本書ニハ夏期試験ニ於テ十三口、秋期試験ニ於テ二十三口、合計三十六口ノ調査成績ヲ記載セリ。

(イ) 掃立時期

夏期試験ニ供用セル蠶種ハ大正十三年七月一日ヨリ三日間ニ亘リ採種シタルモノニシテ産卵後四日目ニ之ヲ試験者ニ配付セリ、而シテ其ノ掃立時期ハ試験者ノ任意トシ特ニ孵化ヲ遅引セシムル場合ニハ試験品種ノ全部ヲ同一ノ取扱ヲナサシムル様注意セリ、今國蠶日一〇七×全支四號ニ就キ其ノ掃立ノ概要ヲ示セバ次ノ如シ。

掃立月日	口數	掃立月日	口數
七月十日	一	七月十一日	九
七月十二日	三		

秋蠶試験供用ノ蠶種ハ大正十三年七月三十日ヨリ三日間ニ亘リ採種シタルモノニシテ夏期試験ト同様ノ方法ニ依リ其ノ掃立時期ハ試験者ニ一任セリ、故ニ其ノ時期ハ八月九日ヨリ全二十二日ニ至ル十五日間ニ亘レリ、今國蠶日一〇七號×全支四號ニ就キ其ノ一例ヲ示セバ次ノ如シ。

掃立月日	口數	掃立月日	口數
八月九日	一	八月十三日	一
八月十日	八	八月十七日	二
八月十一日	八	八月十八日	一
八月十二日	一	八月二十二日	一

(ロ) 飼育日數

蠶兒飼育中ノ溫濕度ヲ調査セザリシヲ以テ其ノ飼育日數ハ正確ナラザルモ本試験ノ成績ニ依レバ夏秋兩期共ニ正白×國蠶支四號ハ其ノ飼育日數最モ長ク國蠶日一〇七號×全支四號、正白×新白、正白×(支九號)、正白×國蠶支一〇一號ハ順次之ニ次ギ國蠶日一〇七號×(支九號)、(支一〇一號)、ハ最モ短カシ然レドモ飼育日數最モ長キ正白×國蠶支四號トノ差ハ僅カニ十時間乃至十六時間ナリ。

(ハ) 蟲質ノ強弱

減蠶歩合、大正十三年ハ前年ニ比シ夏秋期ノ氣候蠶兒ノ發育ニ好適セルヲ以テ其ノ減蠶歩合ハ前年度ニ比シ著シ

ク少ナキ成績ヲ示シタリ、然レドモ減蠶歩合ハ前年度ノ試験ト全一傾向ヲ示シ日支二化一化雜種ハ最モ多ク、日支三元雜種ハ之ニ次ギ日支二化二化雜種ハ最モ少ナク、又日支二化一化雜種ニ於テ正白×國蠶支四號ハ國蠶日一〇七號、全支四號ニ比シ少ナキ成績ヲ示シ、日支二化二化雜種ニ在リテハ正白×國蠶支一〇一號ト正白、新白トハ殆ンド同一ノ減蠶歩合ヲ示シタリ、而シテ日支三元雜種ニ在リテハ正白ノ交雜種ハ國蠶日一〇七號ノ交雜種ニ比シ一、八！乃至四、〇%減蠶歩合少シ。

減蠶歩合表

品	種	名	夏	秋	期
國蠶日一〇七號	×	全支四號	二〇、六%	三三、一%	期
正	白	×	一四、六	二三、九	期
國蠶日一〇七號	×	(×支一〇九號)	一一、五	一八、六	期
正	白	(×支一〇九號)	九、七	一四、六	期
正	白	×	八、五	一三、六	期
正	白	×	一〇、〇	一三、四	期

繭中蠶蠶歩合、減蠶歩合ト大体正比例セリ即チ國蠶日一〇七號×全支四號ハ最モ多ク、國蠶日一〇七號×(×支一〇九號)、正白×國蠶支四號、正白×(×支一〇九號)ハ順次之ニ次ギテ少ナク、正白×國蠶支一〇一號ト新白×正白トハ殆ンド同一ニシテ最モ少ナシ。

繭中蠶蠶歩合表

品	種	名	夏	秋	期
國蠶日一〇七號	×	全支四號	四、九七	六、九〇	期
正	白	×	三、七五	四、六四	期
國蠶日一〇七號	×	(×支一〇九號)	三、七六	五、五五	期
正	白	(×支一〇九號)	三、三一	四、九一	期
正	白	×	一、八七	三、七三	期
正	白	×	二、四七	二、五四	期

以上ノ減蠶歩合並ニ繭中蠶蠶歩合ニ依リテ蟲質ノ強弱ヲ推定スレバ國蠶日一〇七號×全支四號ハ蟲質最モ虛弱ニシテ正白×國蠶支四號、國蠶日一〇七號×(×全支一〇九號)、正白×(×全支一〇九號)ハ順ヲ遂フテ強ク正白×國蠶支一〇一號、正白×新白ノ兩種ハ殆ンド同一ニシテ最モ強健ナルガ如シ。以上ノ詳細ヲ表示スレバ次ノ如シ。

第一表 夏 期

品	種	名	飼育日數	減蠶步合	繭中斃蠶步合	對掃立頭步合
(甲)	日一〇七	×支四	二二、二〇 ^日	一九、一 [%]	四、四六 [%]	七七、三
(乙)	日一〇七	×支四	二一、一七	二二、二	五、五六	七三、五
平		均	二一、一九	二〇、六	四、九七	七五、五
(甲)	正	白×支四	二二、〇二	一四、八	二、五二	八三、〇
(乙)	正	白×支四	二一、一六	一四、三	五、〇九	八一、四
平		均	二一、二二	一四、六	三、七五	八二、二
(甲)	日一〇七×(支九×支一〇二)		二一、〇三	一〇、五	三、六八	八六、二
(乙)	(支九×支一〇二)×日一〇七		二一、〇九	一二、八	三、八七	八三、八
平		均	二一、〇六	一一、五	三、七六	八五、一
(甲)	正	白×(支九×支一〇二)	二一、〇八	七、三	二、七三	九〇、一
(乙)	(支九×支一〇二)×正	白	二一、一一	一二、四	四、〇二	八四、一
平		均	二一、〇九	九、七	三、三一	八七、三
(甲)	正	白×支一〇一	二一、〇八	七、四	一、四〇	九一、四

備考 甲組ノ飼育日數ハ七口ニシテ乙組ハ六口ナリ以下之ニ同シ。

秋 期

(乙)	支一〇一	×正白	二一、一三	一〇、二	二、五六	八七、五
平		均	二一、一〇	八、五	一、八七	八九、八
(甲)	正	白×新白	二一、〇八	八、六	一、二八	九〇、二
(乙)	新	白×正白	二一、一四	一一、七	四、〇三	八四、八
平		均	二一、一一	一〇、〇	二、四七	八七、八

品	種	名	飼育日數	減蠶步合	繭中斃蠶步合	對掃立頭步合
(甲)	日一〇七	×支四	二四、一五 ^日	二九、六 [%]	五、七〇 [%]	六六、三 [%]
(乙)	日一〇七	×支四	二三、二三	三四、三	八、〇九	六〇、四
平		均	二四、〇七	三二、一	六、九〇	六三、三
(甲)	正	白×支四	二四、一八	二一、七	三、四〇	七五、六
(乙)	正	白×支四	二四、〇三	二五、九	五、八四	六九、七

(=) 收 穫 量
 掃立蠶千頭ニ對スル(=) 收 穫 量ハ飼育時期ニ依リ多少差異アレドモ大体ニ於テ一定ノ傾向ヲ示セリ、而シテ夏秋兩期ノ成績ヲ綜合スレバ收 穫 量ノ最モ多キハ正白×國蠶支一〇一號ニシテ正白×(國蠶支九一號)、正白×新白、國蠶日一〇七號×(國蠶支九一號)、正白×國蠶支四號ハ僅少ノ差ヲ以テ之ニ次ギ國蠶日一〇七號×全支四號ハ最モ少ナシ。

對掃立蠶千頭收 穫 量表

品 種 名	夏 期	秋 期
日一〇七×支四	三七一	二九二
正白×支四	三八〇	三一七
日一〇七×(支支一〇九)	三八二	三三〇
正白×(支支一〇九)	三八一	三四七
正白×支一〇一	四〇五	三六一
正白×新白	三七〇	三四七

收 穫 量ニ對スル七繭歩合ハ飼育時期ニ依リテ多少差異アレドモ其ノ傾向ハ略一定セリ、即チ正白×國蠶支四號ハ上繭歩合最モ多ク、正白×(國蠶支九一號)、正白×新白、正白×國蠶支一〇一號、國蠶日一〇七號×全支四號ハ之ニ次ギ國蠶日一〇七號×(國蠶支九一號)ハ最モ少ナシ。

上繭歩合表

品 種 名	夏 期	秋 期
日一〇七×支四	八四、七	八二、〇
正白×支四	八七、五	八七、〇
日一〇七×(支支一〇九)	七九、六	八一、一
正白×(支支一〇九)	八七、一	八五、九
正白×支一〇一	八四、七	八二、三
正白×新白	八四、五	八五、〇

同功繭歩合表

品 種 名	夏 期	秋 期
日一〇七×支四	一二、八	一二、四
正白×支四	一〇、〇	八、八

同功繭歩合ハ正白×國蠶支四號最モ少ナク正白×(國蠶支九一號)、國蠶日一〇七號×全支四號、正白×新白、正白×國蠶支一〇一號ハ之ニ次ギ國蠶日一〇七號×(國蠶支九一號)ハ最モ多シ。

日	一〇七	×	(×支)	一〇	一九	一六、四	一四、八
正	白	×	(×支)	一〇	一九	一〇、六	一〇、九
正	白	×	支	一〇	一	一三、六	一四、二
正	白	×	新	一〇	一	一三、一	一二、〇

以上ノ成績ニ依リ掃立蠶千頭ニ對スル上繭量ヲ算出シテ比較スルニ正白×國蠶支一〇一號ハ最モ多ク、正白×
 (×國蠶支九號)、正白×國蠶支四號、正白×新白、國蠶日一〇七號×(×國蠶支九號)ハ順次之ニ次ギ國蠶日一〇
 七號×全支四號ハ最モ少シ。

對掃立蠶千頭上繭量表

品	種	名	夏	秋	期
日	一〇七	×支	四	三	二
正	白	×支	四	三	二
日	一〇七	×支	四	三	二
正	白	×支	四	三	二
正	白	×支	四	三	二
正	白	×支	四	三	二

正 白 × 新 白 三三三 二九四

以上ノ詳細ヲ表示スレバ次ノ如シ。
 第三表 夏 期

品	種	名	掃立千頭	對總繭收量	歩合	功		
(甲)	日	一〇七	×支	四	三八〇	八三、七	二、七	一三、六
(乙)	日	一〇七	×支	四	三六一	八五、七	二、三	一二、〇
平			均		三七一	八四、七	二、五	一二、八
(甲)	正	白	×支	四	三八一	八五、五	二、六	一一、九
(乙)	正	白	×支	四	三七九	八九、六	二、四	八、〇
平			均		三八〇	八七、五	二、五	一〇、〇
(甲)	日	一〇七	×支	一〇一	三九二	七七、〇	五、一	一七、九
(乙)	支	九	×支	一〇一	三七一	八二、八	二、七	一四、五
平			均		三八二	七九、六	四、〇	一六、四
(甲)	正	白	×支	一〇一	三八九	八六、二	二、一	一一、七

(乙)正	白×支	均	四	三一	八六、五	四、三	九、二
平				三一七	八七、〇	四、二	八、八
(甲)日一〇七×(支九×支一〇一)			四	三四五	八三、〇	三、四	一三、六
(乙)(支九×支一〇一)×日一〇七		均		三一六	七九、三	四、六	一六、一
平				三三〇	八一、一	四、一	一四、八
(甲)正	白×(支九×支一〇一)			三五二	八四、五	三、八	一一、七
(乙)(支九×支一〇一)×正		均	白	三四一	八七、三	二、六	一〇、一
平				三四七	八五、九	三、二	一〇、九
(甲)正	白×支一〇一		一	三六〇	八二、九	三、五	一三、六
(乙)支一〇一×正		均	白	三六二	八一、八	三、四	一四、八
平				三六一	八二、三	三、五	一四、二
(甲)正	白×新		白	三五〇	八五、五	二、九	一一、六
(〇)新	白×正		白	三四二	八四、五	三、〇	一二、五
平		均	白	三四六	八五、〇	三、〇	一二、〇

(乙)(支九×支一〇一)×正		均	白	三七二	八八、二	二、五	九、三
平				三八一	八七、一	二、三	一〇、六
(甲)正	白×支一〇一		一	四〇九	八三、三	一、六	一五、一
(乙)支一〇一×正		均	白	三九九	八六、七	一、九	一一、四
平				四〇五	八四、七	一、七	一三、六
(甲)正	白×新		白	三七二	八三、八	二、三	一三、九
(乙)新	白×正		白	三六八	八五、六	二、五	一一、九
平		均	白	三七〇	八四、五	二、四	一三、一

秋 期

(甲)日一〇七×支		均	四	三〇四	八二、五	五、八	一一、七
(乙)日一〇七×支		均	四	二八一	八一、四	五、四	一三、二
平				二九二	八二、〇	五、六	一二、四
(甲)正	白×支		四	三二三	八七、四	四、一	八、五

第四表 同功繭歩合明細表

品種名	平均歩合	%														
		2.0以下	4.0全	6.0全	8.0全	10.0全	12.0全	14.0全	16.0全	18.0全	20.0全	22.0全	24.0全	26.0全	28.0全	計
日一〇七×支	二三八															一三〇
正 白×支	一〇〇															一三〇
夏 日一〇七×(支九×支二〇)	一六四															一三〇
期 正 白×(支九×支二〇)	一〇六															一三〇
正 白×支一〇	一三六															一三〇
正 白×新	一三一															一三〇
日一〇七×支	一三四															一三〇
正 白×支	八八															一三〇
秋 日一〇七×(支九×支二〇)	一四八															一三〇
期 正 白×(支九×支二〇)	一〇九															一三〇
正 白×支一〇	一四二															一三〇
正 白×新	一三〇															一三〇

五 繭質調査成績

繭質調査ハ各品種共ニ試験口數三十六口ニ就テ之ヲ行ヒタリ、今其ノ成績ノ概要ヲ摘記スレバ次ノ如シ。

(イ) 繭形

飼育時期ニヨリ差異アリ一般ニ夏期ハ大ニシテ秋期ハ小ナリ、然レドモ品種關係ニ依ル繭形ノ大小ハ大体一致シ
日支二化一化雜種ハ最モ大ニシテ日支二化二化雜種ハ之ニ次ギ日支三元雜種ハ最モ小ナリ。

(ロ) 繭重

國蠶日一〇七號×全支四號、正白×國蠶支四號、正白×國蠶支一〇一號ハ繭重重ク他ノ三品種ハ輕シ就中正白×
新白ハ夏秋兩期ヲ通ジテ最モ輕シ。

生繭十顆ノ重量表

品種名	夏 期	秋 期
日一〇七×支	四、五七	四、一八
正 白×支	四、三八	四、二八

正	正	正	日
白	白	白	一〇七
×	×	×	×
新	支	(×支)	(×支)
一	一	一	一
〇	〇	〇	〇
一	一	一	一
白	白	白	白
四、一七	四、三八	四、二五	四、三五
三、九九	四、二〇	四、一五	四、一四

(ハ) 繭層量歩合

正白×國蠶支一〇一號、正白×國蠶支四號、正白×新白ハ繭層量歩合多ク他ノ三品種ハ少ナシ、特ニ國蠶日一〇七號×(×國蠶支九號)ハ常ニ少ナキ成績ヲ示シタリ。

繭層量歩合表

正	日	正	日
白	一〇七	白	一〇七
×	×	×	×
(×支)	(×支)	支	支
一	一	一	一
〇	〇	四	四
一	一	四	四
一九	一九	四	四
一四、四五	一四、一二	一四、八六	一四、三九
一四、〇〇	一三、四五	一四、一六	一三、六八

正	正
白	白
×	×
新	支
一	一
〇	〇
一	一
白	白
一四、五三	一四、九二
一四、二二	一四、一六

(ニ) 絲量

正白×國蠶支四號、正白×國蠶支一〇一號、國蠶日一〇七號×全支四號ノ三種ハ多ク他ノ三品種ハ少ナシ。

繭一類絲量表

正	正	正	日	正	日
白	白	白	七	白	七
×	×	×	×	×	×
新	支	(×支)	(×支)	支	支
一	一	一	一	一	一
〇	〇	〇	〇	〇	〇
一	一	一	一	一	一
白	白	白	白	白	白
〇、一九	〇、二一	〇、一九	〇、一九	〇、二一	〇、二一
〇、一九	〇、一九	〇、一九	〇、一八	〇、二〇	〇、一九

(ホ) 絲長

正白×國蠶支一〇一號ハ最モ長ク他ノ五品種ハ畧ホ同一ナリ。

繭一類ノ絲長表

品	種	名	夏	秋	期
日	一〇七	支	六三〇	六二一	期
正	白	支	六三〇	六四六	期
日	一〇七	支	六二八	六一七	期
正	白	支	六二八	六一七	期
正	白	支	六三二	六三四	期
正	白	支	六六七	六四七	期
正	白	支	六六七	六二一	期
正	白	支	六一七	六二一	期

繭織度ノ最モ太キハ正白×國蠶支四號、國蠶日一〇七號×全支四號ノ兩種ニシテ他ノ四品種ハ殆ンド同一ナリ。

(織度)

繭一類ノ織度表

品	種	名	夏	秋	期
日	一〇七	支	二、七三	二、四八	期
正	白	支	二、七三	二、四八	期
正	白	支	二、七一	二、五三	期

以上ノ詳細ヲ表示スレバ次ノ如シ。

第五表 夏期

品	種	名	重量	對生繭	繭層量	繭層歩合	絲量	絲長	平均
(甲)日	一〇七	支	七三、三	四、五一	〇、六五	一四、五〇	〇、二二	六二八	二、六五
(乙)日	一〇七	支	七四、五	四、六三	〇、六六	一四、二六	〇、二二	六三三	二、八二
平	均		七三、八	四、五七	〇、六六	一四、三九	〇、二二	六三〇	二、七三
(甲)正	白	支	七〇、七	四、三七	〇、六四	一四、七三	〇、二二	六二九	二、七〇
(乙)正	白	支	七一、七	四、四〇	〇、六六	一五、〇一	〇、二二	六三一	二、七二
平	均		七一、二	四、三八	〇、六五	一四、八六	〇、二二	六三〇	二、七一

品名	對生		對生		絲量	絲長	平均
	重	量	重	量			
(甲)日一〇七×(支九×支一〇二)	七三、三	一七二	四、三四	〇、六一一四、〇〇	〇、一九	六二二	二、四五
(乙)(支九×支一〇二)×日一〇七	七五、三	一八〇	四、三六	〇、六二二四、二五	〇、一九	六三五	二、四五
平	七四、二	一七五	四、三五	〇、六一一四、一二	〇、一九	六二八	二、四五
(甲)正 白×(支九×支一〇二)	七三、六	一七七	四、二一	〇、六一一四、四一	〇、一九	六三八	二、三八
(乙)(支九×支一〇二)×正 白	七六、〇	一八四	四、二九	〇、六二二四、五〇	〇、二〇	六二五	二、五一
平	七四、七	一八〇	四、二五	〇、六一一四、四五	〇、一九	六三二	二、四四
(甲)正 白×支一〇一	七一、一	一六四	四、三五	〇、六四一四、七五	〇、二〇	六五六	二、四五
(乙)支一〇一×正 白	七二、二	一六五	四、四一	〇、六七一五、一二	〇、二一	六八一	二、四七
平	七一、六	一六四	四、三八	〇、六五一四、九二	〇、二一	六六七	二、四六
(甲)正 白×新 白	七二、六	一七三	四、〇二	〇、五九一四、五九	〇、一九	六〇七	二、四五
(乙)新 白×正 白	七三、三	一七二	四、三三	〇、六三一四、四六	〇、二〇	六二八	二、五二
平	七二、九	一七二	四、一七	〇、六一一四、五三	〇、一九	六二七	二、四八

秋 期

品名	對生		對生		絲量	絲長	平均
	重	量	重	量			
(甲)日一〇七×支四	七六、九	一八六	四、一七	〇、五六一三、五三	〇、二〇	六二二	二、五七
(乙)日一〇七×支四	七七、五	一八六	四、二〇	〇、五八一三、八二	〇、一九	六二一	二、四三
平	七七、二	一八六	四、一八	〇、五七一三、六八	〇、一九	六二一	二、四八
(甲)正 白×支四	七三、二	一七九	四、二一	〇、六〇一四、一八	〇、二一	六四七	二、五五
(乙)正 白×支四	七五、三	一八〇	四、三五	〇、六二一四、一四	〇、二〇	六四五	二、五二
平	七四、三	一八〇	四、二八	〇、六一一四、一六	〇、二〇	六四六	二、五三
(甲)日一〇七×(支九×支一〇二)	七七、六	一八七	四、一七	〇、五五一一、三一	〇、一九	六二四	二、四二
(乙)(支九×支一〇二)×日一〇七	七八、二	一九八	四、一一	〇、五六一三、五八	〇、一八	六一一	二、三六
平	七八、〇	一九三	四、一四	〇、五六一三、四五	〇、一八	六一七	二、三九
(甲)正 白×(支九×支一〇二)	七四、六	一八四	四、一八	〇、五八一三、九三	〇、二〇	六三九	二、四六
(乙)(支九×支一〇二)×正 白	七八、八	一九五	四、一二	〇、五八一四、〇五	〇、一九	六三〇	二、四〇
平	七六、八	一九〇	四、一五	〇、五八一四、〇〇	〇、一九	六三四	二、四二
(甲)正 白×支一〇一	七二、四	一七八	四、一二	〇、五九一四、二一	〇、一九	六五三	二、三七
(乙)支一〇一×正 白	七六、一	一八一	四、二七	〇、六〇一四、一二	〇、一九	六四二	二、四一
平	七四、三	一七九	四、二〇	〇、五九一四、一六	〇、一九	六四七	二、三九

平	(乙)新 白	(甲)正 白	均	正 白	新 白
七三、五	七六、三	七〇、五	一八五	一八八	一八二
三、九九	四、〇八	三、八九	〇、五七	〇、五八	〇、五六
一四、二二	一四、一五	一四、二九	〇、一九	〇、一九	〇、一九
六二、一	六二、一	六二、二	二、三九	二、四一	二、三八

第六表 繭重量明細表

品 種 名	平均重量		繭重量	
	全	以下	全	以下
日一〇七×支四	四、五七	四、五七	—	—
正白×支四	四、三八	四、三八	—	—
日一〇七×支四	四、一八	四、一八	—	—
正白×支四	四、三八	四、三八	—	—
正白×支一〇一	四、三六	四、三六	—	—
正白×(支九×支一〇一)	四、三五	四、三五	—	—
日一〇七×(支九×支一〇一)	四、三五	四、三五	—	—
正白×(支九×支一〇一)	四、三五	四、三五	—	—
正白×支一〇一	四、三五	四、三五	—	—
正白×(支九×支一〇一)	四、三五	四、三五	—	—
日一〇七×(支九×支一〇一)	四、三四	四、三四	—	—
正白×(支九×支一〇一)	四、三四	四、三四	—	—
正白×支一〇一	三、九〇	三、九〇	—	—
正白×新白	三、九〇	三、九〇	—	—
正白×(支九×支一〇一)	四、一五	四、一五	—	—
計	—	—	—	—

第七表 繭織度明細表

品 種 名	平均織度		繭織度	
	全	以下	全	以下
日一〇七×支四	二、七三	二、七三	—	—
正白×支四	二、七二	二、七二	—	—
日一〇七×支四	二、四八	二、四八	—	—
正白×支四	二、四八	二、四八	—	—
正白×支一〇一	二、四六	二、四六	—	—
正白×(支九×支一〇一)	二、四四	二、四四	—	—
日一〇七×(支九×支一〇一)	二、四五	二、四五	—	—
正白×(支九×支一〇一)	二、四五	二、四五	—	—
正白×支一〇一	二、三〇	二、三〇	—	—
正白×(支九×支一〇一)	二、三〇	二、三〇	—	—
正白×(支九×支一〇一)	四、一五	四、一五	—	—
正白×新白	三、九〇	三、九〇	—	—
正白×(支九×支一〇一)	四、一五	四、一五	—	—
計	—	—	—	—

對一時間繰絲量表

品種名	夏期	秋期
日一〇七×支四	一七、三八	一七、四四
正白×支四	一六、八六	一九、〇八
日一〇七×(支九×支二〇)	一五、六八	一六、六六
正白×(支九×支二〇)	一六、一八	一七、八一
正白×支一〇一	一四、八九	一六、五二
正白×新白	一六、六一	一六、七五

(二) 對一時間ノ繰絲長
 春蠶支歐一代雜種試驗ト同様ノ方法ニ依リ對一時間ノ繰絲長ヲ算出シテ比較スルニ飼育時期ニ依リ大差アレ共其ノ綜合的成績ニ依レバ正白×國蠶支四號ハ對一時間ノ繰絲長最モ多ク正白×新白、正白×(國蠶支九號)×(國蠶支一〇一號)×(國蠶支一〇七號)×全支四號ノ三種ハ殆ンド全一ニシテ之ニ次ギ正白×國蠶支一〇一號及國蠶日一〇七號×(國蠶支九號)×(國蠶支一〇一號)ハ最モ少ナキガ如シ。

對一時間ノ繰絲長表

品種名	夏期	秋期
日一〇七×支四	三四、二五八	三五、六一〇
正白×支四	三四、一三〇	三七、五〇〇
日一〇七×(支九×支二〇)	三三、五七六	三四、一七四
正白×(支九×支二〇)	三三、六三八	三六、七二二
正白×支一〇一	三二、三四六	三五、八五五
正白×新白	三六、三七二	三四、九八七

生絲十匁ニ對スル^(ホ)屑物量
 國蠶日一〇七號×全支四號、正白×(國蠶支九號)×(國蠶支一〇一號)ハ最モ多ク、正白×新白、生絲十匁ニ對スル屑物量表

品種名	夏期	秋期
日一〇七×支四	一、七二	一、九〇
正白×支四	一、六五	一、六四

日	一〇七	×	(×支支)	一〇九	二、〇四	一、九八
正	白	×	(×支支)	一〇九	一、七六	一、八二
正	白	×	支	一〇〇	二、〇四	二、〇八
正	白	×	新	白	一、八八	一、九一

以上ノ詳細ヲ表示スレバ次ノ如シ。
第八表 夏期

品	種	名	生繭量	對一時間	緒	對生絲	十匁	揚繭物	計		
(甲)	日	一〇七	×	支	四	一一、二六	一七、四八	〇、八九	〇、四九	〇、一八	一一、五六
(乙)	日	一〇七	×	支	四	一一、八二	一七、二九	一、〇六	〇、五六	〇、二三	一一、八五
平		均				一一、九七	一七、三八	〇、九八	〇、五三	〇、二一	一一、七二
(甲)	正	白	×	支	四	一一、一五	一六、五三	〇、九八	〇、五三	〇、一七	一一、六八
(乙)	正	白	×	支	四	一一、〇三	一七、一五	〇、九七	〇、五二	〇、一三	一一、六二
平		均				一一、〇八	一六、八六	〇、九八	〇、五二	〇、一五	一一、六五

(甲)	日	一〇七	×	(支九×支二〇)	一一、四一	一五、三三	一、〇七	〇、六九	〇、二五	二、〇一	
(乙)	(支九×支二〇)	×	日	一〇七	一一、一九	一六、〇〇	一、〇七	〇、六五	〇、三四	二、〇六	
平		均			一一、二九	一五、六八	一、〇七	〇、六七	〇、三〇	二、〇四	
(甲)	正	白	×	(支九×支二〇)	一一、八三	一六、〇四	〇、八八	〇、五九	〇、一八	一一、六五	
(乙)	(支九×支二〇)	×	正	白	一一、四〇	一六、三〇	一、〇七	〇、五七	〇、二一	一一、八五	
平		均			一一、五九	一六、一八	〇、九九	〇、五八	〇、一九	一一、七六	
(甲)	正	白	×	支	二〇	一一、七八	一五、〇九	一、〇六	〇、一一	一一、八六	
(乙)	支	二〇	×	正	白	一一、四五	一四、七二	一、一三	〇、三五	二、二〇	
平		均			一一、六〇	一四、八九	一、一〇	〇、七一	〇、二三	二、〇四	
(甲)	正	白	×	新	白	一一、九四	一六、〇九	〇、九八	〇、六二	〇、二一	一一、八一
(乙)	新	白	×	正	白	一一、七二	一七、〇九	一、〇四	〇、五七	〇、三三	一一、九四
平		均			一一、八二	一六、六一	一、〇一	〇、五九	〇、二八	一一、八八	

備考
一、繰絲湯温度ハ華氏百七十度乃至百八十度ニシテ小棒回轉數ハ一分間三百十回ナリ。
一、粒付ハ六粒付ニセリ。
一、試験口數ハ甲粗五口ニシテ乙組六口ナリ。

品 種 名	生繭百匁量	對一時間綫絲量	緒絲對生絲量	繅十匁量	揚繭物量	計
(甲)日一〇七×支	一一、一五	一七、七〇	〇、九三	〇、五九	〇、三五	一一、八七
(乙)日一〇七×支	一一、〇五	一七、一七	一、〇七	〇、六〇	〇、二八	一一、九五
平 均	一一、一〇	一七、四四	〇、九九	〇、六〇	〇、三一	一一、九〇
(甲)正 白×支	一一、九五	一九、一二	〇、八二	〇、五九	〇、一九	一一、六〇
(乙)正 白×支	一一、八七	一九、〇四	〇、九三	〇、五六	〇、一九	一一、六八
平 均	一一、九一	一九、〇八	〇、八七	〇、五八	〇、一九	一一、六四
(甲)日一〇七×(支九×支二〇)	一〇、九〇	一六、七七	〇、九〇	〇、七七	〇、三三	一一、九九
(乙)(支九×支二〇)×日一〇七	一一、二三	一六、五五	一、〇四	〇、六四	〇、二九	一一、九七
平 均	一一、〇六	一六、六六	〇、九七	〇、七一	〇、三〇	一一、九八
(甲)正 白×(支九×支二〇)	一一、六〇	一七、七七	〇、八八	〇、七四	〇、二三	一一、八五
(乙)(支九×支二〇)×正 白	一一、三〇	一七、八六	〇、九二	〇、六一	〇、二五	一一、七八
平 均	一一、九二	一七、八一	〇、九〇	〇、六八	〇、二四	一一、八二

(甲)正 白×支一〇一	一一、五九	一六、七五	〇、九六	〇、八七	〇、二八	一一、一一
(乙)支一〇一×正 白	一一、三三	一六、二七	〇、九九	〇、八三	〇、二四	一一、〇六
平 均	一一、四七	一六、五二	〇、九七	〇、八五	〇、二六	一一、〇八
(甲)正 白×新 白	一一、六四	一六、三九	〇、九三	〇、七五	〇、二三	一一、九一
(乙)新 白×正 白	一一、六〇	一七、一五	〇、九九	〇、六九	〇、二二	一一、九〇
平 均	一一、六二	一六、七五	〇、九六	〇、七二	〇、二三	一一、九一

備考 一、試験口數ハ甲組乙組各九口ナリ、以下之ニ同ジ。

第九表 生繭百匁生絲量明細表

品 種 名	平均絲量	10.0以下	10.5全	11.0全	11.5全	12.0全	12.5全	13.0全	13.5全	14.0全	14.5全	計
日一〇七×支 四	一一、九七			二	一		六					二
正 白×支 四	一一、〇八				二		四					二
夏 日一〇七×(支九×支二〇)	一一、二九		二		三		一					二
期 正 白×(支九×支二〇)	一一、五九			三	一		二					二
正 白×支一〇一	一一、六〇	一		二	一		五					二
正 白×新 白	一一、八三			一	二	三	四	一				二

品名	平均對一時 間線糸量	對一時間線糸量明細表			
		11,0以下	12,0全	13,0全	14,0全
日一〇七×支 四	一七,三六	二,一〇	—	—	—
正 白×支 四	一六,八六	二,九二	—	—	—
秋 日一〇七×(支九×支二〇) 四	一五,六八	二,〇六	—	—	—
期正 白×(支九×支二〇) 四	一六,一八	二,九三	—	—	—
正 白×支一〇一 四	一四,八九	二,四七	—	—	—
正 白×新 白 四	一六,六一	二,六三	—	—	—
計		二,一八	二,一八	二,一八	二,一八

第十表 對一時間線糸量明細表

品名	平均對一時 間線糸量	對一時間線糸量明細表			
		11,0以下	12,0全	13,0全	14,0全
日一〇七×支 四	一七,三六	—	—	—	—
正 白×支 四	一六,八六	—	—	—	—
夏 日七〇一×(支九×支二〇) 四	一五,六八	—	—	—	—
期正 白×(支九×支二〇) 四	一六,一八	—	—	—	—
正 白×支一〇一 四	一四,八九	—	—	—	—
正 白×新 白 四	一六,六一	—	—	—	—
計		—	—	—	—

七 生絲檢查成績

品名	平均對一時 間線糸量	對一時間線糸量明細表			
		11,0以下	12,0全	13,0全	14,0全
日一〇七×支 四	一七,四四	—	—	—	—
正 白×支 四	一九,〇八	—	—	—	—
秋 日一〇七×(支九×支二〇) 四	一六,六六	—	—	—	—
期正 白×(支九×支二〇) 四	一七,八一	—	—	—	—
正 白×支一〇一 四	一六,五三	—	—	—	—
正 白×新 白 四	一六,七五	—	—	—	—
計		—	—	—	—

生絲檢查ハ線絲試驗ニヨリテ生産セラレタル生絲ニ就キ長野縣工業試驗場ニ於テ之ヲ施行セリ、而シテ其ノ方法ハ春蠶支歐一代雜種ト全ク同一ノ方法ニ依リタリ。

(イ) 織 度

生絲織度ノ最モ太カリシハ正白×國蠶支四號、國蠶日一〇七號×全支四號ノ兩種ニシテ正白×(國蠶支九號)、國蠶日一〇七號×(國蠶支一〇一號)、正白×新白ハ順次之ニ次ギ正白×國蠶支一〇一號ハ最モ細シ。

生絲織度表

品	種	名	夏	秋
日	一〇七	支	一五、二二	一四、六九
正	白	支	一四、八二	一五、二六
日	一〇七	支	一四、〇一	一四、六〇
正	白	支	一四、四三	一四、五五
正	白	支	一三、八一	一三、八二
正	白	支	一三、七〇	一四、三六

(ロ) 類節
 夏期及秋期ノ成績相一致セザルモ其ノ綜合的成績ニ依レバ正白×國蠶支四號、正白×新白ノ兩種ハ類節少ナク、正白×國蠶支一〇一號、正白×(×國蠶支九號)・國蠶日一〇七號×(×國蠶支九號)、國蠶日一〇七號×全四號ハ順次多キ傾向アリ。

生絲類節表 (對五百メートル)

品	種	名	夏	秋
日	一〇七	支	一二三、一	七七、二

品	種	名	夏	秋
正	白	支	六〇、五	六九、二
日	一〇七	支	一〇八、九	八〇、五
正	白	支	九三、六	九一、八
正	白	支	一〇五、六	六九、〇
正	白	支	七六、九	六四、八

(ハ) 強カ

強カハ正白×國蠶支一〇一號ニ於テ稍々強キガ如ク又國蠶日一〇七號ノ交雜種ニ於テ稍々弱キガ如シト雖モ其ノ差ハ僅少ナリ。

生絲強カ表

品	種	名	夏	秋
日	一〇七	支	三、五四	三、四八
正	白	支	三、五五	三、五一
日	一〇七	支	三、五五	三、四五
正	白	支	三、五二	三、五五

正	白 × 支 一〇一	三、六九	三、五三
正	白 × 新	三、五九	三、四六

(ニ) 伸 度

夏秋兩期共ニ國蠶日一〇七號ヲ交雜シタルモノニ於テ多キ傾向アレドモ其ノ他ハ殆ンド同一ナリ。

生絲伸度表

品 種 名	夏 期	秋 期
日一〇七×支四	二、一〇	二、一〇
正 白×支四	二、〇七	二、〇八
日一〇七×(支九×支一〇一)	二、一〇	二、一一
正 白×(支九×支一〇一)	二、〇二	二、〇八
正 白×支一〇一	二、〇二	二、〇七
正 白×新	二、〇四	二、〇八

(ホ) 肉 眼 檢 査

線絲試驗ニヨリテ生産セラレタル生絲ヲ各品種別ニ集メ之ヲ審査セル成績ニ依レバ正白×國蠶支四號、正白×新

白ノ兩種ハ最モ佳良ニシテ國蠶日一〇七號×全支四號、正白×(國蠶支九號)、正白×國蠶支一〇一號ハ順次之ニ次ギ國蠶日一〇七號×(國蠶支九號)ハ最モ劣位ニ在リ、今各品種ニ就キ綜合セル性狀ヲ記セバ次ノ如シ。

生絲肉眼審査表

品 種 名	色 相	光 澤	觸	感
日一〇七×支四	白 味	中	絲腰強ク絲味多シ	
正 白×支四	淡 笹 味	上	絲腰強ク絲味ニ富ム	
日一〇七×(支九×支一〇一)	微 笹 味	下	絲腰弱ク絲味ニ乏シ	
正 白×(支九×支一〇一)	淡 笹 味	中	絲腰有リ絲味多シ	
正 白×支一〇一	濃 笹 味	上	絲腰有リ絲味中位	
正 白×新	笹 味	上	絲腰有リ絲味多シ	

以上ノ詳細ヲ表示スレバ次ノ如シ。

第十一表 夏 期

品 種 名	織 度 (平均)	大 類	節 小	計	強 力	伸 度
(甲) 日一〇七×支四	一五、一三	〇、三	一一一、八	一一二、一	三、五三	二、〇五

品	種	名	織度(平均)	大	節	小	計	強	力	伸	度
(乙)	日一〇七×支	四	一五、二九	〇、三	一三三、〇	一三三、三	三、五四	二、一五			
平		均	一五、二二	〇、三	一二三、八	一二三、一	三、五四	二、一〇			
(甲)	正 白×支	四	一四、九四	〇、一	七二、九	七三、〇	三、六三	二、〇五			
(乙)	正 白×支	四	一四、七一	〇、〇	五〇、〇	五〇、〇	三、四九	二、〇九			
平		均	一四、八二	〇、一	六〇、四	六〇、五	三、五五	二、〇七			
(甲)	日一〇七×(支九×支二〇)		一四、三二	〇、二	一一四、六	一一四、八	三、五六	二、〇六			
(乙)	(支九×支二〇)×日一〇七		一三、七四	〇、一	一〇三、八	一〇三、九	三、五四	二、一三			
平		均	一四、〇一	〇、二	一〇八、七	一〇八、九	三、五五	二、一〇			
(甲)	正 白×(支九×支二〇)		一四、三九	〇、四	八五、六	八六、〇	三、五一	二、〇〇			
(乙)	(支九×支二〇)×正 白		一四、四六	〇、一	九九、九	一〇〇、〇	三、五三	二、〇五			
平		均	一四、四三	〇、二	九三、四	九三、六	三、五二	二、〇二			
(甲)	正 白×支二〇一		一三、五一	〇、四	一〇四、八	一〇五、二	三、七九	一、九七			
(乙)	支二〇一×正 白		一四、〇六	〇、一	一〇五、八	一〇五、九	三、六二	二、〇六			
平		均	一三、八一	〇、二	一〇五、四	一〇五、六	三、六九	二、〇二			
(甲)	正 白×新	白	一三、八七	〇、三	五八、九	五九、二	三、六二	一、九八			

秋 期

品	種	名	織度(平均)	大	節	小	計	強	力	伸	度
(甲)	日一〇七×支	四	一五、一一	〇、八	七三、〇	七三、八	三、四一	二、一二			
(乙)	日一〇七×支	四	一四、二八	〇、四	八〇、二	八〇、六	三、五六	二、一一			
平		均	一四、六九	〇、六	七六、六	七七、二	三、四八	二、一一			
(甲)	正 白×支	四	一五、二五	〇、四	七三、七	七四、一	三、五二	二、〇八			
(乙)	正 白×支	四	一五、二七	〇、二	六四、一	六四、三	三、五〇	二、〇八			
平		均	一五、二六	〇、三	六八、九	六九、二	三、五一	二、〇八			
(甲)	日一〇七×(支九×支二〇)		一四、四二	〇、三	八二、九	八三、二	三、四二	二、一二			
(乙)	(支九×支二〇)×日一〇七		一四、七八	〇、七	七七、一	七七、八	三、四九	二、一〇			
平		均	一四、六〇	〇、五	八〇、〇	八〇、五	三、四五	二、一一			
(甲)	正 白×(支九×支二〇)		一四、五四	〇、一	一〇九、〇	一〇九、一	三、五九	二、〇九			

大正十三年度夏期試驗

一 催青及孵化調查

品 種 名	總 一 卵 蛾 數		平均 孵化 卵 數	孵化 步 合
	總 數	平均		
日一〇七×支 四(生)	五六八	五六八	五六〇	九八、五九
正 白×支 四(生)	五六七	五六七	五五五	九七、八八
日一〇七×(支九×支二〇一)(生)	五三三	五三三	五二六	九八、六九
正 白×(支九×支二〇一)(生)	五五七	五五七	五四八	九八、三八
正 白×支一〇一(生)	五七六	五七六	五六八	九八、六一
正 白×新 白(生)	五九一	五九一	五八一	九八、三一
支一〇一×日 一(生)	四八九	四八九	四七七	九七、五五
支 四×日一〇七(黑)	五七七	五七七	五六七	九八、二七
支 四×正 白(黑)	五七二	五七二	五六三	九八、六〇
日一〇七×(支二〇一×支九)(黑)	五一一	五一一	四九九	九七、六五

二 蠶 兒 飼 育 經 過

品 種 名	齡 一		齡 二		齡 三		齡 四		齡 五		全齡
	食桑中	絕食中	食桑中	絕食中	食桑中	絕食中	食桑中	絕食中	食桑中	絕食中	
(支一〇一×支九)×日一〇七(黑)	五七一	五七一	五六一	五六一	五三〇	五三〇	九八、二五	九七、九七	九七、六一	九八、六七	九八、二五
相 反 平 均	五七一	五七一	五六一	五六一	五三〇	五三〇	九八、二五	九七、九七	九七、六一	九八、六七	九八、二五
正 白×支一〇一(黑)	四六一	四六一	四五〇	四五〇	四五〇	四五〇	九七、六一	九七、六一	九七、六一	九八、六七	九七、六一
支一〇一×正 白(黑)	四五二	四五二	四五〇	四五〇	四五〇	四五〇	九七、六一	九七、六一	九七、六一	九八、六七	九七、六一
相 反 平 均	四五二	四五二	四五〇	四五〇	四五〇	四五〇	九七、六一	九七、六一	九七、六一	九八、六七	九七、六一
正 白×新 白(黑)	四五九	四五九	四五九	四五九	四五九	四五九	九八、二六	九八、二六	九八、二六	九八、二六	九八、二六
新 白×正 白(黑)	五三一	五三一	五二四	五二四	五二四	五二四	九八、六八	九八、六八	九八、六八	九八、六八	九八、六八
相 反 平 均	五三一	五三一	五二四	五二四	五二四	五二四	九八、六八	九八、六八	九八、六八	九八、六八	九八、六八

品 種 名	齡 一		齡 二		齡 三		齡 四		齡 五		全齡
	食桑中	絕食中	食桑中	絕食中	食桑中	絕食中	食桑中	絕食中	食桑中	絕食中	
日一〇七×支 四(生)	三〇三	三〇三	三〇三	三〇三	三〇三	三〇三	五〇五	五〇五	五〇五	五〇五	二〇、一五
正 白×支 四(生)	三〇三	三〇三	三〇三	三〇三	三〇三	三〇三	五〇五	五〇五	五〇五	五〇五	二〇、一五
日一〇七×(支九×支二〇一)(生)	三〇三	三〇三	三〇三	三〇三	三〇三	三〇三	五〇五	五〇五	五〇五	五〇五	二〇、一五
正 白×支 四(生)	三〇三	三〇三	三〇三	三〇三	三〇三	三〇三	五〇五	五〇五	五〇五	五〇五	二〇、一五

三 蠶 兒 飼 育 中 溫 濕 度

品 種 名	一 齡		二 齡		三 齡		四 齡		五 齡		全 齡	
	溫度	濕度	溫度	濕度	溫度	濕度	溫度	濕度	溫度	濕度	溫度	濕度
日一〇七×支 四(生)	八〇.七	七六.一	七九.三	七七.四	七八.四	七七.六	七九.五	七八.〇	八〇.四	七五.九	八〇.二	七六.九
正 白×支 四(生)	八〇.七	七六.一	七九.三	七七.四	七八.四	七七.五	七九.五	七八.〇	八〇.四	七五.九	八〇.二	七六.九
日一〇七×(支九×支一〇)(生)	八〇.七	七六.一	七九.三	七七.四	七八.四	七七.六	七九.五	七八.〇	八〇.四	七五.九	八〇.二	七六.九
正 白×(支九×支一〇)(生)	八〇.三	七五.五	七九.五	七七.九	七八.〇	七七.九	七九.六	七八.〇	八〇.三	七六.二	七九.九	七六.一
正 白×支一〇(生)	八〇.七	七六.一	七九.三	七七.四	七八.〇	七七.九	七九.五	七八.〇	八〇.三	七六.七	七九.九	七六.九
正 白×新 白(生)	八〇.七	七六.一	七九.三	七七.四	七八.〇	七七.九	七九.五	七八.〇	八〇.三	七六.五	七九.九	七六.九
支一〇×日 一(生)	八〇.三	七五.五	七九.五	七七.九	七八.〇	七七.九	七九.六	七八.〇	八〇.三	七六.二	七九.九	七六.一
支 四×日一〇七(黑)	八〇.九	七六.四	七九.〇	七六.九	七九.七	七七.一	七九.四	七八.三	八〇.三	七五.七	七九.九	七六.九
支 四×正 白(黑)	八〇.九	七六.四	七九.〇	七六.九	七九.七	七七.一	七九.四	七八.三	八〇.三	七五.七	七九.九	七六.九
日一〇七×(支一〇×支九)(黑)	八〇.七	七六.一	七九.三	七七.四	七八.四	七七.六	七九.五	七八.〇	八〇.四	七五.九	八〇.二	七六.九
(支一〇×支九)×日一〇七(黑)	八〇.八	七六.一	七九.三	七七.三	七八.九	七七.五	七九.四	七八.四	八〇.〇	七五.八	七九.八	七六.八
相 反 平 均	八〇.八	七六.一	七九.三	七七.三	七八.九	七七.五	七九.四	七八.四	八〇.〇	七五.八	七九.八	七六.八

正 白×(支九×支一〇)(生)	三〇.五	〇.二三	四〇.四	二〇.八	〇.二二	三〇.五	二.一五	一.〇四	三.一九	三〇.五	一.〇九	四.一四	五.〇六	二.〇〇
正 白×支一〇(生)	三〇.三	一.〇〇	四〇.二	二〇.六	〇.二〇	三〇.三	二.一七	一.〇三	三.一九	三〇.一	一.〇九	四.一〇	五.〇六	二.〇一
正 白×新 白(生)	三〇.三	〇.二三	四〇.一	二〇.八	〇.二〇	三〇.四	二.一六	一.〇三	三.一八	三〇.三	一.一〇	四.一三	五.〇五	二.〇一
支一〇×日 一(生)	三〇.七	〇.二二	四〇.四	二〇.二	一.〇二	三〇.四	二.一六	一.〇五	三.二一	三〇.五	一.〇八	四.一三	五.一八	二.一三
支 四×日一〇七(黑)	三〇.一	〇.二三	三九.三	二〇.〇	〇.一〇	三〇.六	二.一六	一.〇五	三.二一	三〇.〇	一.一〇	四.一三	五.一〇	二.〇三
支 四×正 白(黑)	三〇.一	〇.二三	三九.三	二〇.〇	〇.一〇	三〇.六	二.一六	一.〇五	三.二一	三〇.〇	一.一〇	四.一三	五.一〇	二.〇三
日一〇七×(支一〇×支九)(黑)	三〇.一	〇.二二	三九.三	二〇.六	〇.二二	三〇.四	二.一六	一.〇一	三.一七	三〇.三	一.〇八	四.一三	五.〇九	二.〇二
(支一〇×支九)×日一〇七(黑)	二.二三	〇.二三	三.二二	二.〇七	〇.二二	三.〇四	二.一五	一.〇三	三.一八	三.〇〇	一.〇九	四.〇九	五.一三	三.〇一
相 反 平 均	二.二三	〇.二三	三.二二	二.〇七	〇.二二	三.〇四	二.一五	一.〇三	三.一八	三.〇〇	一.〇九	四.〇九	五.一三	三.〇一
正 白×支一〇(黑)	三〇.三	〇.二二	四〇.〇	二〇.二	〇.二二	三〇.八	二.一四	一.〇一	三.一五	三〇.二	一.〇八	四.一〇	五.〇六	二.〇一
支一〇×正 白(黑)	三〇.〇	一.〇〇	四〇.〇	二〇.八	〇.二二	三〇.五	二.一六	一.〇四	三.一五	三〇.三	一.〇九	四.一〇	五.〇六	二.〇二
相 反 平 均	三〇.三	〇.二三	四〇.〇	二〇.〇	〇.二二	三〇.七	二.一五	一.〇三	三.一七	三〇.三	一.〇八	四.一〇	五.〇六	二.〇一
正 白×新 白(黑)	三〇.三	〇.二二	四〇.〇	二〇.〇	〇.二〇	三〇.六	二.一六	一.〇一	三.一七	三〇.五	一.〇九	四.一〇	五.〇六	二.〇一
新 白×正 白(黑)	三〇.三	一.〇〇	四〇.〇	二〇.八	〇.二二	三〇.七	二.一五	一.〇三	三.一八	三〇.四	一.一〇	四.一〇	五.〇五	二.〇一
相 反 平 均	三〇.二	〇.二三	三.二三	二.一〇	〇.二〇	三.〇六	二.一六	一.〇一	三.一七	三〇.四	一.一〇	四.一〇	五.〇五	二.〇一

品名	給桑量					對蠶量	給桑回数				
	一齡	二齡	三齡	四齡	五齡		全齡	一齡	二齡	三齡	四齡
正 白×支一〇一(黑)	八〇、九	七六、四	七九、〇	七六、九	八〇、〇	七七、二	七七、五	八〇、一	七七、一	七九、八	七七、〇
支一〇一×正 白(黑)	八〇、七	七六、一	七九、〇	七六、三	八〇、〇	七七、七	七七、五	八〇、一	七七、一	七九、八	七六、八
相 反 平 均	八〇、八	七六、三	七九、〇	七六、六	八〇、〇	七七、四	七七、五	八〇、一	七七、一	七九、八	七六、九
正 白×新 白(黑)	八〇、九	七六、四	七九、〇	七六、三	八〇、〇	七七、三	七七、五	八〇、二	七七、五	七九、八	七六、八
新 白×正 白(黑)	八〇、八	七六、一	七九、二	七六、四	八〇、〇	七七、七	七七、三	八〇、〇	七七、三	七九、九	七六、九
相 反 平 均	八〇、九	七六、三	七九、一	七六、八	八〇、〇	七七、五	七七、六	八〇、一	七七、四	七九、〇	七六、〇

四給桑量調査 (對蠶量三分)

品名	給桑量					對蠶量	給桑回数					
	一齡	二齡	三齡	四齡	五齡		全齡	一齡	二齡	三齡	四齡	五齡
日一〇七×支 四(生)	一〇八、 ^外	二二三、 ^外	七五、 ^外	二、 ^外 七三、 ^外	一、 ^外 五六九、 ^外	四九、四三、 ^外	三〇、 ^外	二二、 ^外	二二、 ^外	二二、 ^外	三六、 ^外	一三二、 ^外
正 白×支 四(生)	一〇七、	二二六、	七五、八	二、 ^外 三六、 ^外	一、 ^外 九〇〇、 ^外	五〇、八九〇、	三〇、	二二、	二二、	二二、	三七、	一三三、
日一〇七×(支九×支一〇一)(生)	一〇六、	二二三、	六六、六	二、 ^外 一九三、 ^外	一、 ^外 四六八、 ^外	四八、八五〇、	三〇、	二二、	二二、	二二、	三三、	一三八、
正 白×(支九×支一〇一)(生)	一一三、	二三四、	六八、六	二、 ^外 三六三、 ^外	一、 ^外 七一〇、 ^外	四九、九七〇、	三一、	二〇、	二二、	二二、	三四、	一二九、
正 白×支一〇一(生)	一〇六、	二二三、	七五、	二、 ^外 二二三、 ^外	一、 ^外 二〇三、 ^外	五〇、八九〇、	三〇、	二〇、	二二、	二二、	三四、	一二八、

品名	給桑量					對蠶量	給桑回数					
	一齡	二齡	三齡	四齡	五齡		全齡	一齡	二齡	三齡	四齡	五齡
正 白×新 白(生)	一〇六、	二二八、	七〇、三	二、 ^外 一八三、 ^外	一、 ^外 七一四、 ^外	四九、七七〇、	三〇、	二二、	二二、	二二、	三三、	一二九、
支一〇一×日 一(生)	一一五、	二二八、	六五、〇	二、 ^外 三五八、 ^外	一、 ^外 九六六、 ^外	五四、三九〇、	三三、	二〇、	二二、	二二、	三八、	一二八、
支 四×日一〇七(黑)	一〇三、	二二六、	七二、六	二、 ^外 二〇四、 ^外	一、 ^外 七八一、 ^外	五〇、一四〇、	二八、	二二、	二二、	二二、	三四、	一二七、
支 四×正 白(黑)	一〇三、	二二五、	七二、三	二、 ^外 三六〇、 ^外	一、 ^外 二二三、 ^外	五〇、四四〇、	二八、	二二、	二二、	二二、	三四、	一二九、
日一〇七×(支一〇一×支九)(黑)	一〇〇、	二二四、	六四、九	二、 ^外 一四〇、 ^外	一、 ^外 四一八、 ^外	四八、三九〇、	二九、	二二、	二二、	二二、	三四、	一二九、
(支一〇一×支九)×日一〇七(黑)	九九、	二〇七、	六三、四	二、 ^外 一五三、 ^外	一、 ^外 四二三、 ^外	四八、三八〇、	二九、	二〇、	二二、	二二、	三五、	一二六、
相 反 平 均	一〇〇、	二二一、	六四、三	二、 ^外 一四六、 ^外	一、 ^外 四二二、 ^外	四八、三九七、	二九、	二〇、	二二、	二二、	三五、	一二八、
正 白×支一〇一(黑)	一〇三、	二二二、	六八、〇	二、 ^外 三三三、 ^外	一、 ^外 九八一、 ^外	五〇、八九〇、	二九、	二二、	二二、	二二、	三四、	一二八、
支一〇一×正 白(黑)	一〇〇、	二二六、	六六、八	二、 ^外 三五〇、 ^外	一、 ^外 二〇〇九、 ^外	五〇、八五〇、	二九、	二二、	二二、	二二、	三五、	一二〇、
相 反 平 均	一〇二、	二二九、	六七、四	二、 ^外 三二九、 ^外	一、 ^外 九九五、 ^外	五〇、九六七、	二九、	二二、	二二、	二二、	三五、	一二九、
正 白×新 白(黑)	一〇三、	二三〇、	六九、七	二、 ^外 三三一、 ^外	一、 ^外 八六〇、 ^外	五〇、七四〇、	二九、	二二、	二二、	二二、	三五、	一二〇、
新 白×正 白(黑)	一〇〇、	二二三、	九七、五	二、 ^外 二三三、 ^外	一、 ^外 四五八、 ^外	四八、六二〇、	二九、	二二、	二二、	二二、	三四、	一二九、
相 反 平 均	一〇二、	二二六、	六八、六	二、 ^外 二二七、 ^外	一、 ^外 六五九、 ^外	四九、六三〇、	二九、	二二、	二二、	二二、	三五、	一二〇、

五蠶兒体量調查

(對百頭)

品 種 名	蠶 體 量	四 眠 蠶 體 量	五 齡			
			盛 體 量	平 均		
日一〇七×支	四(生)	〇、〇二一七五	二二、〇	一一二、一	九七、七	一〇四、九
正 白×支	四(生)	〇、〇二一六	二二、九	一〇八、六	四九、二	一〇一、四
日一〇七×(支九×支一〇一)(生)		〇、〇二一四〇	二二、一	一〇八、五	九三、三	一〇〇、九
正 白×(支九×支一〇一)(生)		〇、〇二〇八三	二〇、五	九五、〇	八八、〇	九一、五
正 白×支一〇一(生)		〇、〇二〇七〇	二〇、二	九九、九	八七、五	九三、七
正 白×新 白(生)		〇、〇二〇八三	一九、四	九二、七	八三、一	八七、九
支一〇一×日 一(生)		〇、〇二〇九二	二一、七	一一六、八	一〇二、六	一〇九、七
支 四×日一〇七(黑)		〇、〇二〇九五	二一、七	一〇七、四	九四、〇	一〇〇、七
支 四×正 白(黑)		〇、〇二一〇三	二一、九	一〇七、八	九六、〇	一〇一、九
日一〇七×(支一〇一×支九)(黑)		〇、〇二一三七	二〇、七	九八、一	八七、七	九二、九
(支一〇一×支九)×日一〇七(黑)		〇、〇二一七四	二〇、四	一〇〇、九	九〇、三	九五、六

六蠶兒頭數調查

品 種 名	掃 立 蠶 數	結 繭 蠶 數	減 數		步 合	繭 中 斃	
			數	步		數	步
日一〇七×支 四(生)	二五五三	二二五五	二九八	一、七	三七	一、六四	
正 白×支 四(生)	二六八八	二四一三	二七五	一〇、二	四三	一、八〇	
日一〇七×(支九×支一〇一)(生)	二六三二	二四二九	二〇三	七、七	四八	一、九六	
正 白×(支九×支一〇一)(生)	二七七〇	二五三七	二三三	八、四	四六	一、八三	
相 反 平 均			二〇、五	九九、五	八九、〇	九四、二	
正 白×支一〇一(黑)		〇、〇二〇三〇	二〇、二	九八、六	九〇、一	九四、三	
支一〇一×正 白(黑)		〇、〇二〇三六	二〇、一	九七、〇	八五、八	九一、四	
相 反 平 均		〇、〇二〇三二	二〇、一	九七、八	八七、九	九二、九	
正 白×新 白(黑)		〇、〇二〇六七	二〇、三	九六、六	八五、九	九一、二	
新 白×正 白(黑)		〇、〇二一二六	二一、四	一〇四、一	八九、一	九六、六	
相 反 平 均		〇、〇二〇九五	二〇、八	一〇〇、三	八七、五	九三、九	

七不良蠶調查

品名	一齡	二齡	三齡	四齡	合計	一齡	二齡	三齡	四齡	合計	一齡	二齡	三齡	四齡	合計	一齡	二齡	三齡	四齡	合計
正 白×支二〇(生)	二八〇五	二五八二	二二三	八〇	三七	一、四五														
正 白×新 白(生)	二八二二	二五〇〇	三二二	一一、四	三六	一、四四														
支一〇一×日 一(生)	二七四八	二四三三	三一五	一一、五	四九	二、〇三														
支四×日一〇七(黑)	二七三九	二三五五	三八四	一四、〇	三二	一、三七														
支四×正 白(黑)	二七二〇	二四八〇	二四〇	八、八	二九	一、一七														
日一〇七×(支一〇一×支九)(黑)	二六三九	二三五二	二八七	一〇、九	六五	二、七五														
(支一〇一×支九)×日一〇七(黑)	二七九四	二四四八	三四六	一二、四	五八	二、三八														
相反平均	二七一七	二四〇〇	三一七	一一、七	六二	二、五六														
正 白×支一〇一(黑)	二九一四	二五九四	三二〇	一一、〇	八四	三、二三														
支一〇一×正 白(黑)	二八九七	二五六四	三三三	一一、五	六二	二、四一														
相反平均	二九〇六	二五七九	三二七	一一、二	七三	二、八二														
正 白×新 白(黑)	二八一二	二四九九	三五三	一二、六	五四	二、二一														
新 白×正 白(黑)	二六六五	二四〇六	二五九	九、七	七〇	二、九〇														
相反平均	二七三九	二四三三	三〇六	一一、二	六二	二、五五														

品名	一齡	二齡	三齡	四齡	合計	一齡	二齡	三齡	四齡	合計	一齡	二齡	三齡	四齡	合計	一齡	二齡	三齡	四齡	合計
日一〇七×支 四(生)	三	五	七	一二	二七	〇	〇	〇	一	一七										
正 白×支 四(生)	二	二	九	一〇	二三	〇	〇	〇	一	二三										
日一〇七×(支九×支一〇一)(生)	〇	四	一	七	一二	〇	〇	〇	一	二四										
正 白×(支九×支一〇一)(生)	二	一三	七	一〇	三二	〇	〇	〇	一	二二										
正 白×支一〇一(生)	二	四	三	七	一六	〇	〇	〇	一	一九										
正 白×新 白(生)	一	一	〇	八	三〇	〇	〇	〇	一	一六										
支一〇一×日 一(生)	四	一七	九	一〇	四〇	二	〇	〇	〇	二一										
支 四×日一〇七(黑)	五	三	五	八	二一	〇	〇	〇	〇	二六										
支 四×正 白(黑)	一七	六	七	一四	四四	〇	〇	〇	五	二〇										
日一〇七×(支一〇一×支九)(黑)	二	四	一	八	一五	〇	〇	〇	〇	二二										
(支一〇一×支九)×日一〇七(黑)	三	一	五	八	一八	〇	〇	〇	〇	一九										
相反平均	二	三	四	九	一八	〇	〇	〇	〇	二〇										

正	白×支一〇一(黑)	一	四	四	一七	〇	〇	〇	〇	一	二	二	一	二
支一〇一×正	白(黑)	七	三	四	三	〇	〇	〇	〇	〇	二	三	〇	二
相 反 平 均		四	四	一〇	二	〇	〇	〇	〇	一	二	二	一	一
正	白×新 白(黑)	五	四	五	四	〇	〇	〇	〇	一	四	四	一	一
新 白×正 白(黑)		六	七	一	八	〇	〇	〇	〇	〇	一	四	四	一
相 反 平 均		五	五	八	三	二	〇	〇	〇	一	三	三	一	一

八收 繭 調 査

品 種 名	普通繭	層繭	同功繭	合 計	對峙立蠶千	步	合
日一〇七×支 四(生)	九八〇	一八九九	一〇九	二三八	四二九	八四七六	〇九九
正 白×支 四(生)	九七三	二〇八五	一八七	二二七〇	四二〇	八六六八	一六六
日一〇七×(支九×支一〇)(生)	八三〇	一八四〇	三三三	二二七五	四〇五	七六一七	三〇三
正 白×(支九×支一〇)(生)	九六七	二二九八	一九九	二三九三	三九一	八六五八	一八四
正 白×支一〇一(生)	九四三	二二二〇	二〇三	二三七六	四〇五	八三一五	一七九
正 白×新 白(生)	八五〇	二〇八六	二七一	二三三五	三五七	八四三三	二六九

支一〇一×日 一(生)	九四一七	一九〇八	三三三	六七	一五七七	二六三一	三三〇	四四八	二五五
支 四×日一〇七(黑)	九三三七	一九四六	一六八	三九	一六八四	一八五一	一八九	四〇九	一五二
支 四×正 白(黑)	九八一七	二二三〇	一〇七	二五	一四五〇	一六三一	一三七	四一八	〇九九
日一〇七×(支一〇一×支九)(黑)	八八九〇	一八七二	二九四	七五	一八一〇	二〇三一	二九四	三九〇	七九五
(支一〇一×支九)×日一〇七(黑)	八四〇三	一九七一	二二一	五三	一八六三	二二二一	〇四八	三七五	八〇一
相 反 平 均	八七九七	一九二二	二五七	六四	一八三六	二〇七一	〇三九	三八二	七九八
正 白×支一〇一(黑)	九〇九三	二二二九	二七二	七九	一六六七	一九三一	〇三三	三七九	八二四
相 反 平 均	九一九三	二二五四	一九一	五四	一六〇四	一八六一	〇九八	三七八	八三六
正 白×新 白(黑)	八六六七	二二三四	一五九	四三	一三八〇	一五三一	〇〇六	三五九	八五七
新 白×正 白(黑)	八七八三	二二〇三	一三〇	三三	一一三三	一三五二	〇〇四	三七七	八七四
相 反 平 均	八七三三	二二一四	一四四	三七	一一〇七	一四四一	〇〇七	三六八	八六五

九 繭 質 調 査

品 種 名	絲 量	絲 長	織 度	生 繭 一 升 重 量	繭 層 十 類
日一〇七×支 四(生)	〇.二三	六七三	二七六	七三六	一五五

品名	對生繭量	粒數	生絲量	殘繭量	對一時間	縮絲量	對生絲十匁量	揚繭量	合計
正 白×支 四(生)	〇,三三	六八五	二,六八	六九二	一五一	四,五四	〇,六八	一四,九八	
日一〇七×(支九×支二〇)(生)	〇,二一	六四五	二,五五	七一,七	一六三	四,四八	〇,六三	一四,〇六	
正 白×(支九×支二〇)(生)	〇,二〇	六五六	二,四九	七三,七	一七四	四,三九	〇,六二	一四,四九	
正 白×支一〇(生)	〇,三一	六九六	二,三九	六八,三	一五八	四,二九	〇,六三	一四,六九	
正 白×新 白(生)	〇,一九	六三三	二,四六	六七,七	一六六	四,〇四	〇,五九	一四,六〇	
支一〇一×日 一(生)	〇,三四	七四三	二,五七	七〇,九	一四五	四,八三	〇,七四	一五,三三	
支 四×日一〇七(黑)	〇,三四	六八四	二,七五	七五,五	一六四	四,五三	〇,七一	一五,七一	
支 四×正 白(黑)	〇,三五	七五〇	二,七一	七三,一	一六三	四,五五	〇,七三	一六,〇四	
日一〇七×(支二〇×支九)(黑)	〇,三一	六四五	二,六三	七三,八	一六八	四,三四	〇,六六	一五,二一	
(支二〇×支九)×日一〇七(黑)	〇,三一	六三〇	二,六八	七五,二	一七三	四,三〇	〇,六四	一四,八八	
相 反 平 均	〇,三二	六三八	二,六五	七四,五	一七〇	四,三三	〇,六五	一五,〇〇	
正 白×支一〇(黑)	〇,二二	六五八	二,六一	七五,八	一七六	四,二五	〇,六六	一五,五三	
支一〇一×正 白(黑)	〇,三三	六六九	二,六四	七六,〇	一七五	四,二九	〇,六七	一五,六二	
相 反 平 均	〇,三三	六六四	二,六三	七五,九	一七六	四,二七	〇,六六	一五,五三	
正 白×新 白(黑)	〇,二二	六四九	二,六三	七四,五	一七六	四,一八	〇,六六	一五,七九	

品名	對生繭量	粒數	生絲量	殘繭量	對一時間	縮絲量	對生絲十匁量	揚繭量	合計
新 白×正 白(黑)	〇,三二	六三九	二,七〇	三七,一	一七六	四,三三	〇,六四	一五,一七	
相 反 平 均	〇,三二	六三九	二,六七	七三,八	一七六	四,三〇	〇,六五	一五,四三	

一〇線 絲 成 績

品名	對生繭量	粒數	生絲量	殘繭量	對一時間	縮絲量	對生絲十匁量	揚繭量	合計
日一〇七×支 四(生)	三,四二	一一三	一,二五二	〇,二三	一六,三四	〇,八三	〇,四三	〇,三一	一四,五
正 白×支 四(生)	三,四五	二二八	一,三三五	〇,二二	一五,五三	〇,九八	〇,五〇	〇,〇九	一五,七
日一〇七×(支九×支二〇)(生)	三,三八	二二四	一,一六三	〇,二五	一四,六七	一,〇一	〇,五八	〇,一八	一七,七
正 白×(支九×支二〇)(生)	三,四五	二二三	一,一一三	〇,二三	一六,二七	〇,七九	〇,五三	〇,一三	一四,五
正 白×支一〇(生)	三,四五	二三〇	一,一一一	〇,二二	一五,二四	〇,九八	〇,六六	〇,一三	一七,六
正 白×新 白(生)	三,四六	二四四	一,二二〇	〇,二三	一五,六三	〇,九一	〇,六三	〇,三四	一七,七
支一〇一×日 一(生)	三,四三	二〇九	一,一八〇	〇,三五	一四,八三	一,一四	〇,六八	〇,一〇	一,九二
支 四×日一〇七(黑)	三,四三	二二九	一,二九三	〇,二三	一七,二八	〇,八一	〇,四三	〇,一七	一,四二
支 四×正 白(黑)	三,五〇	二一九	一,三五〇	〇,二三	一六,五六	〇,八四	〇,五一	〇,一六	一,五一
日一〇七×(支二〇×支九)(黑)	三,四二	二二六	一,二五六	〇,二二	一六,六六	〇,八〇	〇,五五	〇,一五	一,五〇

品種名	太織		度		額		節		供用糸		強		力		伸		度		
	大	小	大	小	大	小	大	小	大	小	大	小	大	小	大	小	大	小	
(支101×支9)×日107(黑)	三四三	二二三	一三三	一三三	〇、三〇	〇、三〇	一六、二六	〇、九五	〇、五四	〇、三〇	一、六九								
相 反 平 均	三四三	二二七	一三五	一三五	〇、三二	〇、三二	一六、五六	〇、八八	〇、五四	〇、一七	一、五九								
正 白×支101(黑)	三四七	二四〇	一三三	一三三	〇、二二	〇、二二	一七、五九	〇、七九	〇、六三	〇、〇六	一、四八								
支101×正 白(黑)	三四三	二三一	一三三	一三三	〇、三三	〇、三三	一六、二七	〇、九〇	〇、六三	〇、〇三	一、六五								
相 反 平 均	三四、五	二三、五	一三、〇〇	一三、〇〇	〇、三三	〇、三三	一六、六六	〇、八五	〇、六三	〇、〇九	一、六七								
正 白×新 白(新)	三五〇	二四一	一三〇	一三〇	〇、二三	〇、二三	一五、九七	〇、七九	〇、六四	〇、三二	一、六四								
新 白×正 白(黑)	三五〇	二三七	一三八	一三八	〇、二三	〇、二三	一七、七三	〇、七〇	〇、五三	〇、二二	一、四三								
相 反 平 均	三五、〇	二三、九	一三、九	一三、九	〇、二三	〇、二三	一六、八五	〇、七五	〇、五七	〇、二二	一、五三								

一一生絲檢查成績

品種名	太織		度		額		節		供用糸		強		力		伸		度		
	大	小	大	小	大	小	大	小	大	小	大	小	大	小	大	小	大	小	
日107×支 四(生)	一六、五〇	一三、四三	一四、七五	一四、七五	〇、三三	一三、五	一三、八	一四、〇九	五、七	四、五	五、二	四、七	三、六〇	二、三七	一、八八	二、〇八			
正 白×支 四(生)	一六、〇〇	一三、五八	一四、八四	一四、八四	〇、三	六、五八	六、六〇	一四、七九	五、八	四、三	五、三	四、七	三、六一	二、一七	一、八二	二、〇三			
日107×(支9×支101)(生)	一六、一七	一三、四三	一四、八一	一四、八一	〇、三	一三、三八	一三、四〇	一四、一七	五、八	四、三	五、〇	四、三	三、五三	二、三八	一、八一	二、〇九			
正 白×(支9×支101)(生)	一五、五八	一三、〇〇	一四、四八	一四、四八	〇、三	九、二七	九、三〇	一四、一三	五、九	四、四	五、〇	四、四	三、五四	二、二二	一、八一	一、九八			

品種名	太織		度		額		節		供用糸		強		力		伸		度		
	大	小	大	小	大	小	大	小	大	小	大	小	大	小	大	小	大	小	
正 白×支101(生)	一五、三三	一三、九三	一三、七七	一三、七七	〇、五	一三、九八	一三、〇三	一三、三八	五、七	四、五	五、〇	四、五	三、七六	二、三〇	一、八三	一、九九			
正 白×新 白(生)	一四、五〇	一三、五八	一三、五三	一三、五三	〇、三	六、四、七二	六、五〇	一三、四三	五、二	四、〇	四、七	三、五〇	二、一七	一、八三	一、九八				
支101×日 一(生)	一七、〇〇	一三、五〇	一五、一三	一五、一三	〇、〇	五、七〇	一五、七〇	一三、七五	六、三	四、六	五、三	四、六	三、七八	二、三三	一、八〇	二、〇三			
支 四×日107(黑)	一六、〇八	一三、〇八	一四、六三	一四、六三	〇、五	一、八一	一、八七	一四、三二	五、四	四、二	四、八	三、三八	二、三二	一、八〇	二、一三				
支 四×正 白(黑)	一六、一七	一三、一七	一五、六三	一五、六三	〇、〇	一、五九	一、五九	一五、四六	六、四	四、六	五、三	四、六	三、四三	二、二七	一、七九	二、〇三			
日107×(支101×支9)(黑)	一六、四三	一三、八三	一四、七九	一四、七九	〇、二	一、四〇	一、四〇	一四、六三	五、三	四、一	四、八	三、二六	二、四一	一、九二	二、一五				
(支101×支9)×日107(黑)	一五、四三	一三、〇〇	一四、四三	一四、四三	〇、〇	一、〇八	一、〇八	一四、七一	五、四	四、一	四、九	三、三三	二、三九	一、九八	二、一七				
相 反 平 均	一五、九三	一三、四三	一四、六一	一四、六一	〇、一	一、二五	一、二五	一四、六七	五、四	四、一	四、八	三、三〇	二、四〇	一、九四	二、一六				
正 白×支101(黑)	一六、〇八	一四、〇〇	一四、六七	一四、六七	〇、〇	一、〇八	一、〇八	一五、四二	六、〇	四、八	五、五	三、四八	二、二四	一、八五	二、〇三				
支101×正 白(黑)	一五、九三	一三、三三	一五、〇三	一五、〇三	〇、〇	九、三八	九、三八	一四、三八	六、一	四、四	五、〇	三、六二	二、三六	一、八五	二、〇八				
相 反 平 均	一六、〇〇	一三、六七	一四、八五	一四、八五	〇、〇	一、〇三	一、〇三	一四、九〇	六、〇	四、六	五、三	三、五一	二、三〇	一、八五	二、〇五				
正 白×新 白(黑)	一六、一七	一三、六七	一四、三八	一四、三八	〇、七	一〇、七一	一〇、七八	一四、三二	五、六	四、三	五、〇	三、五一	二、四〇	一、八八	二、一三				
新 白×正 白(黑)	一六、二五	一三、四三	一四、六七	一四、六七	〇、二	六、七、五	六、七七	一四、九二	六、〇	四、七	五、三	三、五三	二、三五	一、八五	二、〇三				
相 反 平 均	一六、二二	一三、五四	一四、五三	一四、五三	〇、四	八、七、三	八、七七	一四、六三	五、八	四、五	五、二	三、五三	二、三八	一、八七	二、〇八				

大正十三年秋期試驗 一 催青及孵化調查

品 種 名	總 卵 數		平 均 孵 化 步 步
	總 數	平均數	
日一〇七×支	五一	五〇二	九八、二四
正 白×支	五四六	五三七	九八、三五
(日一〇七×支九)×支一〇一	五〇八	五〇〇	九八、四三
(支九×支一〇一)×日一〇七	五三三	五二三	九八、一二
相 反 平 均	五二〇	五一一	九八、二七
正 白×(支九×支一〇一)	五五九	五五〇	九八、三九
(支九×支一〇一)×正 白	五三九	五三三	九八、八九
相 反 平 均	五四九	五四一	九八、五四
正 白×支一〇一	五六〇	五五四	九八、九三
支一〇一×正 白	四一〇	四〇四	九八、五四
相 反 平 均	四八五	四七九	九八、七六

二 蠶 兒 飼 育 經 過

正 白×新 白	五五七	五四七	九八、二〇
新 白×正 白	五〇八	五〇一	九八、六二
相 反 平 均	五三二	五二四	九八、五〇
支一〇一×日 一	四一三	四〇五	九八、〇六

品 種 名	齡 一		齡 二		齡 三		齡 四		齡 五		全 齡
	食桑中	總食中	食桑中	總食中	食桑中	總食中	食桑中	總食中	食桑中	總食中	
日一〇七×支	三〇七	四〇六	二一三	三一六	二〇三	三一八	一一八	五〇九	六〇一	三三〇	六〇一
正 白×支	三〇六	四〇五	二一八	三一八	二〇三	三一三	一一五	五〇九	六〇〇	三三〇	六〇〇
日一〇七×(支九×支一〇一)	三〇五	四〇五	二一三	三一五	二〇三	三一〇	一一四	五〇三	六〇〇	三三〇	六〇〇
(支九×支一〇一)×日一〇七	三〇五	四〇四	二一三	三一五	二〇三	三一八	一一七	五〇七	六〇〇	三三〇	六〇〇
相 反 平 均	三〇五	四〇四	二一三	三一五	二〇三	三一四	一一七	五〇五	六〇〇	三三〇	六〇〇
正 白×(支九×支一〇一)	三〇六	四〇五	二一四	三一七	二〇三	三一三	一一六	五〇七	六〇〇	三三〇	六〇〇
(支九×支一〇一)×正 白	三〇六	四〇五	二一五	三一七	二〇三	三一三	一一六	五〇七	六〇〇	三三〇	六〇〇
相 反 平 均	三〇六	四〇五	二一四	三一七	二〇三	三一三	一一六	五〇七	六〇〇	三三〇	六〇〇

品種名	一齡		二齡		三齡		四齡		五齡		全齡		
	溫度	濕度	溫度	濕度	溫度	濕度	溫度	濕度	溫度	濕度	溫度	濕度	
正 白×支一〇一	三、〇五	一、〇〇	四、〇五	二、一三	一、〇三	三、一六	二、一三	一、〇三	三、一三	三、一五	一、一四	五、〇五	五、三三
支一〇一×正 白	三、〇五	一、〇〇	四、〇五	二、一三	一、〇三	三、一六	二、一三	一、〇三	三、一三	三、一五	一、一四	五、〇五	五、三三
相 反 平 均	三、〇六	一、〇〇	四、〇五	二、一三	一、〇三	三、一六	二、一三	一、〇三	三、一三	三、一五	一、一四	五、〇五	五、三三
新 白×新 白	三、〇六	〇、二三	四、〇五	二、一四	一、〇三	三、一七	二、一四	一、〇三	三、一六	三、一六	一、一五	五、〇四	五、三三
正 白×新 白	三、〇六	〇、二三	四、〇五	二、一四	一、〇三	三、一七	二、一四	一、〇三	三、一六	三、一六	一、一五	五、〇四	五、三三
相 反 平 均	三、〇六	〇、二三	四、〇五	二、一五	一、〇三	三、一七	二、一五	一、〇三	三、一六	三、一六	一、一五	五、〇四	五、三三
支一〇一×日	三、〇六	〇、二三	四、〇五	二、一六	一、〇三	三、一七	二、一六	一、〇三	三、一六	三、一六	一、一五	五、〇四	五、三三
相 反 平 均	三、〇六	〇、二三	四、〇五	二、一六	一、〇三	三、一七	二、一六	一、〇三	三、一六	三、一六	一、一五	五、〇四	五、三三

三 蠶兒飼育中溫濕度

品種名	一齡		二齡		三齡		四齡		五齡		全齡	
	溫度	濕度	溫度	濕度	溫度	濕度	溫度	濕度	溫度	濕度	溫度	濕度
日一〇七×支 四	七、九八	七、三八	七、八〇	七、六〇	八、〇六	七、五〇	七、七一	七、五二	七、八一	七、七八	七、八八	七、五五
正 白×支 四	八、〇一	七、四〇	七、八二	七、五九	八、〇〇	七、四九	七、七五	七、四九	七、九〇	七、八四	七、八八	七、五三
日一〇七×(支九×支二〇)	八、〇一	七、四〇	七、八三	七、五六	七、九九	七、四六	七、七七	七、四八	七、八四	七、八〇	七、八八	七、五二
(支九×支二〇)×日一〇七	八、〇一	七、四一	七、八四	七、五六	七、九八	七、四五	七、七八	七、四九	七、八八	七、八〇	七、八八	七、五二
相 反 平 均	八、〇一	七、四一	七、八四	七、五六	七、九八	七、四五	七、七八	七、四九	七、八八	七、八〇	七、八八	七、五二

品種名	一齡		二齡		三齡		四齡		五齡		全齡	
	溫度	濕度	溫度	濕度	溫度	濕度	溫度	濕度	溫度	濕度	溫度	濕度
正 白×(支九×支二〇)	八、〇一	七、四〇	七、八三	七、五六	八、〇〇	七、四六	七、七七	七、四九	七、八八	七、八〇	七、八八	七、五二
(支九×支二〇)×正 白	八、〇一	七、四〇	七、八三	七、五六	八、〇〇	七、四六	七、七七	七、四九	七、八八	七、八〇	七、八八	七、五二
相 反 平 均	八、〇一	七、四一	七、八三	七、五六	八、〇〇	七、四六	七、七七	七、四九	七、八八	七、八〇	七、八八	七、五二
支一〇一×正 白	八、〇一	七、四〇	七、八三	七、五六	八、〇〇	七、四六	七、七七	七、四九	七、八八	七、八〇	七、八八	七、五二
相 反 平 均	八、〇一	七、四〇	七、八三	七、五六	八、〇〇	七、四六	七、七七	七、四九	七、八八	七、八〇	七、八八	七、五二
正 白×新 白	八、〇一	七、四〇	七、八三	七、五六	八、〇〇	七、四六	七、七七	七、四九	七、八八	七、八〇	七、八八	七、五二
新 白×正 白	八、〇一	七、四〇	七、八三	七、五六	八、〇〇	七、四六	七、七七	七、四九	七、八八	七、八〇	七、八八	七、五二
相 反 平 均	八、〇一	七、四〇	七、八三	七、五六	八、〇〇	七、四六	七、七七	七、四九	七、八八	七、八〇	七、八八	七、五二
支一〇一×日	八、〇一	七、四〇	七、八三	七、五六	八、〇〇	七、四六	七、七七	七、四九	七、八八	七、八〇	七、八八	七、五二
相 反 平 均	八、〇一	七、四〇	七、八三	七、五六	八、〇〇	七、四六	七、七七	七、四九	七、八八	七、八〇	七、八八	七、五二

四 給桑量調査

(對蠶量三分)

品種名	給桑量					對蠶量一 分給桑量	給桑回数					
	一齡	二齡	三齡	四齡	五齡		一齡	二齡	三齡	四齡	五齡	全齡
日一〇七×支 四	一〇三	二二三	六三八	二、二九五	一〇、五八五	四六、〇〇	三三	二二	二二	二六	三七	一三九
正 白×支 四	九四	二三七	六五四	二、四一四	一一、六三三	五〇、二〇	三三	二四	二三	二七	三七	一四三

品 種 名	蟻 蠶 体 量	四 眠 蠶 体 量	五 齡 盛 體 量	平 均
日一〇七×(支九×支二〇)	九五	二二二	六〇五	二、二二一、〇七八九
(支九×支二〇)×日一〇七	九三	二〇六	五八六	二、二六三、一〇七三三
相 反 平 均	九四	二〇八	五九六	二、二三六、一〇七五六
正 白×(支九×支二〇)	九四	二二六	六三一	二、三四三、一一二二三
(支九×支二〇)×正 白	九三	二二八	六二九	二、三六三、一〇九一七
相 反 平 均	九三	二二七	六三〇	二、三五三、一一〇七〇
正 白×支二〇	九三	二二五	六一七	二、三七五、一〇九七一
支二〇一×正 白	九三	二二九	六三九	三、二六〇、一〇九三三
相 反 平 均	九三	二二七	六三三	三、二三八、一〇九四二
正 白×新 白	九四	二二八	六四七	二、三六七、一一、二〇九
新 白×正 白	九四	二二三	六六二	二、三八四、一〇、九一四
相 反 平 均	九三	二三一	六五四	二、三七六、一一、〇六三
支二〇一×日 一	九三	二二三	六四七	二、三六七、一一、二〇九

五 体 量 調 查 (對百頭)

品 種 名	蟻 蠶 体 量	四 眠 蠶 体 量	五 齡 盛 體 量	平 均
日一〇七×支 四	〇、〇一一八〇	二〇、八	九七、〇	八四、二
正 白×支 四	〇、〇一一三一	二二、七	九九、九	八七、四
日一〇七×(支九×支二〇)	〇、〇一一五四	二〇、一	九六、六	八四、八
(支九×支二〇)×日一〇七	〇、〇一一三六	一九、二	九六、一	八四、三
相 反 平 均	〇、〇一一四五	一九、六	九六、三	八四、五
正 白×(支九×支二〇)	〇、〇一一二二	二〇、五	九九、八	八五、七
(支九×支二〇)×正 白	〇、〇一一二七	二〇、七	九九、七	八五、六
相 反 平 均	〇、〇一一三〇	二〇、六	九九、七	八五、七
正 白×支二〇	〇、〇一一〇一	二〇、七	九八、七	八七、四
支二〇一×正 白	〇、〇一一四二	二〇、九	一〇一、三	八五、六
相 反 平 均	〇、〇一一二三	二〇、八	一〇〇、〇	八六、五
正 白×新 白	〇、〇一一〇六	二〇、一	九六、九	八三、四

新	白 × 正	〇、〇一〇九五	二〇、三	九八、八	八二、一	九〇、四
相	反 平 均	〇、〇一〇六	二〇、二	九七、八	八二、八	九〇、三
支	一〇一 × 日	〇、〇一一二六	二〇、五	一〇四、三	九三、五	九八、九

六 蠶 兒 頭 數 調 查

品 種 名	掃立蠶數	結繭蠶數	減		步 合	繭 中	步 斃
			數	蠶			
日一〇七 × 支 四	二五四二	二二〇七	四三五	一七、一	一一七	五、五三	
正 白 × 支 四	二六五三	二二八八	三六五	一二、八	八七	三、七九	
日一〇七 × (支九 × 支二〇)	二五九九	二三七五	二二四	八、六	五八	二、四五	
(支九 × 支二〇) × 日一〇七	二六四〇	二三七五	二六五	一〇、〇	六二	二、六一	
相 反 平 均	二六一〇	二三七五	二四五	五、三	六〇	二、五三	
正 白 × (支九 × 支二〇)	二六一四	二四七一	二〇三	七、六	五七	二、二九	
(支九 × 支二〇) × 正 白	二六一八	二四九六	一四二	五、四	四六	一、八五	
相 反 平 均	二六五六	二四八三	一七三	六、五	五一	一、〇五	
正 白 × 支一〇一	二七二四	二四七一	二五三	九、三	三九	一、五九	

支一〇一 × 正 白	二六二七	二四二三	二〇〇	七、八	二一	〇、八七
相 反 平 均	二六七五	二四四七	二二八	八、六	三〇	一、二三
正 白 × 新 白	二七一二	二四九三	二一九	八、一	四〇	一、五八
新 白 × 正 白	二二四〇	二五二六	二二四	七、八	四〇	一、五七
相 反 平 均	二七二六	二五〇九	二二七	七、九	四〇	一、五七
支一〇一 × 日	二六五九	二二九八	三六一	一三、六	二七	一、一七

七 不 良 蠶 調 查

品 種 名	遲 眠				飼 育 中 病 斃				斃 蠶 不 結 繭 蠶 合 計
	一齡	二齡	三齡	四齡 合計	一齡	二齡	三齡	四齡 合計	
日一〇七 × 支 四	四	七	一八	五三四	〇	一	三	五六〇	六九
正 白 × 支 四	六	六	一三	一三六	〇	二	五	三六〇	八一
日一〇七 × (支九 × 支二〇)	三	六	四	八二一	〇	〇	一	一五四	一七
(支九 × 支二〇) × 日一〇七	三	六	一〇	一六三五	〇	一	〇	三八一	三九
相 反 平 均	三	六	七	一二二八	〇	一	一	二六二	二八
正 白 × (支九 × 支二〇)	三	五	五	四一七	〇	一	一	二八九	一二

品 種 名	絲 量	絲 長	織 度	生 繭		重 量	類 數	生 繭		重 量	類 數
				一 升	重 量			十 斤	類 數		
日一〇七×支四	〇,二〇	六五四	二,四九	七五八	一七五	四,二九	〇,六一	一四,一七			
正 白×支四	〇,二一	六七四	二,五八	七三六	一七一	四,四三	〇,六六	一四,八三			
日一〇七×(支九×支二〇)	〇,三〇	六六二	二,四二	七八五	一八三	四,三三	〇,六〇	一三,七九			
(支九×支二〇)×日一〇七	〇,二九	六五五	二,三六	七六六	一八六	四,一六	〇,五九	一四,〇五			
相 反 平 均	〇,三〇	六五八	二,三八	七七五	一八四	四,二四	〇,五九	一三,九二			
正 白×(支九×支二〇)	〇,二二	六六七	二,五〇	七六一	一七九	四,二九	〇,六四	一四,九三			
(支九×支二〇)×正 白	〇,三〇	六五〇	二,四八	七六〇	一八五	四,一三	〇,六〇	一四,六〇			
相 反 平 均	〇,三〇	六五八	二,四九	七六〇	一八二	四,二二	〇,六二	一四,七七			
正 白×支一〇一	〇,三〇	六五四	二,四五	七四一	一七五	四,二七	〇,六三	一四,七七			
支一〇一×正 白	〇,二二	六七五	二,四九	七五二	一七〇	四,四一	〇,六六	一四,八六			
相 反 平 均	〇,三二	六六四	二,四七	七四七	一七三	四,三四	〇,六四	一四,八二			
正 白×新 白	〇,一九	六二八	二,四三	七三三	一八二	三,九八	〇,五八	一四,五〇			

一〇線 絲 成 績

正 白×新 白	〇,二〇	六五〇	二,四六	七四一	一八〇	四,一三	〇,六一	一四,七六
相 反 平 均	〇,二〇	六三九	二,四五	七三七	一八一	四,〇六	〇,五九	一四,六五
支一〇一×日 一	〇,三三	七二八	二,五三	七四九	一六〇	四,六四	〇,六九	一四,七六

品 種 名	乾 繭 量	粒 數	生 絲 量	殘 繭 量	對 一 時 間	緒 絲 量	對 生 絲		合 計
							十 斤	揚 繭 量	
日一〇七×支四	三,三三	二,三〇	一一,二三	〇,三四	一六,四七	一,三二	〇,五九	二,二七	
正 白×支四	三,五三	二,三二	一一,三九	〇,二六	一八,七七	〇,九五	〇,五七	一,七三	
日一〇七×(支九×支二〇)	三,四三	二,三五	一一,二〇	〇,三七	一五,七六	〇,九六	〇,六八	一,九五	
(支九×支二〇)×日一〇七	三,四二	二,四二	一一,七五	〇,三五	一六,〇三	一,〇一	〇,六七	二,〇九	
相 反 平 均	三,四二	二,三八	一一,四八	〇,二六	一五,八九	〇,九九	〇,六八	二,〇三	
正 白×(支九×支二〇)	三,五八	二,四〇	一一,七四	〇,二八	一六,七二	一,〇二	〇,六八	一,九五	
(支九×支二〇)×正 白	三,五六	二,四九	一一,〇三	〇,二六	一五,九八	一,〇〇	〇,六四	一,九八	
相 反 平 均	三,五七	二,四四	一一,八八	〇,二七	一六,三三	一,〇三	〇,六六	一,九七	
正 白×支一〇一	三,五九	二,三八	一二,一九	〇,二八	一六,九六	〇,九九	〇,八三	二,〇五	

日々二化二化一代雜種試驗

日々二化二化一代雜種試驗

一 緒 言

日々二化二化一代雜種ニ關スル試驗ハ大正三年以降各地ニ於テ施行セラレタリ、而シテ其ノ成績ニ依レバ全種ハ其ノ兩原種ニ比シ飼育日數短縮シ減蠶歩合少ナク且ツ收繭量ヲ増加スルモ之ヲ日支二化一化一代雜種ニ比較スレバ蟲質稍々強健ナルガ如シト雖モ飼育日數長ク且ツ繭質概テ不良ナリ、是故ニ夏秋蠶種界ハ在來種ヨリ日支二化一化一代雜種並ニ日支三元雜種ニ變遷セリ

然ルニ大正十一年及全十二年ハ夏秋期ノ氣候不良ニシテ違蠶者痰出ノ慘狀ヲ呈シタリ、特ニ氣溫比較的高キ下伊那郡ニ於テ顯著ナルモノアリシヲ以テ全部當業者ハ之ガ救濟方法ヲ講究シツ、アリシニ偶々在來種並ニ日々二化二化一代雜種ヲ飼育シタル者ハ相當ノ成績ヲ擧ケ得タル事實ヲ發見シタルト在來種ノ飼育時代ニ於ケル養蠶成績ノ比較的佳良ナリシ事蹟トニ鑑ミ夏秋蠶ノ違蠶失敗ハ其ノ主因蠶ノ品種ニ在リ、之ガ救濟方法ハ即チ蟲質強健ナル蠶品種ヲ選定スルニ在リト結論セラレ、ニ至リタリ、是故ニ全部當業者ハ縣指定ノ蠶品種ヲ以テ満足スルコト能ハズ指定蠶品種ノ實行期タル大正十三年度ニ於テ日日二化二化一代雜種飼育ノ希望熱烈ヲ極メタリ

依テ本場ハ縣ニ絲課技術官並ニ蠶業試驗場飯田支場長、蠶業取締所飯田支所長、下伊那郡蠶業技術官等ト協議ヲ

遂グ大正十三年度ニ於テ日日二化一代雜種ニ關スル試驗ヲ大規模ニ行フコト、シ春蠶期ニハ豫備試驗トシテ日本二化性中ニ於テ優良ト認ムル國蠶日一〇七號、全日一〇八號、正白、青孰、國富等ニツキ調査ヲ行ヒ其ノ成績ニ鑑ミ正白×國蠶日一〇七號、正白×青孰ノ二品種ヲ選定シ之ガ對照トシテ縣指定ノ日支二化一代雜種タル正白×新白ノ一種ヲ加ヘ秋期及晩秋期ニ於テ本試驗ヲ施行シタリ、今參考ノ爲メ各地ニ於テ施行セル日日二化一代雜種ニ關スル試驗ノ概要ヲ示セバ次ノ如シ

兩原種ニ對スル日日二化一代雜種比較表

試驗場名	試驗年度	飼育日數	減蠶歩合	收繭量(對蠶量一匁)	上繭歩合	繭重(對一匁)	繭層歩合	糸量
松本	三、四年	(-) 三時	(-) 五・五九%	(+) 七六匁	(-) 一%	(+) 〇・〇三匁	〇%	(+) 〇・〇一匁
鳥取	九、	(-) 六時	(-) 三・七〇%	(+) 三九匁	(-) 五九%	—	—	(-) 〇・〇一匁
静岡	八、九、一〇、一一	(-) 三時	(-) 七・九〇%	(+) 六六匁	(-) 二・六%	(+) 〇・〇一八匁	(+) 〇・一	(+) 〇・〇三匁
福嶋	二、	(-) 三時	(-) 二・三六%	(+) 四〇匁	(+) 一・五%	(-) 〇・〇一〇匁	—	(+) 〇・〇一〇匁

日支二化一代雜種ニ對スル日日二化一代雜種比較表

試驗場名	試驗年度	飼育日數	減蠶歩合	收繭量(對蠶量一匁)	上繭歩合	繭重(對一匁)	繭層歩合	糸量
松本	三、四年	(+) 一六時	(-) 四・五二%	(-) 二五匁	(-) 一%	(-) 〇・〇〇五匁	(-) 七・〇%	(-) 〇・〇一匁
和歌山	六、	(+) 三時	(+) 八・一〇%	(+) 一〇〇匁	(+) 四・九%	(-) 〇・〇〇九匁	(-) 一・一	(-) 〇・〇一匁
岐阜	六、	(+) 九時	(-) 四・七〇%	(+) 三三匁	(+) 四・九%	(+) 〇・〇〇九匁	(-) 二・九	(-) 〇・〇一匁
奈良	七、	(+) 二二時	—	(-) 三三匁	—	(+) 〇・〇〇九匁	(-) 一・三	(-) 〇・〇一匁
京都	八、	(+) 一四時	—	(-) 三六匁	(+) 一・〇%	(-) 〇・〇〇九匁	(+) 〇・三	(-) 〇・〇一匁
山梨	八、	(+) 二四時	—	(+) 五匁	(+) 八・一%	(-) 〇・〇〇九匁	(+) 〇・五	(-) 〇・〇一匁
愛知	九、	(+) 三時	(-) 三・六〇%	(-) 四匁	(+) 二・七%	(-) 〇・〇一三匁	(-) 〇・二	(-) 〇・〇一匁
鳥取	八、九、一〇	(+) 三時	(-) 三・二〇%	(+) 三三匁	(-) 三・三%	(+) 〇・〇一三匁	(-) 一・一	(-) 〇・〇一匁
静岡	八、九、一〇、一一	(+) 三時	(+) 三・四〇%	(-) 三六匁	(+) 三・七%	(-) 〇・〇一〇匁	(-) 〇・五	(-) 〇・〇一匁
福嶋	二、	(+) 二時	(+) 二・三六%	(-) 三六匁	(-) 一・三%	(-) 〇・〇一〇匁	—	(-) 〇・〇一〇匁

二 試驗ノ方法

本試驗ハ大正十三年ノ秋期及晩秋期ニ於テ各一回之ヲ施行セリ、而シテ其ノ試驗方法ハ夏秋蠶日支交雜種試驗ト全一ノ方法ニ依リ蠶業試驗場試驗ト依託試驗トノ二種ニ大別シ蠶業試驗場試驗ハ本場並ニ上田、松本、飯田ノ三支場ニ於テ之ヲ施行シ、依託試驗ハ本縣蠶品種審査委員タル蠶種製造者及養蠶者ト郡長並ニ蠶業取締所支所長ノ推薦ニ拘ル養蠶者ト蠶種製造者トニ依託セリ

本試驗ニ供用セル蠶種ハ大正十三年本場ニ於テ全一要件ノ下ニ飼育シ採種シタルモノナリ、而シテ其ノ原種ノ系統ハ青熟ハ大正十一年縣立松本支場ニ於テ諏訪郡川岸村山崎玉藏ヨリ分與ヲ受ケ爾來全場ニ於テ複製シタルモノニシテ國蠶日一〇七號、正白及ビ新白ハ夏秋蠶日支交雜種試驗ト全一ノ原種ヲ使用シタリ

秋期試驗ハ本場、上田、松本、飯田ノ三支場以外ニ蠶種製造者十一名、養蠶者八名合計十九名ニ依託シ、晩秋期試驗ハ本場、上田、松本、飯田ノ三支場以外ニ蠶種製造者養蠶者各九名合計十八名ニ依託セリ、而シテ蠶業試驗場ニ於テハ各品種共ニ蟻量三分宛ヲ又當業者ニハ一品種五蛾乃至六蛾分ヲ掃立飼育セシメタリ、今其ノ品種名ヲ掲グレバ次ノ如シ

甲組 正白×國蠶日一〇七號
正白×青熟
正白×新白

乙組 國蠶日一〇七號×正白
青熟×正白
新白×正白

備考

×印ノ上ハ雌ニシテ下ハ雄ナリ

前記依託試驗ノ調査ハ支歐一代雜種試驗ト全一ノ方法ニ依リククリ、今依託者ト調査委員トヲ記セバ次ノ如シ

秋期試驗

郡	村	氏名	官	氏名
南佐久郡	前山村	本間 熊雄	南佐久郡役所	影山 邦作
北佐久郡	御代田村	萩原 幸吉	蠶業取締所岩村田支所	伊藤 章
北佐久郡	伍賀村	市村 由規夫	北佐久郡役所	山川 仙次
小縣郡	依田村	田村 喜市郎	小縣郡役所	橋詰 英夫
上伊那郡	南箕輪村	堀 善左衛門	上伊那郡役所	安川 嘉三
下伊那郡	下條村	福島 喜男	蠶業取締所飯田支所	小池 龜太郎
全	郡喬木村	吉川 圓治	全	小池 龜太郎
全	郡上郷村	山田 臺太郎	全	高橋 雷三
全	郡松尾村	竹村 順一	全	伊藤 十七治
全	郡上飯田村	高田 茂	下伊那郡役所	酒井 末吉
西筑摩郡	大桑村	高樋 久兵衛	蠶業取締所松本支所	北原 綱男

南安曇郡豊科町	岡村末作	南安曇郡役所	黒澤俊一
北安曇郡池田町	北澤里治	蠶業取締所豊科支所	志田傳次郎
更級郡川中島村	川中島蠶種合資會社	全 長野支所	中野久之助
埴科郡五加村	中村茂十郎	埴科郡役所	風間平一郎
上高井郡井上村	齋藤政治郎	蠶業取締所須坂支所	齋藤政之助
全 郡小布施村	樋田正男	上高井郡役所	荻原駒人
上水内郡柳原村	中野藤四郎	蠶業取締所長野支所	木下谷藏
下水内郡秋津村	石澤與右衛門	全 須坂支所	高野國雄

晚秋期試験

郡	依	託	名	者	官	調	衛	查	委	員	名
---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---

南佐久郡前山村	本間熊雄	南佐久郡役所	影山邦作
北佐久郡中佐都村	池田喜三郎	蠶業取締所岩村田支所	伊藤藤章
小縣郡鹽尻村	馬場歳次	全 上田支所	棚澤精一
諏訪郡下諏訪町	久保田八百吉	諏訪郡役所	有賀政清

上伊那郡富田村	中原珍吉	蠶業取締所伊那支所	轟梅吉
下伊那郡上郷村	山田臺太郎	全 飯田支所	高橋雷三
全 郡喬木村	吉川圓治	全 全	小池龜太郎
全 郡下久堅村	橋爪清	全 全	小池龜太郎
全 郡松尾村	竹村順一	全 全	伊藤十七治
全 郡鼎村	伊藤彌太郎	飯田支所	久保田正樹
全 郡全村	須山賢逸	全	皆川二郎
全 郡市田村	倉澤昌宏	下伊那郡役所	酒井末吉
全 郡龍江村	本下彦雄	全	酒井末吉
全 郡全村	中島榮太郎	全	永田平
全 郡神稻村	辻元順治	全	永田平
東筑摩郡松本村	赤羽國一郎	蠶業取締所松本支所	唐澤正平
全 郡壽村	瀬黒幸市	東筑摩郡役所	須田哲之郎
更級郡御厨村	林盛三郎	更級郡役所	雜賀喜久三